

会 長 挨拶

この度、第 58 回日本小児神経学会学術集会を 2016 年 6 月 3 日（金）から 6 月 5 日（日）に、京王プラザホテル 新宿にて開催させていただくことになりました。

日本小児神経学会は 1977 年に日本小児神経研究会から日本小児神経学会へと名称を改め、2016 年で 40 周年の節目を迎えます。このような歴史ある学会の会長を仰せつかり、身に余る光栄に存じます。現在 42 名のプログラム委員、12 名の実行委員のメンバーとともに一丸となって鋭意準備を進めております。

今回の学術集会では「子どもたちの未来のために～小児神経と多領域との懸け橋～」を主題といたしました。ご承知のように、日頃より小児神経学は医療分野や医療以外の様々な分野との連携をはかっております。そのような状況を踏まえ、医学およびその他の多分野の新しい知見や技術の観点から小児神経学の今後について取り上げます。近年子どもたちの外遊びや運動の機会が減少しており、結果として発達障害や、実社会でのコミュニケーションが苦手な若者が増えています。幼小児より、運動を促進し、次世代の日本を背負う子どもたちの心身の健全な発育・発達を培うことは大変重要と考え、2020 年の東京オリンピック開催も念頭に、これまで扱ってきた分野に留まらず、小児神経とスポーツに焦点をおいたセッションを企画しております。

最終日は 1,500 名収容できる一会場で終日 11 の教育講演を行います。またサテライトの部屋を用意しましたので、お子様連れの方も御安心ください。小児神経の一般的な多領域のトピックスを取り上げ、一日同じ会場に着席していただければ、小児神経学のほぼ全領域が解る、皆さまにご満足していただけるような充実したプログラムを準備いたしました。

また、一般演題では、例年よりも口演数を減らし、ポスター数を増やします。ポスター会場は出来るだけゆったりと閲覧し、ワインを飲みながら熱い討論をしていただける空間を準備したいと考えております。

今回は会期を金、土、日と週末を含む 3 日間に設定し、開業医の先生方、小児神経科医を志す初期研修医・医学生を含め、より多くの方々にご参加いただけるようにいたしました。皆さまお誘いあわせのうえお越しいただければ幸いに存じます。

向夏の東京で皆さまにお会い出来ることを心より楽しみにお待ちしております。

2016 年 5 月

第 58 回日本小児神経学会学術集会
会長 新島 新一
順天堂大学医学部附属練馬病院小児科

■交通案内	S4
■会場案内	S5
■ポスター会場案内	S7
■お知らせとお願い	S9
■プログラム委員・事務局	S15
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S16
■日程	
フロンクス（6月2日）	S17
第1日目（6月3日）	S18
第2日目（6月4日）	S20
第3日目（6月5日）	S22
ポスターセッション（6月3日・4日）	S23
■プログラム	
特別演題日程	S27
フロンクス（6月2日）	S39
第1日目（6月3日）	S42
第2日目（6月4日）	S74
第3日目（6月5日）	S98
■特別演題抄録	
会長講演	S103
記念シンポジウム（1～3）	S104
特別講演（1～3）	S108
友情講演	S111
教育講演（1～11）	S113
シンポジウム（1～15）	S125

モーニングセッション	S172
医療安全委員会主催セミナー	S175
社会活動・広報委員会主催セミナー (1・2)	S178
薬事小委員会主催セミナー	S183
産科医療補償制度小委員会主催セミナー	S185
共同研究支援委員会主催セミナー (第一部・第二部)	S187
長期計画委員会ワークショップ	S191
実践教育セミナー (1～7)	S194
ランチョンセミナー (1～14)	S209
モーニングセミナー (1～4)	S218
アフタヌーンセミナー	S221
市民公開講座	S222
■一般演題抄録 (English Session)	
第 1 日目 (6 月 3 日)	S227
第 2 日目 (6 月 4 日)	S235
■一般演題抄録 (口演)	
第 1 日目 (6 月 3 日)	S245
第 2 日目 (6 月 4 日)	S277
■一般演題抄録 (ポスター)	
第 1 日目 (6 月 3 日)	S297
第 2 日目 (6 月 4 日)	S368
■索引 (筆頭講演者名)	S425
■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	S431
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S432
■日本製薬団体連合会・共催企業・広告掲載企業・協賛企業一覧	S434

交通案内

京王プラザホテル 新宿

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL: 03-3344-0111 (代表)

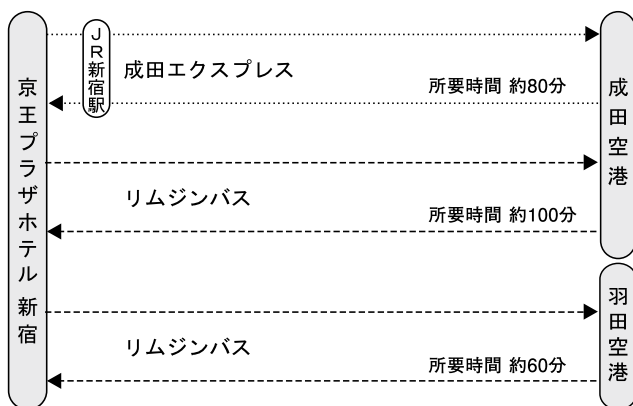


〈電車・地下鉄でお越しの場合〉

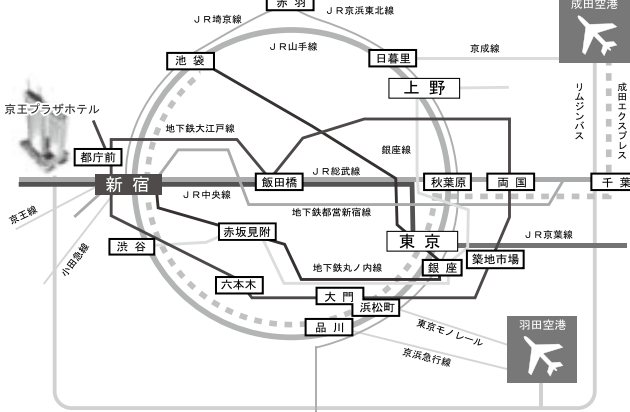
- ・JR新宿駅下車、西口より徒歩5分
- ・京王線・小田急線・地下鉄(東京メトロ丸ノ内線・都営新宿線)新宿駅下車、徒歩5分
- ・都営大江戸線都庁前駅下車、B1出口すぐ

〈飛行機をご利用の場合〉

- ・羽田空港、成田空港と京王プラザホテルの直通リムジンバスがございます。

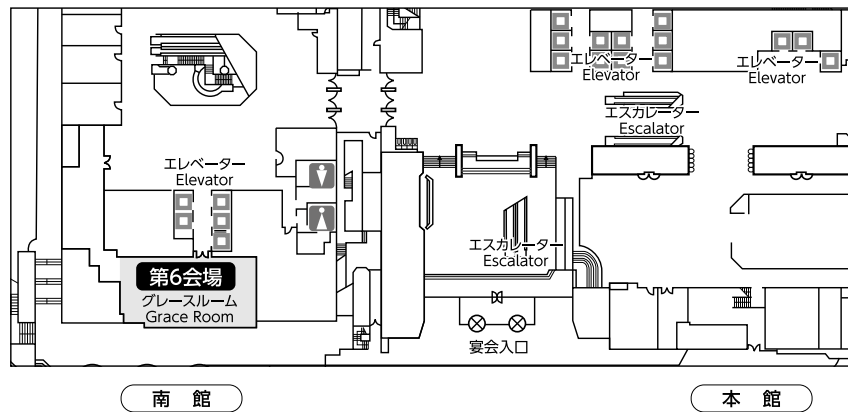


【都内簡略路線図】

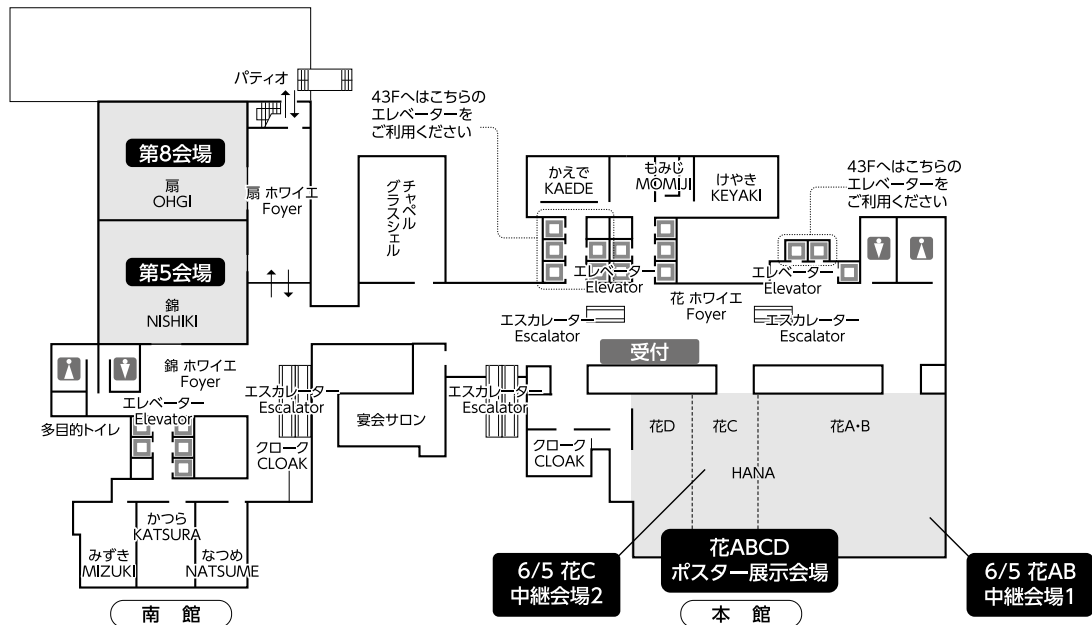


会場案内

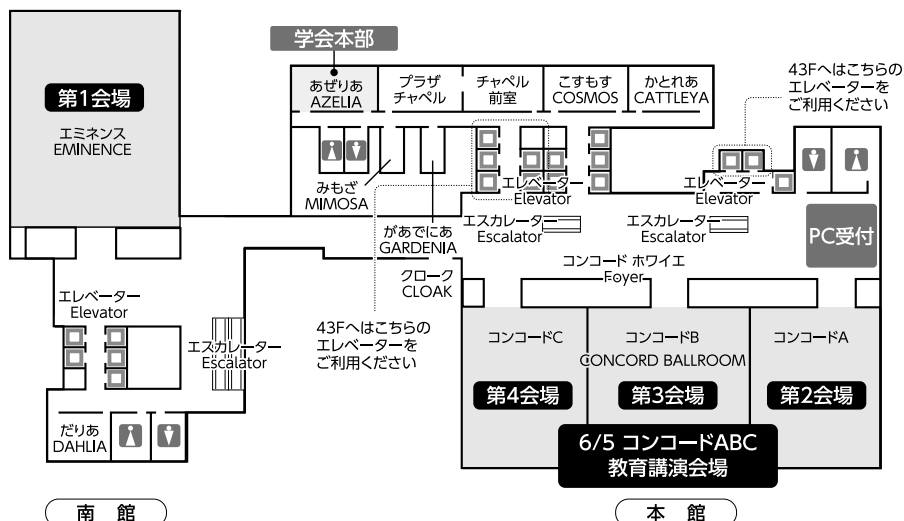
3F



4F

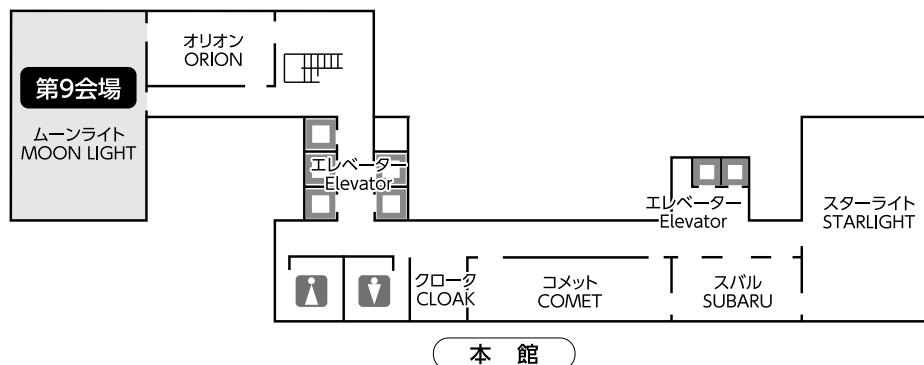


5F

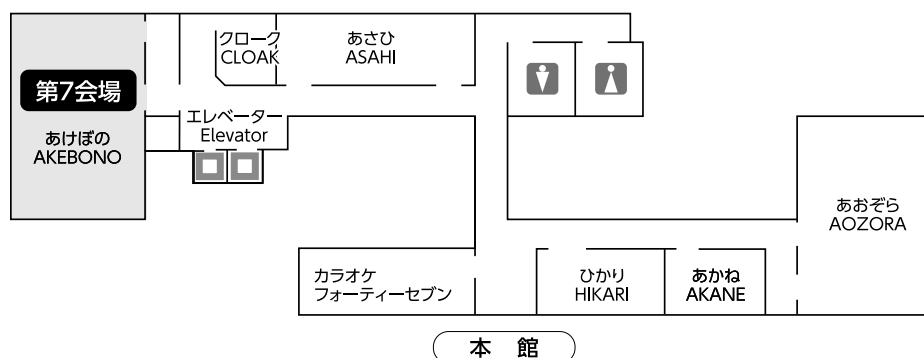


会場案内

43F

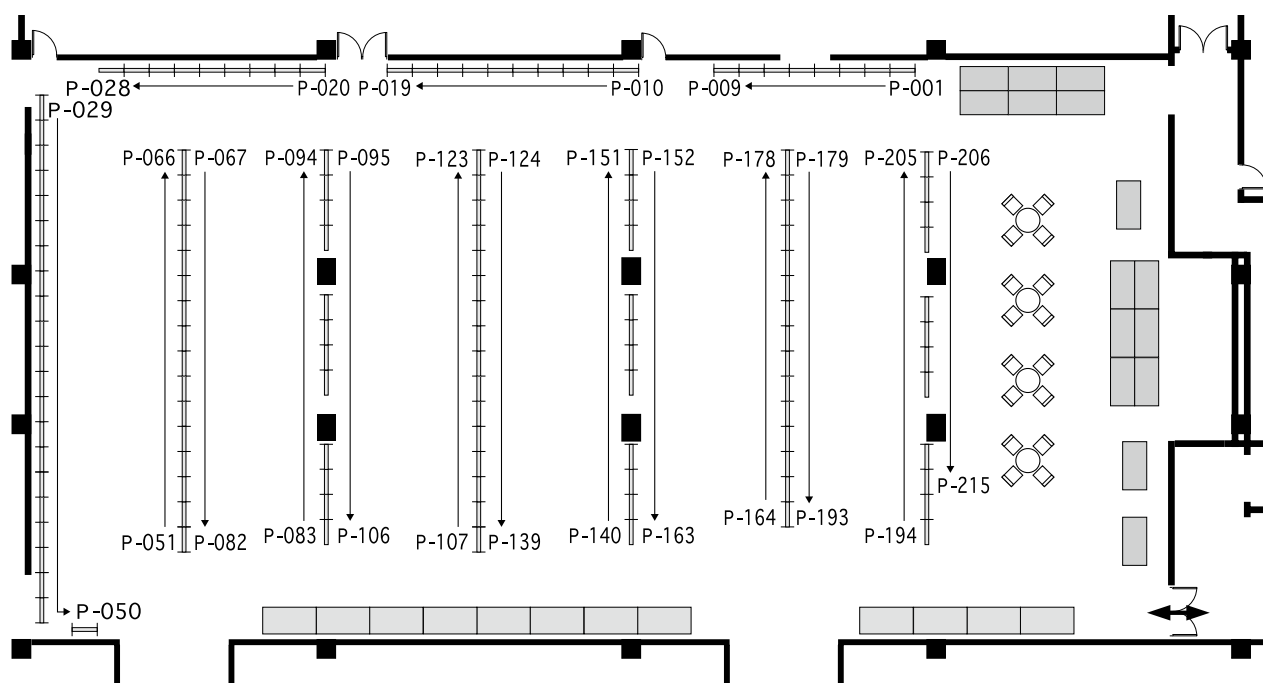


47F



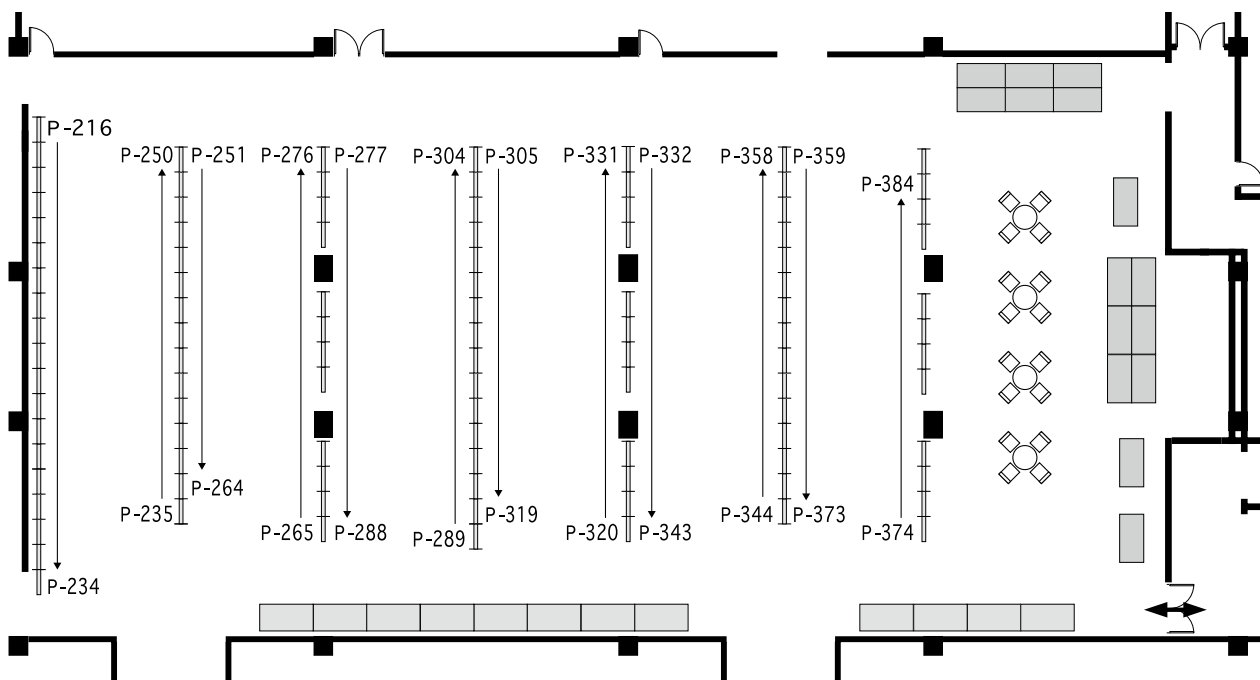
ポスター会場案内

学術集会 1 日目：6 月 3 日（金） ポスター展示会場（花 ABCD）



演題番号	セッション	日(曜日)	時間
P-001～P-009 ※P-008…取り下げ	てんかん, けいれん1	第1日目 3日(金)	18:00～18:30
P-010～P-019	てんかん, けいれん2		18:30～19:00
P-020～P-028	てんかん, けいれん3		19:00～19:30
P-029～P-039	発達障害1		18:00～18:30
P-040～P-050	発達障害2		18:30～19:00
P-051～P-061	発達障害3		19:00～19:30
P-062～P-072	脳性麻痺・療育1		18:00～18:30
P-073～P-082	脳性麻痺・療育2		18:30～19:00
P-083～P-093	脳性麻痺・療育3		19:00～19:30
P-094～P-102	筋1		18:00～18:30
P-103～P-112	筋2		18:30～19:00
P-113～P-123 ※P-122…取り下げ	筋3		19:00～19:30
P-124～P-133	画像1		18:00～18:30
P-134～P-144	画像2		18:30～19:00
P-145～P-155	神経変性疾患		19:00～19:30
P-156～P-165	代謝性疾患1		18:00～18:30
P-166～P-175	代謝性疾患2		18:30～19:00
P-176～P-186	腫瘍・血管障害		19:00～19:30
P-187～P-197	末梢神経		18:00～18:30
P-198～P-206	付随意運動		18:30～19:00
P-207～P-215	自律神経, 頭痛		19:00～19:30

学術集会 2 日目：6 月 4 日（土） ポスター展示会場（花 ABCD）



演題番号	セッション	日(曜日)	時間
P-216～P-225	てんかん, けいれん4	第2日目 4日(土)	15:00～15:30
P-226～P-234	てんかん, けいれん5		15:30～16:00
P-235～P-243 ※ P-244…取り下げ	てんかん, けいれん6		16:00～16:30
P-245～P-254	発達障害4		15:00～15:30
P-255～P-264	発達障害5		15:30～16:00
P-265～P-272	精神障害, 行動障害		16:00～16:30
P-273～P-283	脳炎・脳症1		15:00～15:30
P-284～P-294	脳炎・脳症2		15:30～16:00
P-295～P-304	脳炎・脳症3		16:00～16:30
P-305～P-314	感染, 免疫1		15:00～15:30
P-315～P-324	感染, 免疫2		15:30～16:00
P-325～P-333	感染, 免疫3		16:00～16:30
P-334～P-343	遺伝1		15:00～15:30
P-344～P-353	遺伝2		15:30～16:00
P-354～P-362	新生児		16:00～16:30
P-363～P-373	奇形, 染色体異常1		15:00～15:30
P-374～P-384	奇形, 染色体異常2		15:30～16:00

I. 参加者各位へ

- (1) 会場：京王プラザホテル 新宿
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1
TEL：03-3344-0111（代表）
- (2) 受付：

月日	時間	場所
学術集会 プレコンGRES 6月2日（木）	10：30～16：00	4F ホワイエ
学術集会 第1日目 6月3日（金）	7：30～19：30	
学術集会 第2日目 6月4日（土）	7：00～17：00	
学術集会 第3日目 6月5日（日）	7：00～15：30	

※6月4日（土）は会員懇親会窓口のみ 19：00 まで受け付けます。

- (3) 登録：参加費を受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡ししますの
で、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、
看護師、心理士等、学部生（医学部含む）は、いずれも証明書が必要です。大学生は身分証明証提
示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明を取得し、持参して下さい。
受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。

	参加費
日本小児神経学会 会員	15,000 円
日本小児神経学会 非会員	18,000 円
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
看護師、心理士、理学療法士など	5,000 円（証明書提示）
大学生	2,000 円（証明書提示、大学院生は除く）
会員懇親会	6,000 円（非会員の参加も可能）

- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に
関する指針』を遵守し、本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるよ
うな情報を表示しないようお願いいたします。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を
呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、
今学術集会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させて
いただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録
集販売受付にて1冊 2,000 円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。
- (6) 会員総会：第 58 回総会を学術集会 2 日目（6 月 4 日）17 時 00 分より第 2 会場（京王プラザホテル
新宿 5F コンコード A）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 28 年度会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) 小児神経専門医研修単位：以下の通り認められます。
- ・学術集会 第 1 日目（6 月 3 日）、第 2 日目（6 月 4 日）：出席 8 単位
 - ・学術集会 第 3 日目（6 月 5 日）、教育講演出席 8 単位
 - ・海外演者講演（特別講演 1, 2, 3, 友情講演）：出席 各 1 単位、上限 3 単位

- ・発表（筆頭）4 単位，発表（連名）1 単位
※全体取得上限を 12 単位とする。
- ・実践教育セミナー：出席 2 単位
※ただし，1 回の学術集会での単位数の上限は 4 単位とする。
- (9) 専門医研修単位：学術集会参加により以下の研修単位が認められます。
日本リハビリテーション医学会認定臨床医 10 単位，小児科専門医 8 単位，日本神経学会専門医 2 単位，
日本てんかん学会専門医 5 単位。
- (10) 会員懇親会：学術集会 2 日目（6 月 4 日）終了後，第 1 会場（京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス）
にて会員懇親会を行います。開宴に先立ち，18 時 30 分よりウェルカムコーラスを行います。多数
のご参加をお待ちしています。例年，ご有志の方による各地名産のお酒の試飲会がございますので
お楽しみ下さい。
- (11) 表彰：本大会ではすべての演題の中から優秀 English Session 賞，優秀口演賞，優秀ポスター賞を，
筆頭著者が本学会開催（平成 28 年 6 月 3 日）時点で 40 歳以下の方のポスター演題の中から，若手
優秀ポスター賞を表彰し，学術集会 2 日目（6 月 4 日）の会員懇親会にて表彰式を行いますので，
演題登録いただいている方は是非ご参加下さい。会員懇親会にご出席されない場合は受賞資格を失
い，次点の方に移行する場合がありますのでご注意下さい。
また，英語で抄録を登録した全員に英語抄録奨励賞を贈呈します。会期中，総合受付でお受け取
り下さい。
シンポジウム 7 Young Investigators Session は，日本小児神経学会理事および本学術集会実行委員
での厳正なる審査によって決定した演者 5 名にご講演いただき，セッション中に賞状・副賞の贈呈
を行います。
- (12) 患者会ブース：学術集会 1 日目（6 月 3 日），2 日目（6 月 4 日）に患者会ブースを設置いたします。
- (13) 会場での呼び出しは原則としていたしません。
- (14) 駐車場：ホテルの駐車場は有料になります。公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 口演発表の座長各位へ

- (1) 担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席にお越し下さい。
- (2) 口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）で進行して下さい。会場進行責任者からもお知
らせをしますが，時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。
- (3) 口演会場では，発表時間を計時します。演台，ならびに座長席では，発表時間終了 1 分前に黄ラン
プ，終了時に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願
いします。

III. ポスター発表のモデレーター各位へ

- (1) 担当セッション開始 15 分前までに，モデレーター受付（京王プラザホテル 新宿 4F ポスター会場
入口付近）にお越し下さい。
- (2) ポスター演題の発表は自由討論形式です。発表者は割り当てられた 30 分間，ポスターの前に立ち，
参加者の質問に応じて説明・討論を行って下さい。各発表時間はポスター会場案内ページをご参照
下さい。
- (3) モデレーターの担当演題数は，一人あたり約 10 題です。担当演題の発表者が出席しているか確認を
お願いします。討論が少ない演題については，発表者と討論をしたり，興味深いと思われるポス
ターについては聴衆と発表者の討論をさらに盛り上げたりするなど，担当セッションの区域がより
有意義な議論の場となるようにして下さい。各ポスターの議論が円滑且つ活発になるようサポート
をお願いいたします。

IV. 演題の採択

574 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、English Session 43 題、一般演題（口演）148 題、一般演題（ポスター）381 題と決定しました。

V. 口演発表者へ

(1) 発表時間

発表時間に関して、依頼講演（特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、モーニングセッション）の演者は座長の指示に従って下さい。

一般演題（English Session）・（口演）の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。

(2) 発表形式

依頼講演、一般演題（English Session）・（口演）ともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。次項の「PC 発表データ作成について」をご参照下さい。なお、English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表下さい。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意下さい。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
6 月 3 日（金）	7：30～16：00	5F ホワイエ
6 月 4 日（土）	7：00～17：00	
6 月 5 日（日）	7：00～16：00	

※ 6 月 2 日（木）実践教育セミナーの演者の先生は、各講演会場前方左側の映像オペレーション卓へ直接データをお持ち込み下さい。

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反（COI）開示のお願い

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI（筆頭発表者ならびに共同発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など）に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 58 回学術集会ホームページでご確認下さい。

【第 58 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.c-linkage.co.jp/jsn58/contents/coi.html>

◎データは以下の要領で作成して下さい。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です。なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでのお持ち込みをお願いいたします。
- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合、リンク切れにご注意下さい。完成したパワーポイントファイルを、USB メモリなどのメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動画を再生して、きちんと再生されれば原則的に問題はありません。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS : Windows 7 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション : Microsoft PowerPoint2007 以降
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

【データの提出方法】

- ・ メディアの形式 : USB ストレージまたは CD-R のみ受付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル (動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む) 以外のデータは入れないで下さい。
- ・ データの受付および返却 : USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・ データの受付時間 : 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ノートパソコンをお持ち込みの場合 (Windows, Macintosh とともに)

【ノートパソコンの条件】

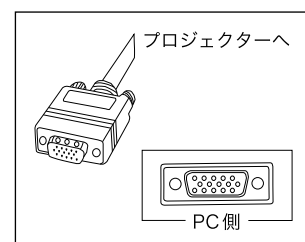
- ・ 外部出力ができる PC をご持参下さい。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・ 変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
- ※ HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続はお受けできません。

- ・ 必ず AC アダプター (電源コード) をご持参下さい。

AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・ 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・ 発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取り下さい。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

(5) 発表方法

- ・演台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行って下さい。
- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控え下さい。

VI. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示・展示	9:00～11:00 の間に各自で掲示して下さい。		
発 表	3 日 (金)	18:00～18:30	P-001～P-009, P-029～P-039 P-062～P-072, P-094～P-102 P-124～P-133, P-156～P-165 P-187～P-197 ※P-008…取り下げ
		18:30～19:00	P-010～P-019, P-040～P-050 P-073～P-082, P-103～P-112 P-134～P-144, P-166～P-175 P-198～P-206
		19:00～19:30	P-020～P-028, P-051～P-061 P-083～P-093, P-113～P-123 P-145～P-155, P-176～P-186 P-207～P-215 ※P-122…取り下げ
	4 日 (土)	15:00～15:30	P-216～P-225, P-245～P-254 P-273～P-283, P-305～P-314 P-334～P-343, P-363～P-373
		15:30～16:00	P-226～P-234, P-255～P-264 P-284～P-294, P-315～P-324 P-344～P-353, P-374～P-384
		16:00～16:30	P-235～P-243, P-265～P-272 P-295～P-304, P-325～P-333 P-354～P-362 ※P-244…取り下げ
撤 去	3 日 (金)	19:30～20:00 までに各自でポスターを取り外して下さい。	
	4 日 (土)	16:30～18:00 までに各自でポスターを取り外して下さい。	

※ポスター発表は第1日目と第2日目に1時間半ずつ時間を設けています。発表は、6つのグループに分かれます。各グループにつき、時間は30分です。発表者は割り当てられた30分間、ポスターの前に立ち、参加者の質問に応じて説明・討論を行って下さい。

※ポスターは時間内に責任をもって撤去をお願いいたします。撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承下さい。

※優秀ポスター賞、若手優秀ポスター賞の受賞演題は最終日に教育講演会場前にポスターを掲示いたします。該当演題は事前にお知らせいたしますので、ポスターを撤去しないよう、ご注意下さい。

(2) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反（COI）開示のお願い
応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 58 回学術集会ホームページよりご確認ください。

【第 58 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.c-linkage.co.jp/jscn58/contents/coi.html>

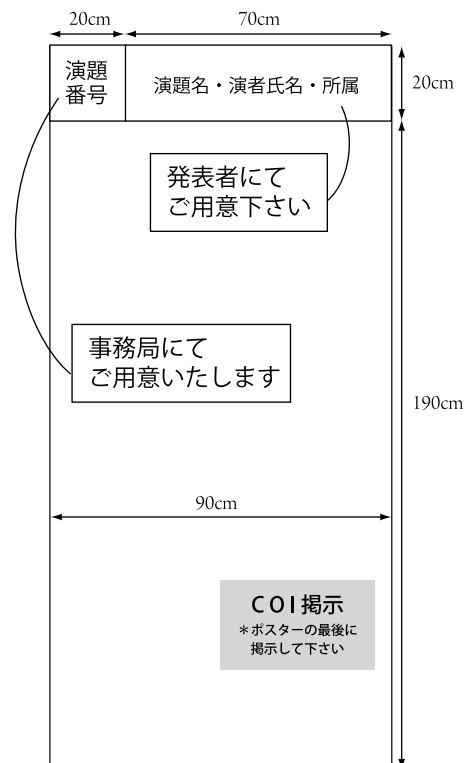
ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm、高さ 210 cm です。

(右図参照)

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます（演題番号は、学会事務局にて用意します）。

発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm、高さ 20 cm のスペースに演題名、所属、演者氏名とすべての共同演者氏名を提示して下さい。

本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示して下さい。画鋏は各パネルに用意します。



VII. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目（6 月 3 日）

12 時 50 分よりランチョンセミナー 1～8 を開催します。

■学会 2 日目（6 月 4 日）

7 時 30 分よりモーニングセミナー 1～2 を、11 時 50 分よりランチョンセミナー 9～14 を、16 時 10 分よりアフタヌーンセミナーを開催します。

■学会 3 日目（6 月 5 日）

7 時 30 分よりモーニングセミナー 3～4 を、11 時 55 分よりランチョンセミナー 15 を開催します。

※上記セミナーはいずれも昼食および軽食をご用意いたします。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
6 月 3 日（金）	7：30～12：00	4F 総合受付付近
6 月 4 日（土）	7：00～11：30	

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券（無料）が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。

※モーニングセミナー 1～4、アフタヌーンセミナー、学会 3 日目（6 月 5 日）ランチョンセミナー 15 は整理券の配布はございません。

VIII. 託児室

会場内の託児施設をご利用いただく予定です。詳細は 2016 年 4 月下旬以降に第 58 回学術集会ホームページに掲載する予定です。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

Ⅸ. 抄録集アプリ

本学術集会のプログラム検索、抄録閲覧、スケジュール管理ができるアプリケーションです。聴講したいセッションや演題を検索、スケジュール登録（ブックマーク）することで、ご自身のスケジュール管理ツールとしてご利用いただけます。

アプリ名：第 58 回日本小児神経学会学術集会/The 58th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology

対応機種：iPad, iPhone, Android

抄録閲覧パスワード：jscn2016

ダウンロード方法：App Store, Google Play より「jscn58」で検索し、「第 58 回日本小児神経学会学術集会」をダウンロードして下さい（無料）。

※画面はサンプルです。



プログラム委員会（敬称略，50 音順）

秋山 倫之, 石垣 景子, 井田 博幸, 稲垣 真澄, 今高 城治, 伊予田邦昭, 小国 弘量, 奥村 彰久, 小坂 仁, 加藤 徹, 城所 博之, 木村 一恵, 木村 重美, 小崎健次郎, 後藤 知英, 小牧 宏文, 齋藤 伸治, 斎藤 義朗, 佐久間 啓, 佐々木征行, 島川 修一, 白石 秀明, 新宅 治夫, 鈴木 由香, 高田 哲, 高梨 潤一, 高橋 幸利, 玉井 浩, 友田 明美, 豊島 光雄, 中井 昭夫, 中川 栄二, 根津 敦夫, 浜野晋一郎, 前垣 義弘, 宮尾 益知, 師田 信人, 山形 崇倫, 山下裕史朗, 山中 岳, 山本 俊至, 和田 敬仁

第 58 回日本小児神経学会学術集会

会 長 新島 新一（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

事務局長 中澤 友幸（東京都保健医療公社豊島病院小児科）

実行委員（50 音順・敬称略）

安部 信平, 池野 充, 大澤真木子, 大友 義之, 岡 明, 宮島 祐, 山内 秀雄, 山下進太郎, 山本 仁, 吉田 登

事務局長補佐（敬称略）

市田 幸子

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693

E-mail：jscn58@c-linkage.co.jp

第 58 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	会合名	時間	階	会場名
6月2日(木)	理事会	11:00～15:00	44 階	ハーモニー
〈プレコンgres〉	評議員会(第10回社員総会)	15:00～17:00	5 階	エミネンス
	評議員会選挙準備用小部屋	14:00～18:00	4 階	かえで
	実践教育セミナー 1	11:30～14:30	5 階	エミネンス
	実践教育セミナー 2	12:00～14:30	4 階	錦
	実践教育セミナー 3	11:30～14:30	4 階	扇
	実践教育セミナー 4	11:30～14:30	43 階	ムーンライト
	実践教育セミナー 5	14:45～17:45	4 階	錦
	実践教育セミナー 6	14:45～17:45	4 階	扇
	実践教育セミナー 7	15:30～17:30	43 階	ムーンライト
	社会活動・広報委員会主催セミナー 1	18:00～20:00	4 階	錦
	薬事小委員会主催セミナー	18:00～20:00	4 階	扇
	医療安全委員会主催セミナー	18:00～20:00	43 階	ムーンライト
6月3日(金)	国際化推進委員会	7:15～ 8:15	4 階	なつめ
〈学術集会第1日目〉	社会活動・広報委員会	7:15～ 8:15	4 階	かつら
	ホームページ委員会	7:15～ 8:15	4 階	みずき
	長期計画委員会	7:15～ 8:15	5 階	コスモス
	社会保険小委員会	7:15～ 8:15	47 階	あかね
	脳と発達編集委員会	12:00～13:00	4 階	けやき
	熱性けいれん診療ガイドライン策定 WG	12:00～13:00	44 階	アリア
	倫理委員会・COI 委員会(合同)	15:30～16:30	47 階	あかね
	アドバイサリーカウンスル	15:30～16:30	4 階	かつら
	広報のあり方に関する WG	15:30～16:30	4 階	みずき
	共同研究支援委員会	15:30～16:30	5 階	コスモス
	産科医療補償制度小委員会	15:30～16:30	4 階	なつめ
	社会活動・広報委員会主催セミナー 2	18:10～20:10	5 階	コンコード C
	第1回小児免疫性神経筋研究会	19:00～21:00	3 階	グレースルーム
	第10回子どもの眠り研究会	19:30～21:00	47 階	あけぼの
6月4日(土)	薬事小委員会	7:00～ 8:00	4 階	かつら
〈学術集会第2日目〉	ガイドライン統括委員会	7:00～ 8:00	47 階	あかね
	アーカイブ小委員会	7:00～ 8:00	5 階	コスモス
	医療安全委員会	7:00～ 8:00	5 階	ダリア
	Brain & Development 編集委員会	12:00～13:00	4 階	みずき
	東日本大震災支援小委員会	15:30～16:30	4 階	かつら
	用語委員会	15:30～16:30	5 階	コスモス
	小児けいれん重積治療ガイドライン策定 WG	15:30～16:30	4 階	かえで
	小慢・指定難病に関する小委員会	15:30～16:30	47 階	あかね
	チック診療ガイドライン策定 WG	17:10～18:10	4 階	かえで
	第8回小児免疫性脳炎研究会	7:30～ 8:30	3 階	グレースルーム
	産科医療補償制度小委員会主催セミナー	7:30～ 8:40	47 階	あけぼの
	共同研究支援委員会主催セミナー 第一部	7:40～ 8:40	5 階	コンコード A
	共同研究支援委員会主催セミナー 第二部	9:50～11:40	5 階	コンコード A
	会員総会	17:00～17:45	5 階	コンコード A
	優秀論文賞授賞式	17:45～18:15	5 階	コンコード A
	会員懇親会	18:30～21:00	5 階	エミネンス
6月5日(日)	教育委員会	7:30～ 8:30	5 階	コスモス
〈学術集会第3日目〉	専門医委員会	7:30～ 8:30	4 階	みずき
	小児急性脳症診療ガイドライン策定 WG	7:30～ 8:30	47 階	あかね
	市民公開講座	16:30～18:30	4 階	花 AB
	第59回学術集会プログラム委員会	16:15～17:15	5 階	コスモス

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

	第 1 会場	第 5 会場	第 8 会場	第 9 会場	理事会会場
	5 階	4 階	4 階	43 階	44 階
	エミネンス	錦	扇	ムーンライト	ハーモニー
11:00					
12:00					
13:00	実践教育セミナー 1 11:30 ~ 14:30 小児科医のための 神経画像2016 演者：森 壘 大場 洋 高梨潤一 神田知紀 堤 義之 座長：高梨潤一 大場 洋	実践教育セミナー 2 12:00 ~ 14:30 小児神経診療のための 診断推論 演者：杉田克生 生坂政臣 前垣義弘 座長：杉田克生	実践教育セミナー 3 11:30 ~ 14:30 第2回明日から役立つ 小児神経生理学入門 演者：榎日出夫 稲垣真澄 加賀佳美 北 洋輔 座長：大府正治 荒木 敦	実践教育セミナー 4 11:30 ~ 14:30 第3回 遺伝学実践教育セミナー 演者：山本俊至 小坂 仁 和田敬仁 酒井康成 座長：齋藤伸治 山形崇倫	理事会 11:00 ~ 15:00
14:00	S194	S197	S199	S202	
15:00					
16:00	評議員会 (第10回社員総会) 15:00 ~ 17:00	実践教育セミナー 5 14:45 ~ 17:45 小児緩和ケア ～重篤な疾患や障害を 抱える子どものために 小児神経科医として できること～ 演者：余谷暢之 笹月桃子 岡崎 伸 多田羅竜平 座長：吉良龍太郎 多田羅竜平	実践教育セミナー 6 14:45 ~ 17:45 新生児脳波・aEEG入門 演者：深沢達也 加藤 徹 杉山裕一朗 座長：加藤 徹 奥村彰久	実践教育セミナー 7 15:30 ~ 17:30 適応行動尺度 (Vineland-II)の利用法 演者：辻井正次 座長：古荘純一	
17:00		S203	S206	S208	
18:00					
19:00		社会活動・広報委員会 主催セミナー 1 18:00 ~ 20:00 日本小児神経学会の 社会的認知度向上の ための広報戦略 演者：神山 潤 伊藤弘道 菊池健二郎 岡西 徹 座長：岡西 徹 八木信一	薬事小委員会 主催セミナー 18:00 ~ 20:00 神経筋疾患の治療の未来 演者：古賀靖敏 小牧宏文 斎藤加代子 座長：藤井達哉 吉永治美	医療安全委員会 主催セミナー 18:00 ~ 20:00 医療安全セミナー 演者：宮田理英 村松一洋 下川尚子 木村壮介 座長：山内秀雄 是松聖悟	
20:00		S178	S183	S175	

第 58 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 1 日目〈6 月 3 日(金)〉

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	5 階	5 階	5 階	5 階
	エミネンス	コンコード A	コンコード B	コンコード C
8 : 00	開会式 8 : 00 ~ 8 : 05 会長講演 8 : 05 ~ 8 : 35 子どもたちの未来のために～ 小児神経と多領域との懸け橋～ 演者：新島新一 座長：大澤真木子 S103			
9 : 00	特別講演 1 8 : 45 ~ 9 : 30 New Concepts of Malformations of Cortical Development 演者：A. James Barkovich 座長：永井利三郎 S108			
10 : 00	シンポジウム 1 9 : 40 ~ 11 : 20 小児けいれん重積治療 ガイドライン 演者：九鬼一郎 菊池健二郎 永瀬裕朗 秋山倫之 座長：林 北見 山本 仁 S125	シンポジウム 2 9 : 40 ~ 11 : 20 未来につながる生き生きした 情動を育む環境創成 演者：小柴満美子 仙田 満 張山昌論 遠藤利彦 宿谷昌則 坂部 貢 座長：山内秀雄 仙田 満 S128	シンポジウム 3 (共催：第一三共株式会社) 9 : 40 ~ 11 : 20 小児重度痙攣に対する 包括的治療の道 演者：根津敦夫 久保田雅也 井原 哲 志村 司 座長：岡 明 師田信人 S132	脳炎・脳症 1 9 : 40 ~ 10 : 40 O-001 ~ O-006 座長：小坂 仁 今高城治 S245
11 : 00				脳炎・脳症 2 10 : 40 ~ 11 : 40 O-007 ~ O-012 座長：斎藤義朗 佐久間啓 S247
12 : 00	特別講演 2 11 : 50 ~ 12 : 35 Infantile spasms and West syndrome: how can we best improve long-term outcomes? 演者：Andrew L. Lux 座長：小国弘量 S109			
13 : 00	ランチョンセミナー 1 12 : 50 ~ 13 : 50 West 症候群に対する ピカバトリン治療 演者：小国弘量 座長：大塚頌子 S209	ランチョンセミナー 2 12 : 50 ~ 13 : 50 小児難治てんかんに対する 外科治療の検討 演者：川合謙介 座長：須貝研司 S209	ランチョンセミナー 3 12 : 50 ~ 13 : 50 Recent advance on the treatment of pediatric epilepsy -cases and knowledge- 演者：本田涼子 Raman Sankar 座長：高橋孝雄 S210	ランチョンセミナー 4 12 : 50 ~ 13 : 50 甲状腺ホルモンと脳の発達 演者：鬼形和道 座長：児玉浩子 S211
14 : 00	シンポジウム 4 14 : 00 ~ 15 : 40 急性脳症-小児神経学会による ガイドラインの策定- 演者：水口 雅 村山 圭 奥村彰久 市山高志 山内秀雄 座長：奥村彰久 高梨潤一 S135	シンポジウム 5 14 : 00 ~ 15 : 40 発達障害医療をめぐる最新の話 演者：久保田健夫 古荘純一 丹治和世 内匠 透 座長：宮島 祐 小枝達也 S138	シンポジウム 6 14 : 00 ~ 15 : 40 学ぼう、やろう、 リハビリテーション 演者：栗原まな 荒井 洋 清水直樹 野中雄一郎 吉橋 学 座長：荒井 洋 小沢 浩 S141	脳炎・脳症 3 14 : 00 ~ 15 : 00 O-013 ~ O-018 座長：高橋幸利 鈴木保宏 S249
15 : 00				感染、免疫 15 : 00 ~ 16 : 00 O-019 ~ O-024 座長：細矢光亮 前垣義弘 S251
16 : 00				
17 : 00	日本小児神経学会40周年記念式典 16 : 30 ~ 16 : 45 記念シンポジウム 16 : 45 ~ 17 : 45 スポーツは子どもの脳を育む 演者：鈴木大地 柳澤秋孝 和気秀文 座長：新島新一 桃井真里子 S104	中継会場 16 : 30 ~ 17 : 45		
18 : 00				
19 : 00				社会活動・広報委員会 主催セミナー 2 18 : 10 ~ 20 : 10 福祉サービスの書類を 上手に書こう！ 演者：岩坂英巳 久保田英幹 座長：山下裕史朗 小枝達也 S181
20 : 00				
21 : 00				

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場
	4 階	3 階	47 階	4 階
	錦	グレースルーム	あけぼの	扇
8 : 00				
9 : 00				
10 : 00	発達障害 1 9 : 40 ~ 10 : 40 O-025 ~ O-030 座長：稲垣真澄 宮島 祐 S253	English Session てんかん, けいれん 1 9 : 35 ~ 10 : 45 E-001 ~ E-007 座長：Andrew L. Lux 大坪 宏 S227	遺伝 1 9 : 40 ~ 10 : 40 O-049 ~ O-054 座長：山下純正 和田敬仁 S261	てんかん, けいれん 1 9 : 40 ~ 10 : 40 O-073 ~ O-078 座長：高橋系一 舟塚 真 S269
11 : 00	発達障害 2 10 : 40 ~ 11 : 40 O-031 ~ O-036 座長：田角 勝 相原正男 S255	English Session てんかん, けいれん 2 10 : 45 ~ 11 : 45 E-008 ~ E-013 座長：Raman Sankar 小林勝弘 S229	遺伝 2 10 : 40 ~ 11 : 40 O-055 ~ O-060 座長：齋藤伸治 松尾真理 S263	てんかん, けいれん 2 10 : 40 ~ 11 : 40 O-079 ~ O-084 座長：吉永治美 山下進太郎 S271
12 : 00				
13 : 00	ランチョンセミナー 5 12 : 50 ~ 13 : 50 治療可能なライソゾーム病の 診断と治療 演者：成田 綾 石垣景子 座長：奥山虎之 S211	ランチョンセミナー 6 12 : 50 ~ 13 : 50 モノアミン神経伝達とAD/HD 演者：曾良一郎 座長：玉井 浩 S212	ランチョンセミナー 7 12 : 50 ~ 13 : 50 腸内フローラとメンタルヘルス 演者：須藤信行 座長：山城雄一郎 S213	ランチョンセミナー 8 12 : 50 ~ 13 : 50 脳性麻痺と胎児心拍数パターン 演者：池田智明 座長：早川昌弘 S213
14 : 00	発達障害 3 14 : 00 ~ 15 : 00 O-037 ~ O-042 座長：根来民子 平澤恭子 S257	English Session 遺伝 14 : 00 ~ 15 : 00 E-014 ~ E-019 座長：小崎健次郎 加藤光広 S231	奇形, 染色体異常 14 : 00 ~ 15 : 00 O-061 ~ O-066 座長：舘野昭彦 山形崇倫 S265	てんかん, けいれん 3 14 : 00 ~ 15 : 00 O-085 ~ O-090 座長：廣瀬伸一 浜野晋一郎 S273
15 : 00	筋 15 : 00 ~ 16 : 00 O-043 ~ O-048 座長：木村重美 竹島泰弘 S259	English Session 画像 15 : 00 ~ 16 : 00 E-020 ~ E-025 座長：A. James Barkovich 佐々木征行 S233	不随意運動 15 : 00 ~ 16 : 00 O-067 ~ O-072 座長：木村一恵 熊田聡子 S267	てんかん, けいれん 4 15 : 00 ~ 16 : 00 O-091 ~ O-096 座長：金村英秋 荒木 聡 S275
16 : 00				
17 : 00				
18 : 00				
19 : 00				
20 : 00		第1回小児免疫性神経筋研究会 19 : 00 ~ 21 : 00	第10回子どもの眠り研究会 19 : 30 ~ 21 : 00	
21 : 00				

第 58 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 2 日目〈6 月 4 日(土)〉

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	5 階	5 階	5 階	5 階
7:00	エミネンス	コンコード A	コンコード B	コンコード C
8:00		共同研究支援委員会主催セミナー 第一部 7:40 ~ 8:40 日本小児神経学会が 支援する共同研究 演者: 和田敬仁 山本俊至 座長: 萩野谷和裕 森本昌史 S187	モーニングセミナー 1 7:30 ~ 8:20 熱性けいれん診療ガイドライン 2015をどう活かすか 演者: 浜野晋一郎 座長: 夏目 淳 S218	モーニングセミナー 2 7:30 ~ 8:20 ビデオで学ぶベランパネルの 難治てんかん治療 演者: 高橋幸利 座長: 小林勝弘 S218
9:00	特別講演 3 8:50 ~ 9:35 ~Fukuyama Memorial Lecture~ Progress and challenges in the understanding of early epileptic encephalopathies 演者: Raman Sankar 座長: 大澤真木子 S110			
10:00	シンポジウム 7 (共催: グラクソ・ スミスクライン株式会社) 9:50 ~ 11:40 Young Investigator's Session 演者: 佐久間啓 赤松和土 秋山倫之 村松一洋 池田真理子 座長: 高橋孝雄 新島新一 S144	共同研究支援委員会主催セミナー 第二部 9:50 ~ 11:40 エキスパートに聞く: 日本小児神経学会が行うべき 共同研究のあり方について 演者: 末松 誠 松原洋一 座長: 森本昌史 齋藤伸治 S189	シンポジウム 8 9:50 ~ 11:40 結節性硬化症の現状と今後 演者: 水口 雅 菅野秀宣 岡西 徹 波多野孝史 山形要人 座長: 大野耕策 樋野興夫 S147	シンポジウム 9 9:50 ~ 11:40 重症心身障害児(者)と小児 神経科-10年後を見据えての視点 演者: 松葉佐正 前垣義弘 三浦清邦 大西延英 児玉真美 座長: 口分田政夫 岩崎信明 S150
11:00				
12:00	ランチョンセミナー 9 11:50 ~ 12:50 ADHDの治療再考 演者: 宮尾益知 座長: 米山 明 S214	ランチョンセミナー 10 11:50 ~ 12:50 身の回りに潜むカルニチン欠乏症 演者: 大竹 明 座長: 後藤雄一 S214	ランチョンセミナー 11 11:50 ~ 12:50 おさえておくべき結節性硬化症 演者: 九鬼一郎 前垣義弘 座長: 三牧正和 S215	ランチョンセミナー 12 11:50 ~ 12:50 初めてのけいれん さあどうするか 演者: 榎日出夫 座長: 山本 仁 S216
13:00				
14:00		シンポジウム 10 13:00 ~ 14:50 小児てんかん患者の 成人期移行を取り巻く諸問題 演者: 安部信平 中里信和 渡辺雅子 平野嘉子 座長: 山本 仁 須貝研司 S153	シンポジウム 11 13:00 ~ 14:50 小児神経疾患病態の最新理解 演者: 日暮憲道 加藤光広 山本俊至 高橋幸利 座長: 廣瀬伸一 山本俊至 S156	シンポジウム 12 13:00 ~ 14:50 ポストゲノム時代の 小児神経放射線 演者: 池野 充 高梨潤一 大場 洋 A. James Barkovich 座長: 青木茂樹 相田典子 S159
15:00		シンポジウム 13 14:50 ~ 16:40 次世代の小児神経科医を育て ために~女性の立場から...~ 演者: 大澤真木子 桃井真里子 大塚頌子 加我牧子 石崎朝世 児玉浩子 座長: 埜中征哉 三池輝久 S162	シンポジウム 14 14:50 ~ 16:40 小児神経疾患に 対する遺伝子治療の幕開け —AADC欠損症を中心に— 演者: 山形崇倫 大橋十也 加藤光広 宮内彰彦 小坂 仁 座長: 加藤光広 山形崇倫 S166	シンポジウム 15 14:50 ~ 16:40 神経と消化器~機能性 消化管障害と脳腸相関~ 演者: 中山佳子 永田 智 石崎優子 細井賢二 座長: 清水俊明 玉井 浩 S169
16:00				
17:00				
18:00		会員総会 17:00 ~ 17:45		
		日本小児神経学会 優秀論文賞授賞式 ミニ講演 17:45 ~ 18:15		
19:00	ウェルカム コーラス 18:30 ~ 19:00			
	会員懇親会 19:00 ~ 21:00			
21:00				

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場
	4 階	3 階	47 階
	錦	グレースルーム	あけぼの
7:00			
	モーニングセッション 7:10～8:40 発達の視点から見る脳機能 ～脳機能イメージングを用いた検討～ 演者：山口真美 友田明美 門田行史 岡田直大 座長：宮本信也 門田行史 S172	第8回小児免疫性脳炎研究会 7:30～8:30	産科医療補償制度小委員会主催セミナー 7:30～8:40 産科医療補償制度の現状と今後の課題 演者：上田 茂 松井 潔 御牧信義 座長：根津敦夫 久保田哲夫 S185
8:00			
9:00			
10:00	代謝性疾患 9:40～10:40 O-097～O-102 座長：井田博幸 新宅治夫 S277	末梢神経 9:40～10:40 O-126～O-130 座長：小牧宏文 瀧上達夫 S286	画像 9:40～10:40 O-137～O-142 座長：森 健治 松尾宗明 S290
11:00	血管障害 10:40～11:40 O-103～O-108 座長：呉 繁夫 栗原まな S279	電気生理 10:40～11:40 O-131～O-136 座長：大府正治 久保田雅也 S288	脳外科領域 10:40～11:40 O-143～O-148 座長：師田信人 坂本博昭 S292
12:00	ランチョンセミナー 13 11:50～12:50 症例から学ぶニーマンピック病 C型の早期診断へのポイント 演者：露崎 悠 牧岡西紀 座長：高橋 勉 S216	ランチョンセミナー 14 11:50～12:50 小児神経と小児内分泌の懸け橋 演者：長谷川奉延 座長：泉 達郎 S217	
13:00	脳性麻痺・療育 13:00～14:00 O-109～O-114 座長：荒井 洋 根津敦夫 S281	友情講演 13:00～13:45 Olfactory development and dysgenesis in fetus and neonate 演者：Harvey B. Sarnat 座長：岩田欧介 S111	長期計画委員会ワークショップ 13:00～16:00 10年後(2026年)の 小児神経専門医のなすべきこと 演者：鈴木由香 口分田政夫 川上康彦 久保田健夫 岡西 徹 座長：神山 潤 友田明美 S191
14:00	障害支援・音楽療法 14:00～15:00 O-115～O-120 座長：高田 哲 鈴木直光 S283	English Session 筋 14:00～15:00 E-026～E-031 座長：Harvey B. Sarnat 後藤雄一 S235	
15:00	新生児 15:00～16:00 O-121～O-125 座長：早川文雄 松井 潔 S285	English Session 発達障害 15:00～16:00 E-032～E-037 座長：岩田欧介 三橋隆行 S237	
16:00	アフタヌーンセミナー 16:10～17:00 ADHDとその合併障害の治療 演者：榊原洋一 座長：山下裕史朗 S221	English Session 感染、免疫 16:00～17:00 E-038～E-043 座長：林 雅晴 市山高志 S239	
17:00			
18:00			
19:00			
21:00			

第 58 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 3 日目〈6 月 5 日(日)〉

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

教育講演会場			中継会場 1	中継会場 2
5 階			4 階	4 階
コンコード ABC			花 AB	花 C
7:30			モーニングセミナー 3 7:30 ~ 8:20 ゴーシェ病の 早期診断・治療のために 演者: 重松秀夫 大府正治 座長: 中村公俊 S219	モーニングセミナー 4 7:30 ~ 8:20 よくわかる小児てんかん 重症治療 ―機序と原因 からのアプローチ― 演者: 白石秀明 座長: 岡 明 S220
8:00				
開会挨拶 8:30 ~ 8:35				
教育講演 1 8:35 ~ 9:05 胎児期脳の正常発達とその損傷 演者: 城所博之 座長: 高嶋幸男 S113				
9:00				
教育講演 2 9:10 ~ 9:40 小児けいれん性疾患: 熱性けいれんと"非難治性"てんかんの最近の話題 演者: 浜野晋一郎 座長: 衛藤義勝 S114				
教育講演 3 9:45 ~ 10:15 神経発達障害の包括的理解のために: 生物学的指標(発達的中間表現型)という視点 演者: 友田明美 座長: 熊谷公明 S115				
10:00				
教育講演 4 10:20 ~ 10:50 Brain injury in premature and term born neonates: Insights from MRI 演者: A. James Barkovich 座長: 高橋孝雄 S116				
11:00				
教育講演 5 10:55 ~ 11:25 脳炎/脳症 演者: 今高城治 座長: 川井 充 S118				
12:00				
教育講演 6/ランチョンセミナー 15 11:55 ~ 12:55 (共催: 中外製薬株式会社・大正富山医薬品株式会社) インフルエンザ感染の重症化とインフルエンザ脳症の発症機序に関する最新知見 演者: 木戸 博 座長: 大野耕策 S119			中継会場 1 8:35 ~ 16:00	中継会場 2 8:35 ~ 16:00
13:00				
教育講演 7 13:10 ~ 13:40 頭痛患児の診療の実際 ~わかりやすく, やりがいのある臨床を共有するために~ 演者: 斎藤義朗 座長: 中澤友幸 S120				
14:00				
教育講演 8 13:45 ~ 14:15 遺伝学的検査 演者: 小崎健次郎 座長: 斎藤加代子 S121				
教育講演 9 14:20 ~ 14:50 小児神経科医が知っておくべきミトコンドリア病の多様性 演者: 三牧正和 座長: 杉江秀夫 S122				
15:00				
教育講演 10 14:55 ~ 15:25 小児免疫性中枢神経疾患の臨床: 脱髄疾患の診断と治療 演者: 鳥巢浩幸 座長: 黒川 徹 S123				
教育講演 11 15:30 ~ 16:00 筋疾患の診断と骨格筋画像 演者: 石垣景子 座長: 飯沼一字 S124				
16:00				
開会挨拶 16:00 ~ 16:10				
17:00			市民公開講座 (共催: 日本イーライリリー 株式会社) 16:30 ~ 18:30 発達障害の子どもを育む 豊かな環境について 座長・演者: 小枝達也 林 隆 大友義之 S222	
18:30				

第 58 回日本小児神経学会学術集会●日程（ポスターセッション）第 1・2 日目〈6 月 3・4 日（金・土）〉

ポスターセッション 第 1 日目（6 月 3 日）

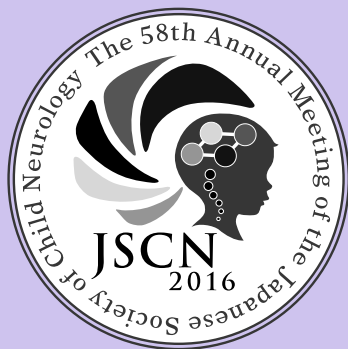
※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

ポスター展示会場						
4 階 花 ABCD						
ポスター貼り付け 9:00～11:00						
ポスター閲覧 11:00～18:00						
9:00						
11:00						
18:00	てんかん, けいれん 1 18:00～18:30 P-001～P-009 《モデレーター》 椎原 隆 S297	発達障害 1 18:00～18:30 P-029～P-039 《モデレーター》 伊予田邦昭 S306	脳性麻痺・療育 1 18:00～18:30 P-062～P-072 《モデレーター》 米山 明 S317	筋 1 18:00～18:30 P-094～P-102 《モデレーター》 石山昭彦 S328	画像 1 18:00～18:30 P-124～P-133 《モデレーター》 森 雅人 S338	代謝性疾患 1 18:00～18:30 P-156～P-165 《モデレーター》 三牧正和 S348
18:30	てんかん, けいれん 2 18:30～19:00 P-010～P-019 《モデレーター》 川上康彦 S300	発達障害 2 18:30～19:00 P-040～P-050 《モデレーター》 中井昭夫 S310	脳性麻痺・療育 2 18:30～19:00 P-073～P-082 《モデレーター》 岩崎裕治 S321	筋 2 18:30～19:00 P-103～P-112 《モデレーター》 石川悠加 S331	画像 2 18:30～19:00 P-134～P-144 《モデレーター》 加藤 徹 S341	代謝性疾患 2 18:30～19:00 P-166～P-175 《モデレーター》 中川栄二 S352
19:00	てんかん, けいれん 3 19:00～19:30 P-020～P-028 《モデレーター》 宮本雄策 S303	発達障害 3 19:00～19:30 P-051～P-061 《モデレーター》 鈴木由香 S313	脳性麻痺・療育 3 19:00～19:30 P-083～P-093 《モデレーター》 今井祐之 S324	筋 3 19:00～19:30 P-113～P-123 《モデレーター》 大谷宜伸 S334	神経変性疾患 19:00～19:30 P-145～P-155 《モデレーター》 豊島光雄 S345	腫瘍・血管障害 19:00～19:30 P-176～P-186 《モデレーター》 稲垣隆介 S355
19:30	ポスター撤去 19:30～20:00					
20:00						

ポスターセッション 第 2 日目（6 月 4 日）

ポスター展示会場						
4 階 花 ABCD						
ポスター貼り付け 9:00～11:00						
ポスター閲覧 11:00～15:00						
9:00						
11:00						
15:00	てんかん, けいれん 4 15:00～15:30 P-216～P-225 《モデレーター》 遠山 潤 S368	発達障害 4 15:00～15:30 P-245～P-254 《モデレーター》 関あゆみ S378	脳炎・脳症 1 15:00～15:30 P-273～P-283 《モデレーター》 吉良龍太郎 S387	感染, 免疫 1 15:00～15:30 P-305～P-314 《モデレーター》 稲葉雄二 S398	遺伝 1 15:00～15:30 P-334～P-343 《モデレーター》 黒澤健司 S408	奇形, 染色体異常 1 15:00～15:30 P-363～P-373 《モデレーター》 下島圭子 S417
15:30	てんかん, けいれん 5 15:30～16:00 P-226～P-234 《モデレーター》 島川修一 S372	発達障害 5 15:30～16:00 P-255～P-264 《モデレーター》 杉田克生 S381	脳炎・脳症 2 15:30～16:00 P-284～P-294 《モデレーター》 高柳 勝 S391	感染, 免疫 2 15:30～16:00 P-315～P-324 《モデレーター》 鳥巢浩幸 S401	遺伝 2 15:30～16:00 P-344～P-353 《モデレーター》 新井田要 S411	奇形, 染色体異常 2 15:30～16:00 P-374～P-384 《モデレーター》 山中 岳 S421
16:00	てんかん, けいれん 6 16:00～16:30 P-235～P-243 《モデレーター》 後藤知英 S375	精神障害, 行動障害 16:00～16:30 P-265～P-272 《モデレーター》 古荘純一 S385	脳炎・脳症 3 16:00～16:30 P-295～P-304 《モデレーター》 多田弘子 S395	感染, 免疫 3 16:00～16:30 P-325～P-333 《モデレーター》 村松一洋 S405	新生児 16:00～16:30 P-354～P-362 《モデレーター》 久保田哲夫 S414	
16:30	ポスター撤去 16:30～18:00					
18:00						

※P-008, P-122, P-244…演題取り下げ。



特別演題日程

S27 ~ S38

プログラム

S39 ~ S99

会長講演

- 6 月 3 日 (金) 8:05～8:35 第 1 会場
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 子どもたちの未来のために～小児神経と多領域との懸け橋～
 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

日本小児神経学会 40 周年記念式典

- 6 月 3 日 (金) 16:30～16:45 第 1 会場

記念シンポジウム：スポーツは子どもの脳を育む

- 6 月 3 日 (金) 16:45～17:45 第 1 会場
 座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
 桃井真里子 (国際医療福祉大学)
 1) 新しいスポーツ行政のかたち
 鈴木大地 (スポーツ庁長官)
 2) やる気と脳機能を高める柳沢運動プログラム
 柳澤秋孝, 柳澤弘樹 (松本短期大学)
 3) 発育期の運動習慣が心臓血管中枢へ及ぼす影響 ―生活習慣病予防効果の新しい機序―
 和気秀文 (順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科生理学)

特別講演 1

- 6 月 3 日 (金) 8:45～9:30 第 1 会場
 座長 永井利三郎 (プール学院大学教育学部)
New Concepts of Malformations of Cortical Development
 A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)

特別講演 2

- 6 月 3 日 (金) 11:50～12:35 第 1 会場
 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
Infantile spasms and West syndrome : how can we best improve long-term outcomes?
 Andrew L. Lux (Bristol Royal Hospital for Children, Bristol, UK)

特別講演 3 ～Fukuyama Memorial Lecture～

- 6 月 4 日 (土) 8:50～9:35 第 1 会場
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
Progress and challenges in the understanding of early epileptic encephalopathies
 Raman Sankar (Pediatric Neurology, David Geffen School of Medicine UCLA Los Angeles, California, USA)

友情講演

- 6 月 4 日 (土) 13:00～13:45 第 6 会場
 座長 岩田欧介 (久留米大学小児科)
Olfactory development and dysgenesis in fetus and neonate
 Harvey B. Sarnat (Paediatrics, Pathology (Neuropathology) and Clinical Neurosciences University of Calgary and Alberta Children's Hospital Calgary, Alberta, Canada)

教育講演 1

- 6 月 5 日 (日) 8:35～9:05 教育講演会場
 座長 高嶋幸男 (柳川療育センター, 国際医療福祉大学大学院)
胎児期脳の正常発達とその損傷
 城所博之 (名古屋大学医学部小児科)

教育講演 2

- 6 月 5 日 (日) 9:10～9:40 教育講演会場
 座長 衛藤義勝 (財団法人脳神経疾患研究所)
小児けいれん性疾患：熱性けいれんと“非難治性”てんかんの最近の話題
 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

教育講演 3

6 月 5 日 (日) 9:45~10:15 教育講演会場
座長 熊谷公明 (横浜総合病院小児神経科)
神経発達障害の包括的理解のために：生物学的指標 (発達の中間表現型) という視点
友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

教育講演 4

6 月 5 日 (日) 10:20~10:50 教育講演会場
座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
Brain injury in premature and term born neonates : Insights from MRI
A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)

教育講演 5

6 月 5 日 (日) 10:55~11:25 教育講演会場
座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
脳炎/脳症
今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)

教育講演 6 / ランチョンセミナー 15 : 共催 中外製薬株式会社・大正富山医薬品株式会社

6 月 5 日 (日) 11:55~12:55 教育講演会場
座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)
インフルエンザ感染の重症化とインフルエンザ脳症の発症機序に関する最新知見
木戸 博 (徳島大学先端酵素学研究所)

教育講演 7

6 月 5 日 (日) 13:10~13:40 教育講演会場
座長 中澤友幸 (東京都保健医療公社豊島病院小児科)
頭痛患児の診療の実際 ~わかりやすく, やりがいのある臨床を共有するために~
斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

教育講演 8

6 月 5 日 (日) 13:45~14:15 教育講演会場
座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
遺伝学的検査
小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)

教育講演 9

6 月 5 日 (日) 14:20~14:50 教育講演会場
座長 杉江秀夫 (常葉大学保健医療学部)
小児神経科医が知っておくべきミトコンドリア病の多様性
三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

教育講演 10

6 月 5 日 (日) 14:55~15:25 教育講演会場
座長 黒川 徹 (誠愛リハビリテーション病院)
小児免疫性中枢神経疾患の臨床：脱髄疾患の診断と治療
鳥巢浩幸 (福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野, 九州大学小児科)

教育講演 11

6 月 5 日 (日) 15:30~16:00 教育講演会場
座長 飯沼一字 (NPO 法人子どもの村東北)
筋疾患の診断と骨格筋画像
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

シンポジウム 1：小児けいれん重積治療ガイドライン

6月3日（金）9:40～11:20 第1会場

座長 林 北見（東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科）

山本 仁（聖マリアンナ医科大学小児科）

- 1) けいれん重積に対する病院前治療と初期治療
九鬼一郎¹，村上貴孝²
（大阪市立総合医療センター小児神経内科¹，真美会中野こども病院小児神経内科²）
- 2) ベンゾジアゼピン抵抗性けいれん重積への対応
菊池健二郎¹，山本 仁²（東京慈恵会医科大学小児科¹，聖マリアンナ医科大学小児科²）
- 3) 難治性けいれん重積状態・超難治性けいれん重積状態への対応
永瀬裕朗¹，須貝研司²
（神戸大学医学部附属病院親と子の心療部¹，国立精神・神経医療研究センター小児神経科²）
- 4) けいれん重積状態に対する評価
秋山倫之^{1,2}，前垣義弘³
（岡山大学病院小児神経科¹，岡山大学病院てんかんセンター²，鳥取大学医学部脳神経小児科³）

シンポジウム 2：未来につながる生き生きした情動を育む環境創成

6月3日（金）9:40～11:20 第2会場

座長 山内秀雄（埼玉医科大学小児科）

仙田 満（環境デザイン研究所）

- 1) 衣食住・社会環境と神経系情報を包括視する発達診断および療育への可能性
小柴満美子^{1,2,3}，笥 紘子¹，櫻井隼人¹，本多正和¹，森田佳代¹，小澤晋平¹，西村邦弘³，
中村 俊¹，新津 守⁴，國方徹也¹，山内秀雄¹
（埼玉医科大学小児科¹，埼玉医科大学医学部生化学²，国立精神神経医療研究センター³，埼玉医科大学
医学部放射線科⁴）
- 2) 我が国のこどもの成育環境の諸問題とこども環境学
仙田 満（環境デザイン研究所）
- 3) 赤外線熱画像からの新生児の姿勢推定
張山昌論（東北大学大学院情報科学研究科）
- 4) 社会情緒的発達の揺籃としてのアタッチメント
遠藤利彦（東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース）
- 5) 自然のしくみと住まいの環境—エクセルギー研究が明らかにしてきたことから—
宿谷昌則（東京都市大学環境学部環境創生学科）
- 6) 日常環境因子による健康影響—子どもの脳に対する影響を中心として—
坂部 貢（東海大学医学部生体構造機能学領域）

シンポジウム 3：小児重度痙縮に対する包括的治療の道（共催：第一三共株式会社）

6月3日（金）9:40～11:20 第3会場

座長 岡 明（東京大学医学部小児科）

師田信人（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

- 1) ボツリヌス治療
根津敦夫（横浜療育医療センター神経小児科）
- 2) ITB 療法の現状と課題
久保田雅也，柏井洋文，寺嶋 宙（国立成育医療研究センター神経内科）
- 3) 小児重度痙縮に対する機能的脊髄後根切断術
井原 哲，師田信人（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）
- 4) 重度痙縮に対する整形外科的治療
志村 司（広島県立障害者リハビリテーションセンター）

シンポジウム 4：急性脳症-小児神経学会によるガイドラインの策定-

6月3日（金）14:00～15:40 第1会場

座長 奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）

高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

- 1) 急性脳症—疫学と診療の現状—
水口 雅（東京大学大学院医学系研究科発達医科学）
- 2) 先天代謝異常症による急性脳症
村山 圭（千葉県こども病院代謝科）
- 3) 急性脳症における脳波
奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）
- 4) ステロイドパルス療法と免疫グロブリン療法
市山高志（鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科）
- 5) 小児急性脳症における脳低温療法
山内秀雄¹，今高城治²（埼玉医科大学小児科¹，獨協医科大学小児科²）

シンポジウム 5：発達障害医療をめぐる最新の話

6月3日（金）14:00～15:40 第2会場

座長 宮島 祐（東京家政大学子ども学部）

小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）

- 1) 発達障害をめぐる遺伝と環境～オーバービュー～
久保田健夫（山梨大学医学部環境遺伝医学講座）
- 2) 発達障害者の臨床症状をどのように理解するのか？—当事者の視点をふまえて—
古荘純一¹，磯崎祐介²（青山学院大学教育人間科学部¹，青山学院大学教育人間科学研究科²）
- 3) 発達障害医療の最新画像診療 —大人の発達障害外来から見えてくるもの—
丹治和世¹，太田晴久¹，橋本龍一郎^{1,3}，加藤進昌^{1,2}
（昭和大学発達障害医療研究所¹，公益財団法人神経研究所附属晴和病院²，首都大学東京言語科学³）
- 4) 発達障害の生物学的理解
内匠 透（理化学研究所脳科学総合研究センター）

シンポジウム 6：学ぼう，やろう，リハビリテーション

6月3日（金）14:00～15:40 第3会場

座長 荒井 洋（森之宮病院小児神経科）

小沢 浩（島田療育センターはちおうじ）

- 1) 小児神経疾患のリハビリテーション：総論・特に他科多職種との連携の重要性
栗原まな（神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科）
- 2) 脳性麻痺のリハビリテーション—小児神経科医からの変革—
荒井 洋（森之宮病院小児神経科）
- 3) 小児救命集中治療領域におけるリハビリ・早期離床の取り組みについて
清水直樹¹，三山佐保子²
（東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部¹，東京都立小児総合医療センター神経内科²）
- 4) 小児脳神経外科疾患がリハビリテーションに期待すること
野中雄一郎，増本 愛（東京慈恵会医科大学脳神経外科小児脳神経外科部門）
- 5) 小児後天性脳損傷のリハビリテーション
吉橋 学（神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科）

シンポジウム 7：Young Investigator's Session（共催：グラクソ・スミスクライン株式会社）

6月4日（土）9:50～11:40 第1会場

座長 高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）

新島新一（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

- 1) 難治頻回部分発作重積型急性脳炎：30年間の軌跡
佐久間 啓（公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト）
- 2) iPS細胞技術を用いた神経疾患解析と治療法開発
赤松和土（順天堂大学大学院医学系研究科ゲノム・再生医療センター）
- 3) 神経代謝疾患の診断体制の確立に向けて
秋山倫之（岡山大学病院小児神経科，岡山大学病院てんかんセンター）
- 4) 情熱，創造と探究心で展開する医学研究—こども達の未来のために—
村松一洋（群馬大学大学院医学系研究科小児科）
- 5) 福山型先天性筋ジストロフィーに対するアンチセンス治療
池田真理子（神戸大学医学部小児科）

シンポジウム 8：結節性硬化症の現状と今後

6月4日（土）9:50～11:40 第3会場

座長 大野耕策（独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院）

樋野興夫（順天堂大学医学部病理・腫瘍学）

- 1) 結節性硬化症にともなう自閉症の薬物治療
水口 雅（東京大学大学院医学系研究科発達医科学）
- 2) 結節性硬化症に対するてんかん外科治療
菅野秀宣¹，新島新一²，中島 円¹，安部信平¹，池野 充¹，五十嵐鮎子¹，山下進太郎²，中澤美賀¹
（順天堂大学医学部脳神経外科¹，順天堂大学医学部附属練馬病院小児科²）
- 3) 小児神経科医が中心となる結節性硬化症の包括的診療
岡西 徹（聖隷浜松病院小児神経科）
- 4) 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫の診断，判断，決断
波多野孝史（JR 東京総合病院泌尿器科）
- 5) 結節性硬化症の新しいメカニズムと治療薬
山形要人（東京都医学総合研究所シナプス可塑性）

シンポジウム 9：重症心身障害児（者）と小児神経科－10 年後を見据えての視点

6 月 4 日（土）9:50～11:40 第 4 会場

座長 口分田政夫（びわこ学園医療福祉センター草津）

岩崎信明（茨城県立医療大学）

- 1) 重度障害児の未来のために～日本小児連絡協議会重症心身障害児（者）・在宅医療委員会での取り組み～
松葉佐 正（熊本大学医学部附属病院）
- 2) 重症心身障害児（者）の在宅医療を担う医療人材の養成と地域支援ネットワーク構築－鳥取大学の取り組み－
前垣義弘，玉崎章子（鳥取大学医学部脳神経小児科）
- 3) 小児期から成人期，生涯での医療支援を誰がどのように担うのか
三浦清邦（豊田市こども発達センター小児神経科）
- 4) 児童福祉法と障害者総合支援法における重症心身障害児者支援
大西延英（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室）
- 5) 親が夢見る 10 年後の重症心身障害児者医療
児玉真美（一般社団法人日本ケアラー連盟）

シンポジウム 10：小児てんかん患者の成人期移行を取り巻く諸問題

6 月 4 日（土）13:00～14:50 第 2 会場

座長 山本 仁（聖マリアンナ医科大学小児科）

須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

- 1) 小児期てんかん患者の成人診療科へのトランジションの問題
－大学病院と市中病院における問題の類似・相違点を中心に－
安部信平（順天堂大学医学部小児科）
- 2) てんかん診療における小児科から成人科へのトランジション
中里信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）
- 3) 小児てんかんの成人へのかけ橋を探る
渡辺雅子（新宿神経クリニック）
- 4) 小児神経科医が知っておくべき精神症状
平野嘉子（成田赤十字病院精神神経科，東京女子医科大学小児科）

シンポジウム 11：小児神経疾患病態の最新理解

6 月 4 日（土）13:00～14:50 第 3 会場

座長 廣瀬伸一（福岡大学医学部小児科）

山本俊至（東京女子医科大学統合医科学研究所）

- 1) PCDH19 関連てんかんの最新事情
日暮憲道^{1,2}，廣瀬伸一^{2,3}
（東京慈恵会医科大学小児科¹，福岡大学てんかん分子病態研究所²，福岡大学医学部小児科³）
- 2) mTOR 病：シグナル伝達異常と分子標的治療
加藤光広（昭和大学医学部小児科）
- 3) 網羅的遺伝子診断
山本俊至（東京女子医科大学統合医科学研究所）
- 4) Rasmussen 症候群の最新理解
高橋幸利（静岡てんかん・神経医療センター）

シンポジウム 12：ポストゲノム時代の小児神経放射線

6 月 4 日（土）13:00～14:50 第 4 会場

座長 青木茂樹（順天堂大学大学院医学研究科放射線医学）

相田典子（神奈川県立こども医療センター放射線科）

- 1) 小児神経疾患における先進的 MRI 撮像法と遺伝子学的診断
池野 充（順天堂大学医学部小児科）
- 2) MR スペクトルスコピーで診る脳代謝
高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
- 3) 先天代謝疾患の Snap 画像診断
大場 洋（帝京大学医学部放射線科）
- 4) MRI of Neurometabolic Disorders
A. James Barkovich（University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA）

シンポジウム 13：次世代の小児神経科医を育むために～女性の立場から～

6月4日(土) 14:50～16:40 第2会場

座長 埜中征哉(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)

三池輝久(兵庫県立リハビリテーション中央病院)

- 1) 患者さんご家族に支えられ、励まされ、育てて頂いて：福山型先天性筋ジストロフィー再考
大澤真木子(東京女子医科大学小児科)
- 2) プロフェッショナルということ
桃井真里子(国際医療福祉大学病院, 国際医療福祉大学)
- 3) 女性医師の未来は明るい
大塚頌子(旭川荘療育・医療センター旭川児童院小児神経科)
- 4) お姫さまとお嫁さん、お嬢さんと女王さまのあいだ
加我牧子(東京都立東部療育センター, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
- 5) 診療所から小児神経専門医療に挑む—女性医師と視点も捉えて
石崎朝世(公益社団法人発達協会王子クリニック)
- 6) ワークライフバランスを上手にとるために
児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

シンポジウム 14：小児神経疾患に対する遺伝子治療の幕開け—AADC 欠損症を中心に—

6月4日(土) 14:50～16:40 第3会場

座長 加藤光広(昭和大学医学部小児科)

山形崇倫(自治医科大学小児科)

- 1) 小児神経疾患に対する遺伝子治療実施への道のり
山形崇倫(自治医科大学小児科)
- 2) 神経疾患に対する遺伝子治療の現状
大橋十也(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部, 東京慈恵会医科大学小児科)
- 3) 神経伝達物質病と AADC 欠損症
加藤光広(昭和大学医学部小児科)
- 4) 芳香族アミノ酸脱炭酸酵素(AADC)欠損症に対する遺伝子治療実施例の報告
宮内彰彦¹, 小島華林¹, 多賀直行², 小野さやか³, 斎藤順一⁴, 嵯峨 泰⁵, 水上浩明⁵, 加藤光広^{6,7},
中嶋 剛⁸, 小坂 仁¹, 村松慎一^{9,10}, 山形崇倫¹
(自治医科大学小児科¹, 自治医科大学麻酔科集中治療医学², 自治医科大学さいたま医療センター神経内科³, 宇都宮セントラルクリニック放射線科⁴, 自治医科大学分子病態治療研究センター遺伝子治療部⁵, 昭和大学医学部小児科⁶, 山形大学医学部小児科⁷, 自治医科大学脳神経外科⁸, 自治医科大学神経内科⁹, 東京大学医科学研究所遺伝子細胞治療センター¹⁰)
- 5) アデノ随伴ウイルスがひらく遺伝性神経疾患治療
小坂 仁¹, 中村幸恵¹, 神保恵理子¹, 村松慎一², 山形崇倫¹
(自治医科大学小児科¹, 自治医科大学神経内科²)

シンポジウム 15：神経と消化器～機能性消化管障害と脳腸相関～

6月4日(土) 14:50～16:40 第4会場

座長 清水俊明(順天堂大学医学部小児科)

玉井 浩(大阪医科大学小児科)

- 1) 小児の機能性消化管疾患
中山佳子(信州大学医学部小児科)
- 2) 脳腸相関と腸内細菌叢
永田 智(東京女子医科大学医学部小児科)
- 3) 起立性調節障害児の消化器症状
石崎優子(関西医科大学小児科)
- 4) 小児の機能性消化管障害の新しい検査法
細井賢二, 藤井 徹, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明(順天堂大学医学部小児科)

モーニングセッション：発達の視点から見る脳機能～脳機能イメージングを用いた検討～

6月4日(土) 7:10～8:40 第5会場

座長 宮本信也(筑波大学人間系)

門田行史(自治医科大学小児科)

- 1) 顔認知発達の定型・非定型
山口真美(中央大学文学部心理学研究室)
- 2) 視線計測検出装置(アイトラッカー)を用いた社会発達メカニズムの解明
友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)
- 3) fNIRSを用いた年齢依存性脳機能変化の可視化研究 - 6～14歳の定型発達とAD/HDを対象とした検討 -
門田行史(自治医科大学医学部小児科, 国際医療福祉大学病院, 中央大学研究開発機構)
- 4) 前思春期における自己制御の脳神経基盤に関する検討
岡田直大(東京大学医学部精神神経科)

医療安全委員会主催セミナー：医療安全セミナー

6月2日(木) 18:00～20:00 第9会場

座長 山内秀雄(埼玉医科大学小児科)
是松聖悟(大分大学医学部小児科)

1) 抗けいれん薬の安全使用

宮田理英^{1,5}, 星出(梶本)まどか^{2,5}, 是松聖悟^{3,5}, 山内秀雄^{4,5}

(東京北医療センター小児科¹, 山口大学大学院医学系研究科小児科², 大分大学医学部小児科³, 埼玉医科大学小児科⁴, 日本小児神経学会医療安全委員会⁵)

2) 鎮静薬の安全使用に向けて

村松一洋¹, 宮本雄策²(群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 川崎市立多摩病院小児科²)

3) 脳神経外科と小児科との融合領域の医療安全

下川尚子^{1,2}, 坂本博昭^{3,4}

(佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 日本小児神経外科学会医療安全委員会委員長², 大阪市立大学脳神経外科³, 日本小児神経外科学会理事長⁴)

4) 医療事故調査制度について ～その理念と現状、期待～

木村壮介(日本医療安全調査機構)

社会活動・広報委員会主催セミナー1：日本小児神経学会の社会的認知度向上のための広報戦略

6月2日(木) 18:00～20:00 第5会場

座長 岡西 徹(聖隷浜松病院小児神経科)
八木信一(八木小児科医院, 富山大学医学部)

1) 本夜間集会開催の主旨

神山 潤(公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター)

2) 小児神経学会の社会的認知度を上げる必要性と基本戦略

伊藤弘道(徳島大学医学部小児科)

3) 情報収集と発信のシステム構築：プレスリリース

菊池健二郎(東京慈恵会医科大学小児科)

4) 日本小児神経学会の未来を発展させるスローガンについて

岡西 徹(聖隷浜松病院小児神経科)

社会活動・広報委員会主催セミナー2：福祉サービスの書類を上手に書こう！

6月3日(金) 18:10～20:10 第4会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科)
小枝達也(国立成育医療研究センターこころの診療部)

1) 障害年金のガイドラインについて

岩坂英巳(奈良教育大学特別支援教育研究センター)

2) てんかん患者が必要とする医療・福祉サービス

久保田英幹(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

薬事小委員会主催セミナー：神経筋疾患の治療の未来

6月2日(木) 18:00～20:00 第8会場

座長 藤井達哉(滋賀県立小児保健医療センター)
吉永治美(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学(小児神経科))

1) ミトコンドリア病：創薬の最前線

古賀靖敏(久留米大学医学部小児科)

2) デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした臨床試験の現状

小牧宏文(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)

3) 脊髄性筋萎縮症治療新時代へのキックオフ

斎藤加代子, 荒川玲子(東京女子医科大学遺伝子医療センター)

産科医療補償制度小委員会主催セミナー：産科医療補償制度の現状と今後の課題

6月4日(土) 7:30～8:40 第7会場

座長 根津敦夫(横浜療育医療センター神経小児科)
久保田哲夫(安城更生病院小児科)

1) 産科医療補償制度の現状と課題について

上田 茂(公益財団法人日本医療機能評価機構)

2) 産科医療補償制度の対象患者選択に関する検討

松井 潔, 田上幸治(神奈川県立こども医療センター総合診療科)

3) 診断書料をめぐる諸問題：評議員アンケート調査にみる施設間格差

御牧信義(倉敷成人病センター小児科)

共同研究支援委員会主催セミナー

第一部：日本小児神経学会が支援する共同研究

6月4日（土）7:40～8:40 第2会場

座長 萩野谷和裕（宮城県立子ども病院・拓桃医療療育センター）

森本昌史（京都府立医科大学小児科）

1) ATR-X 症候群の臨床研究

和田敬仁¹、塩田倫史²、福永浩司²、杉山 弘³、田辺秀之⁴、岡本伸彦⁵、黒澤健司⁶、新保裕子⁶
（京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野¹、東北大学大学院薬学研究科²、京都大学大学院理学研究科³、総合研究大学院大学⁴、大阪母子保健総合医療センター⁵、神奈川県立こども医療センター⁶）

2) 脳クレアチン欠乏症の臨床研究

和田敬仁¹、小坂 仁²、相田典子³、後藤知英⁴、露崎 悠⁴、新保裕子⁴、加藤秀一⁵、高野亨子⁶、大槻純男⁷、伊藤慎悟⁷、立川正憲⁸、黒澤裕子⁹
（京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野¹、自治医科大学小児科²、神奈川県立こども医療センター放射線科³、神奈川県立こども医療センター神経内科⁴、神奈川県立精神医療センター⁵、信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座⁶、熊本大学大学院生命科学研究部⁷、東北大学大学院薬学研究科⁸、東京医科大学健康増進スポーツ医学分野⁹）

3) 進行性大脳白質障害の遺伝子診断と疾患概念の確立

山本俊至¹、森本昌史²、折居建治³、土井 宏⁴、田中竜太⁵、山下博史⁶
（東京女子医科大学統合医科学研究科¹、京都府立医科大学小児科²、岐阜大学小児科³、横浜市立大学神経内科学⁴、筑波大学小児科⁵、京都大学神経内科⁶）

第二部：エキスパートに聞く：日本小児神経学会が行うべき共同研究のあり方について

6月4日（土）9:50～11:40 第2会場

座長 森本昌史（京都府立医科大学小児科）

齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

1) 日本医療研究開発機構の挑戦：難病・未診断疾患から始まる研究開発の改革

末松 誠（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

2) 日本小児神経学会と小児未診断疾患イニシアチブ（IRUD-P）

松原洋一（国立成育医療研究センター研究所）

長期計画委員会ワークショップ：10年後（2026年）の小児神経専門医のなすべきこと

6月4日（土）13:00～16:00 第7会場

座長 神山 潤（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター）

友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

1) 子どもの心の診療のあり方：「子どもの心に寄り添い、輝く笑顔を増やすために我々ができることは!？」

鈴木由香¹、杉田克生²、宮島 祐³、中井昭夫⁴
（松山赤十字病院¹、千葉大学教育学部²、東京家政大学子ども学部子ども支援学科³、兵庫県立リハビリテーション中央病院子ども睡眠と発達医療センター⁴）

2) 重症心身障害の人たちとその家族が颯爽と街を歩くことができるために小児神経科医ができること

口分田政夫（びわこ学園医療福祉センター草津小児科）

3) 学術集会のあり方：「10年後の学会のかたちをボクたちワタシたちがキメル」

川上康彦¹、小倉加恵子²、島川修一³、多田弘子⁴
（日本医科大学多摩永山病院小児科¹、森之宮病院小児神経科²、大阪医科大学附属病院小児科³、千葉県済生会習志野病院小児科⁴）

4) 踏み出そう！小児神経学の多領域連携

久保田健夫¹、福與なおみ²、福田冬季子³、鶴澤礼実⁴
（山梨大学医学部環境遺伝医学講座¹、東北大学病院小児科・遺伝科²、浜松医科大学医学部小児科³、福岡大学筑紫病院小児科⁴）

5) 日本小児神経学会の新しいシンボルの制作と応用：キャッチフレーズ、スローガン、シンボルマーク、シンボルカラーについて

岡西 徹（聖隷浜松病院小児神経科）

実践教育セミナー 1：小児科医のための神経画像 2016

- 6月2日(木) 11:30～14:30 第1会場
 座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 大場 洋(帝京大学医学部放射線科)
- 1) 若年性脳血管障害
森 壱(東京大学医学部放射線科)
 - 2) 新生児脳症の画像診断
大場 洋(帝京大学医学部放射線科)
 - 3) 小児急性脳症 画像診断 up-to-date
高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 - 4) 救急を要する小児の脳画像診断
神田知紀, 大場 洋(帝京大学医学部放射線科)
 - 5) 小児の全身性疾患に伴う中枢神経病変
堤 義之(国立成育医療研究センター放射線診療部)

実践教育セミナー 2：小児神経診療のための診断推論

- 6月2日(木) 12:00～14:30 第5会場
 座長 杉田克生(千葉大学教育学部基礎医科学)
- 1) 小児神経診療における必診断推論の必要性
杉田克生(千葉大学教育学部基礎医科学)
 - 2) 診断推論とは何か
生坂政臣(千葉大学医学部附属病院総合診療部)
 - 3) 小児神経診療で大切なこと：診断する努力を継続すること，主訴に応えること
前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

実践教育セミナー 3：第2回明日から役立つ小児神経生理学入門

- 6月2日(木) 11:30～14:30 第8会場
 座長 大府正治(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)
 荒木 敦(関西医科大学小児科)
- 1) 聴覚刺激による誘発脳波 - 聴性脳幹反応と P300 -
榎 日出夫(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
 - 2) 小児神経科における光トポグラフィー (NIRS) の臨床応用
稲垣真澄(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 - 3) 電気生理 (ABR, P300)：実演
加賀佳美^{1,2}, 相原正男³
(山梨大学医学部小児科¹, 国立病院機構甲府病院小児科², 山梨大学大学院総合研究部³)
 - 4) 近赤外線スペクトロスコピーによる脳機能の測定実習：小児の測定に向けて
北 洋輔(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

実践教育セミナー 4：第3回遺伝学実践教育セミナー

- 6月2日(木) 11:30～14:30 第9会場
 座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山形崇倫(自治医科大学小児科学)
- 講演 山本俊至(東京女子医科大学統合医科学研究所)
 小坂 仁(自治医科大学小児科)
 和田敬仁(京都大学大学院医学研究科医療倫理・遺伝医療学分野)
 酒井康成(九州大学病院小児科)

実践教育セミナー 5：小児緩和ケア～重篤な疾患や障害を抱える子どものために小児神経科医としてできること～

- 6月2日(木) 14:45～17:45 第5会場
 座長 吉良龍太郎(福岡市立こども病院小児神経科)
 多田羅竜平(大阪市立総合医療センター緩和医療科)
- 1) 小児緩和ケア総論
余谷暢之(神戸大学医学部附属病院腫瘍センター緩和ケアチーム)
 - 2) 治癒が望めない先の医療としての緩和ケア
笹月桃子(九州大学大学院医学研究院小児科, 九州大学病院小児緩和ケアチーム)
 - 3) 急性/慢性疾患について最善のケアや方針を提供するための対話 (コミュニケーション)
岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児神経内科)
 - 4) 意思決定の困難な子どもの医療に関わる倫理的課題
多田羅竜平(大阪市立総合医療センター緩和医療科)

実践教育セミナー 6：新生児脳波・aEEG 入門

6 月 2 日 (木) 14:45～17:45 第 8 会場

座長 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

1) 正期産児の脳波

深沢達也 (安城更生病院小児科)

2) 早産児脳波のとり方・よみ方

加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

3) 新生児 aEEG の装着から判読まで -どの症例に適応すべきで何がわかるか?-

杉山裕一郎 (名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門)

実践教育セミナー 7：適応行動尺度 (Vineland-II) の利用法

6 月 2 日 (木) 15:30～17:30 第 9 会場

座長 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)

日本版 Vineland-2 適応行動尺度の臨床活用法

辻井正次 (中京大学現代社会学部)

ランチョンセミナー 1：共催 アルフレッサ ファーマ株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 1 会場

座長 大塚頌子 (旭川診療育・医療センター)

West 症候群に対するビガバトリン治療

講演 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

ランチョンセミナー 2：共催 日本光電工業株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 2 会場

小児難治性てんかんに対する外科治療の検討

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科/てんかんセンター)

小児難治性てんかんの早期外科治療の検討：術前検査, 術式, そして治療転帰

講演 川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)

ランチョンセミナー 3：共催 ユーシービージャパン株式会社・大塚製薬株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 3 会場

Recent advance on the treatment of pediatric epilepsy -cases and knowledge-

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

1) 小児の難治性てんかんの治療の実際

講演 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)

2) Update on the pharmacologic management of common pediatric epilepsy syndromes

講演 Raman Sankar (Pediatric Neurology, David Geffen School of Medicine UCLA Los Angeles, California, USA)

ランチョンセミナー 4：共催 ファイザー株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 4 会場

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

甲状腺ホルモンと脳の発達

講演 鬼形和道 (島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター)

ランチョンセミナー 5：共催 ジェンザイム・ジャパン株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 5 会場

治療可能なライソゾーム病の診断と治療

座長 奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

1) ゴーシェ病の早期診断に役立つポイント

講演 成田 綾 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

2) 日常診療で遭遇しうる筋疾患の診断アプローチのコツ

講演 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

ランチョンセミナー 6：共催 塩野義製薬株式会社・シャイアー・ジャパン株式会社

6 月 3 日 (金) 12:50～13:50 第 6 会場

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科学教室)

モノアミン神経伝達と AD/HD

講演 曾良一郎 (神戸大学大学院医学研究科精神医学分野)

ランチョンセミナー 7: 共催 株式会社ヤクルト本社

6月3日(金) 12:50~13:50 第7会場
 座長 山城雄一郎(順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座)
 腸内フローラとメンタルヘルス
 講演 須藤信行(九州大学大学院医学研究院心身医学)

ランチョンセミナー 8: 共催 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

6月3日(金) 12:50~13:50 第8会場
 座長 早川昌弘(名古屋大学医学部附属病院小児科)
 脳性麻痺と胎児心拍数パターン
 講演 池田智明(三重大学医学部産婦人科)

ランチョンセミナー 9: 共催 日本イーライリリー株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第1会場
 座長 米山 明(心身障害児総合医療療育センター外来療育)
 ADHD の治療再考
 講演 宮尾益知(どんぐり発達クリニック)

ランチョンセミナー 10: 共催 大塚製薬株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第2会場
 座長 後藤雄一(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)
 身の回りに潜むカルニチン欠乏症
 講演 大竹 明(埼玉医科大学小児科)

ランチョンセミナー 11: 共催 ノバルティス ファーマ株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第3会場
 おさえておくべき結節性硬化症
 座長 三牧正和(帝京大学医学部小児科学講座)
 1) 結節性硬化症診療における検査と治療のポイント
 講演 九鬼一郎(大阪市立総合医療センター小児神経内科)
 2) 自然歴を念頭に入れた結節性硬化症の診療と診療連携
 講演 前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

ランチョンセミナー 12: 共催 協和発酵キリン株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第4会場
 座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)
 初めてのけいれん さあどうするか
 講演 榎 日出夫(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)

ランチョンセミナー 13: 共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第5会場
 症例から学ぶニーマンピック病 C 型の早期診断へのポイント
 座長 高橋 勉(秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系小児科学講座)
 1) NP-C Suspicion Index (NPC-SI) が診断に有用であった Nieman Pick C 型の 1 例
 講演 露崎 悠(神奈川県立こども医療センター)
 2) 胎児期より肝脾腫を認め、神経症状出現を契機に診断に至った Niemann-Pick 病 C 型の 1 例
 講演 牧岡西紀(群馬大学大学院医学研究科小児科学分野)

ランチョンセミナー 14: 共催 JCR ファーマ株式会社

6月4日(土) 11:50~12:50 第6会場
 座長 泉 達郎(独立行政法人国立病院機構七尾病院)
 小児神経と小児内分泌の懸け橋
 講演 長谷川奉延(慶應義塾大学医学部小児科学教室)

モーニングセミナー 1：共催 高田製薬株式会社

6月4日（土）7:30～8:20 第3会場

座長 夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

熱性けいれん診療ガイドライン 2015 をどう活かすか

講演 浜野晋一郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

モーニングセミナー 2：共催 エーザイ株式会社

6月4日（土）7:30～8:20 第4会場

座長 小林勝弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学）

ビデオで学ぶペランパネルの難治てんかん治療

講演 高橋幸利（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）

モーニングセミナー 3：共催 シャイアー・ジャパン株式会社

6月5日（日）7:30～8:20 中継会場 1

ゴーシェ病の早期診断・治療のために

座長 中村公俊（熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野）

1) 進行性ミオクロームスてんかンを呈したゴーシェ病の姉妹例

講演 重松秀夫（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科）

2) 急性乳児型ゴーシェ病（神経 2 型）の臨床診断のポイント

講演 大府正治（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科）

モーニングセミナー 4：共催 ノーベルファーマ株式会社

6月5日（日）7:30～8:20 中継会場 2

座長 岡 明（東京大学医学部附属病院小児科）

よくわかる小児てんかん重積治療 - 機序と原因からのアプローチ -

講演 白石秀明（北海道大学病院小児科，北海道大学病院てんかんセンター）

アフタヌーンセミナー：共催 ヤンセンファーマ株式会社

6月4日（土）16:10～17:00 第5会場

座長 山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

ADHD とその合併障害の治療

講演 榊原洋一（お茶の水女子大学）

市民公開講座：発達障害の子どもを育む豊かな環境について（共催：日本イーライリリー株式会社）

6月5日（日）16:30～18:30 中継会場 1

座長・講演 小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）

林 隆（医療法人テレサ会西川医院発達診療部）

大友義之（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

1) 発達障害の子にとって最もよい環境とは？

小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）

2) 発達障害といじめ

林 隆（医療法人テレサ会西川医院発達診療部）

3) 小児の排尿障害～おねしょ・おもらし

大友義之（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

プレコンGRES 第1会場

11:30~14:30 実践教育セミナー 1 (S194)

小児科医のための神経画像 2016

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- 1) 若年性脳血管障害
森 壘 (東京大学医学部放射線科)
- 2) 新生児脳症の画像診断
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 3) 小児急性脳症 画像診断 up-to-date
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 4) 救急を要する小児の脳画像診断
神田知紀, 大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 5) 小児の全身性疾患に伴う中枢神経病変
堤 義之 (国立成育医療研究センター放射線診療部)

プレコンGRES 第5会場

12:00~14:30 実践教育セミナー 2 (S197)

小児神経診療のための診断推論

座長 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) 小児神経診療における必診断推論の必要性
杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
- 2) 診断推論とは何か
生坂政臣 (千葉大学医学部附属病院総合診療部)
- 3) 小児神経診療で大切なこと: 診断する努力を継続すること, 主訴に応えること
前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

14:45~17:45 実践教育セミナー 5 (S203)

小児緩和ケア~重篤な疾患や障害を抱える子どものために小児神経科医としてできること~

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

多田羅竜平 (大阪市立総合医療センター緩和医療科)

- 1) 小児緩和ケア総論
余谷暢之 (神戸大学医学部附属病院腫瘍センター緩和ケアチーム)
- 2) 治癒が望めない先の医療としての緩和ケア
笹月桃子 (九州大学大学院医学研究院小児科, 九州大学病院小児緩和ケアチーム)
- 3) 急性/慢性疾患について最善のケアや方針を提供するための対話 (コミュニケーション)
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- 4) 意思決定の困難な子どもの医療に関わる倫理的課題
多田羅竜平 (大阪市立総合医療センター緩和医療科)

18:00~20:00 社会活動・広報委員会主催セミナー 1 (S178)

日本小児神経学会の社会的認知度向上のための広報戦略

座長 岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

八木信一 (八木小児科医院, 富山大学医学部)

- 1) 本夜間集会開催の主旨
神山 潤 (公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター)
- 2) 小児神経学会の社会的認知度を上げる必要性と基本戦略
伊藤弘道 (徳島大学医学部小児科)
- 3) 情報収集と発信のシステム構築: プレスリリース
菊池健二郎 (東京慈恵会医科大学小児科)
- 4) 日本小児神経学会の未来を発展させるスローガンについて
岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

プレコンgres 第 8 会場

11:30~14:30 実践教育セミナー 3..... (S199)

第 2 回明日から役立つ小児神経生理学入門

座長 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)
荒木 敦 (関西医科大学小児科)

- 1) 聴覚刺激による誘発脳波 - 聴性脳幹反応と P300 -
榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
- 2) 小児神経科における光トポグラフィー (NIRS) の臨床応用
稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
- 3) 電気生理 (ABR, P300): 実演
加賀佳美^{1,2}, 相原正男³
(山梨大学医学部小児科¹, 国立病院機構甲府病院小児科², 山梨大学大学院総合研究部³)
- 4) 近赤外線スペクトロスコピーによる脳機能の測定実習: 小児の測定に向けて
北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

14:45~17:45 実践教育セミナー 6..... (S206)

新生児脳波・aEEG 入門

座長 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

- 1) 正期産児の脳波
深沢達也 (安城更生病院小児科)
- 2) 早産児脳波のとり方・よみ方
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 3) 新生児 aEEG の装着から判読まで - どの症例に適応すべきで何がわかるか? -
杉山裕一郎 (名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門)

18:00~20:00 薬事小委員会主催セミナー..... (S183)

神経筋疾患の治療の未来

座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科))

- 1) ミトコンドリア病: 創薬の最前線
古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)
- 2) デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした臨床試験の現状
小牧宏文 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
- 3) 脊髄性筋萎縮症治療新時代へのキックオフ
斎藤加代子, 荒川玲子 (東京女子医科大学遺伝子医療センター)

プレコンgres 第 9 会場

11:30~14:30 実践教育セミナー 4..... (S202)

第 3 回遺伝学実践教育セミナー

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
講演 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
小坂 仁 (自治医科大学小児科)
和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理・遺伝医療学分野)
酒井康成 (九州大学病院小児科)

15:30～17:30 実践教育セミナー 7…………… (S208)

適応行動尺度 (Vineland-II) の利用法

座長 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)

日本版 Vineland-2 適応行動尺度の臨床活用法

辻井正次 (中京大学現代社会学部)

18:00～20:00 医療安全委員会主催セミナー…………… (S175)

医療安全セミナー

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

是松聖悟 (大分大学医学部地域医療小児科分野)

1) 抗けいれん薬の安全使用

宮田理英^{1,5}, 星出 (梶本) まどか^{2,5}, 是松聖悟^{3,5}, 山内秀雄^{4,5}

(東京北医療センター小児科¹, 山口大学大学院医学系研究科小児科², 大分大学医学部地域医療小児科分野³, 埼玉医科大学小児科⁴, 日本小児神経学会医療安全委員会⁵)

2) 鎮静薬の安全使用に向けて

村松一洋¹, 宮本雄策² (群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 川崎市立多摩病院小児科²)

3) 脳神経外科と小児科との融合領域の医療安全

下川尚子^{1,2}, 坂本博昭^{3,4}

(佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 日本小児神経外科学会医療安全委員会委員長², 大阪市立大学脳神経外科³, 日本小児神経外科学会理事長⁴)

4) 医療事故調査制度について ～その理念と現状, 期待～

木村壮介 (日本医療安全調査機構)

第 1 日目 第 1 会場

8:00~8:05 開会式

8:05~8:35 会長講演 (S103)

子どもたちの未来のために～小児神経と多領域との懸け橋～

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

講演 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

8:45~9:30 特別講演 1 (S108)

New Concepts of Malformations of Cortical Development

座長 永井利三郎 (プール学院大学教育学部)

講演 A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)

9:40~11:20 シンポジウム 1 (S125)

小児けいれん重積治療ガイドライン

座長 林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科)

山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

1) けいれん重積に対する病院前治療と初期治療

九鬼一郎¹, 村上貴孝²

(大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 真美会中野こども病院小児神経内科²)

2) ベンゾジアゼピン抵抗性けいれん重積への対応

菊池健二郎¹, 山本 仁² (東京慈恵会医科大学小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²)

3) 難治性けいれん重積状態・超難治性けいれん重積状態への対応

永瀬裕朗¹, 須貝研司²

(神戸大学医学部附属病院親と子の心療部¹, 国立精神・神経医療研究センター小児神経科²)

4) けいれん重積状態に対する評価

秋山倫之^{1,2}, 前垣義弘³

(岡山大学病院小児神経科¹, 岡山大学病院てんかんセンター², 鳥取大学医学部脳神経小児科³)

11:50~12:35 特別講演 2 (S109)

Infantile spasms and West syndrome : how can we best improve long-term outcomes?

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

講演 Andrew L. Lux (Bristol Royal Hospital for Children, Bristol, UK)

12:50~13:50 ランチョンセミナー 1 : 共催 アルフレッサ ファーマ株式会社 (S209)

West 症候群に対するピガバトリン治療

座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター)

講演 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

14:00~15:40 シンポジウム 4 (S135)

急性脳症-小児神経学会によるガイドラインの策定-

座長 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

1) 急性脳症-疫学と診療の現状-

水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

2) 先天代謝異常症による急性脳症

村山 圭 (千葉県こども病院代謝科)

3) 急性脳症における脳波

奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

4) ステロイドパルス療法と免疫グロブリン療法

市山高志 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)

5) 小児急性脳症における脳低温療法

山内秀雄¹, 今高城治² (埼玉医科大学小児科¹, 獨協医科大学小児科²)

16:30～16:45 日本小児神経学会 40 周年記念式典

16:45～17:45 記念シンポジウム…………… (S104)

スポーツは子どもの脳を育む

座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

桃井眞里子 (国際医療福祉大学)

- 1) 新しいスポーツ行政のかたち
鈴木大地 (スポーツ庁長官)
- 2) やる気と脳機能を高める柳沢運動プログラム
柳澤秋孝, 柳澤弘樹 (松本短期大学)
- 3) 発育期の運動習慣が心臓血管中枢へ及ぼす影響 -生活習慣病予防効果の新しい機序-
和気秀文 (順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科生理学)

第 1 日目 第 2 会場

9:40～11:20 シンポジウム 2…………… (S128)

未来につながる生き生きした情動を育む環境創成

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

仙田 満 (環境デザイン研究所)

- 1) 衣食住・社会環境と神経系情報を包括視する発達診断および療育への可能性
小柴満美子^{1,2,3}, 笈 紘子¹, 櫻井隼人¹, 本多正和¹, 森田佳代¹, 小澤晋平¹, 西村邦弘³, 中村 俊¹,
新津 守⁴, 國方徹也¹, 山内秀雄¹
(埼玉医科大学小児科¹, 埼玉医科大学医学部生化学², 国立精神神経医療研究センター³, 埼玉医科大学
医学部放射線科⁴)
- 2) 我が国のこどもの成育環境の諸問題とこども環境学
仙田 満 (環境デザイン研究所)
- 3) 赤外線熱画像からの新生児の姿勢推定
張山昌論 (東北大学大学院情報科学研究科)
- 4) 社会情緒的発達の揺籃としてのアタッチメント
遠藤利彦 (東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース)
- 5) 自然のしくみと住まいの環境—エクセルギー研究が明らかにしてきたことから—
宿谷昌則 (東京都市大学環境学部環境創生学科)
- 6) 日常環境因子による健康影響—子どもの脳に対する影響を中心として—
坂部 貢 (東海大学医学部生体構造機能学領域)

12:50～13:50 ランチョンセミナー 2: 共催 日本光電工業株式会社…………… (S209)

小児難治てんかんに対する外科治療の検討

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科/てんかんセンター)

小児難治てんかんの早期外科治療の検討: 術前検査, 術式, そして治療転帰

講演 川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)

14:00～15:40 シンポジウム 5…………… (S138)

発達障害医療をめぐる最新の話題

座長 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部)

小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

- 1) 発達障害をめぐる遺伝と環境—オーバービュー—
久保田健夫 (山梨大学医学部環境遺伝医学講座)
- 2) 発達障害者の臨床症状をどのように理解するのか?—当事者の視点をふまえて—
古荘純一¹, 磯崎祐介² (青山学院大学教育人間科学部¹, 青山学院大学教育人間科学研究科²)
- 3) 発達障害医療の最新画像診療—大人の発達障害外来から見えてくるもの—
丹治和世¹, 太田晴久¹, 橋本龍一郎^{1,3}, 加藤進昌^{1,2}
(昭和大学発達障害医療研究所¹, 公益財団法人神経研究所附属晴和病院², 首都大学東京言語科学³)
- 4) 発達障害の生物学的理解
内匠 透 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

第 1 日目 第 3 会場

9:40~11:20 シンポジウム 3 (共催: 第一三共株式会社) (S132)

小児重度痙縮に対する包括的治療の道

座長 岡 明 (東京大学医学部小児科)
師田信人 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)

- 1) ボツリヌス治療
根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
- 2) ITB 療法の現状と課題
久保田雅也, 柏井洋文, 寺嶋 宙 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 3) 小児重度痙縮に対する機能的脊髄後根切断術
井原 哲, 師田信人 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)
- 4) 重度痙縮に対する整形外科的治療
志村 司 (広島県立障害者リハビリテーションセンター)

12:50~13:50 ランチョンセミナー 3: 共催 ユーシービージャパン株式会社・大塚製薬株式会社 (S210)

Recent advance on the treatment of pediatric epilepsy – cases and knowledge –

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

- 1) 小児の難治性てんかんの治療の実際
講演 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)
- 2) Update on the pharmacologic management of common pediatric epilepsy syndromes
講演 Raman Sankar (Pediatric Neurology, David Geffen School of Medicine UCLA Los Angeles, California, USA)

14:00~15:40 シンポジウム 6 (S141)

学ぼう, やろう, リハビリテーション

座長 荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)
小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

- 1) 小児神経疾患のリハビリテーション: 総論・特に他科多職種との連携の重要性
栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
- 2) 脳性麻痺のリハビリテーションー小児神経科医からの変革ー
荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)
- 3) 小児救命集中治療領域におけるリハビリ・早期離床の取り組みについて
清水直樹¹, 三山佐保子²
(東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科²)
- 4) 小児脳神経外科疾患がリハビリテーションに期待すること
野中雄一郎, 増本 愛 (東京慈恵会医科大学脳神経外科小児脳神経外科部門)
- 5) 小児後天性脳損傷のリハビリテーション
吉橋 学 (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

第 1 日目 第 4 会場

9:40~10:40 一般演題 (口演) (S245)

脳炎・脳症 1

座長 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)
今高城治 (獨協医科大学病院小児科)

O-001 有熱時けいれん重積における二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症の頻度

○細川洋輔¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 安藤直樹⁴, 三浦清邦¹, 城所博之⁵, 齋藤伸治⁴, 奥村彰久⁶,
夏目 淳⁵豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科¹, 岡崎市民病院², 安生厚生病院³, 名古屋市立大学病院⁴, 名古屋大学医学部付属病院⁵, 愛知医科大学病院⁶

O-002 急性脳症の脳波所見 第 3 報: AESD と熱性痙攣重積の脳波所見の比較

○深沢達也¹, 奥村彰久², 鈴木健史¹, 中村勇治³, 三宅未紗⁴, 大野敦子⁵, 久保田哲夫¹, 辻 健史⁶, 安藤直樹⁷, 齋藤伸治⁷, 夏目 淳⁵
 安城更生病院小児科¹, 愛知医科大学小児科², 豊橋市民病院小児科³, 藤田保健衛生大学医学部小児科⁴, 名古屋大学医学部小児科⁵, 岡崎市民病院小児科⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野⁷

O-003 急性脳症の脳波所見 第 2 報: MERS の脳波所見

○鈴木健史¹, 奥村彰久², 深沢達也¹, 中村勇治³, 三宅未紗⁴, 大野敦子⁵, 久保田哲夫¹, 辻 健史⁶, 安藤直樹⁷, 齋藤伸治⁷, 夏目 淳⁵
 安城更生病院小児科¹, 愛知医科大学小児科², 豊橋市民病院小児科³, 藤田保健衛生大学医学部小児科⁴, 名古屋大学医学部小児科⁵, 岡崎市民病院小児科⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野⁷

O-004 覚醒障害を主徴とする軽症急性脳症 6 症例の検討

○寺嶋 宙¹, 熊谷淳之¹, 竹中 暁¹, 安西真衣², 葛西真梨子³, 渡邊 優⁴, 齋藤真木子⁵, 水口 雅⁵, 久保田雅也¹
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 拓桃医療療育センター小児科², 東京大学医学部附属病院小児科³, あおぞら診療所新松戸⁴, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学⁵

O-005 けいれん重積型 (二相性) 急性脳症 (AESD) 早期診断スコアの有用性検討

○森山陽子¹, 松尾映未由¹, 白戸由理², 安川久見¹, 武藤順子^{1,2}, 林 北見², 高梨潤一¹
 東京女子医科大学付属八千代医療センター小児科¹, 東京女子医科大学付属八千代医療センター神経小児科²

O-006 二相性脳症におけるプロカルシトニンの検討

○高須倫彦¹, 倉橋宏和¹, 奥村彰久¹, 夏目 淳², 齋藤伸治³, 辻 健史⁴, 久保田哲夫⁵, 東 慶輝², 竹内智哉², 鈴木基正⁶, 岡井 佑², 伊藤祐史²
 愛知医科大学大学院医学研究科小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科小児科², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野³, 岡崎市民病院小児科⁴, 安城更生病院小児科⁵, あいち小児保健医療総合センター小児神経科⁶

10:40~11:40 一般演題 (口演)..... (S247)
脳炎・脳症 2

座長 斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
 佐久間 啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

O-007 急性脳症の変遷 単一施設での 15 年間の経験

○高柳 勝¹, 北村太郎¹, 相原 悠¹, 守谷充司¹, 鈴木力生¹, 西尾利之¹, 山本克哉², 大浦敏博¹
 仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科²

O-008 感染症の地域流行と脳炎・脳症の発生との関連

○三崎貴子, 岡部信彦
 川崎市健康安全研究所

O-009 急性脳炎・脳症の画像分類別にみた基礎疾患の検討

○中田智彦¹, 岡井 佑¹, 大野敦子¹, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹, 城所博之¹, 久保田哲夫², 辻 健史³, 安藤直樹⁴, 奥村彰久⁵, 齋藤伸治⁴, 夏目 淳¹
 名古屋大学医学部小児科¹, 安城更生病院小児科², 岡崎市民病院小児科³, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野⁴, 愛知医科大学小児科⁵

O-010 当科における 2005-2015 年の急性脳症の臨床像と予後の検討

○山本敦子^{1,2}, 白井謙太郎¹, 南風原明子¹, 渡辺章充¹
 土浦協同病院小児科¹, 東京北医療センター小児科²

O-011 近赤外線酸素飽和度 (NIRS) でとらえた急性脳炎脳症の特徴

○親里嘉展, 金川温子, 中尻智史, 沖田 空, 西山敦史
 加古川西市民病院小児科

O-012 過去 28 年間にわたる福島県での急性脳炎・脳症 280 例の経時的発症動向の変化と予後関連因子の解析

○川崎幸彦, 鈴木雄一, 塚田洋樹, 加藤朝子, 細矢光亮
 公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科

12:50~13:50 ランチョンセミナー 4: 共催 ファイザー株式会社..... (S211)
甲状腺ホルモンと脳の発達

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)
 講演 鬼形和道 (島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター)

14:00~15:00 一般演題 (口演)..... (S249)

脳炎・脳症 3

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

O-013 けいれん重積モデルマウスに対する急性期ベンゾジアゼピン治療は NKCC1 阻害剤の併用により後遺症を抑止できる

○中島啓介^{1,2}, 平井志伸¹, 岡戸晴生¹

東京都医学総合研究所神経細胞分化プロジェクト¹, 東京医科歯科大学小児科²

O-014 Flow cytometry による迅速且つ定量的な抗 MOG 抗体価解析法の開発

○神山邦子, 五十嵐鮎子, 鈴木智典, 佐久間啓

東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト

O-015 急性脳症治療における全身麻酔療法導入時のチアミール投与の検討

○石田悠介¹, 富岡和美², 田中 司¹, 西山将広², 藤田杏子¹, 豊嶋大作¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗², 竹田洋樹³, 上谷良行³

兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 兵庫県立こども病院救急集中治療科³

O-016 急性脳炎・脳症における脳低体温療法施行群と非施行群の Cyclosporine 血中濃度の比較

○藤原 祐, 蒲ひかり, 本井宏尚, 渡辺好宏, 武下草生子

横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科

O-017 けいれん重積型急性脳症における予後因子の検討

○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 金 聖泰¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 石川順一^{1,2}, 天羽清子^{1,2}, 外川正生², 林下浩士³, 富和清隆⁴, 塩見正司⁵

大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 大阪市立総合医療センター救急救命センター³, 東大寺福祉療育病院小児科⁴, 愛染橋病院小児科⁵

O-018 急性脳炎脳症の予後早期予測因子

○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 荻野元子¹, 島川修一³, 玉井 浩³

市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック², 大阪医科大学医学部附属病院小児科³

15:00~16:00 一般演題 (口演)..... (S251)

感染, 免疫

座長 細矢光亮 (福島県立医科大学小児科)
前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

O-019 急性散在性脳脊髄炎後視神経炎治療におけるバイオマーカーとしての抗 MOG 抗体の有用性

○橋本祐至¹, 高橋利幸^{2,3}, 田邊雄三^{1,4}, 鈴木敏洋⁵, 金子仁彦², 地引利昭¹, 金澤正樹¹, 寺井 勝¹, 千葉市立海浜病院小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³, そがこどもクリニック⁴, 東京都立東部療育センター小児科⁵

O-020 小児眼筋型重症筋無力症患者における血清 BAFF 値の推移

○本林光雄¹, 西村貴文², 西岡 誠³, 川崎洋一郎³, 稲葉雄二³

信州大学医学部新生児学講座¹, 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院小児科², 信州大学医学部小児医学教室³

O-021 自己 DNA 導入による 1 型 IFN 応答

○五十嵐鮎子^{1,2}, 佐久間啓¹, 鈴木智典¹, 神山邦子¹, 安部信平², 池野 充², 高木正稔³,

奥村彰久⁴, 清水俊明², 林 雅晴¹

東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト¹, 順天堂大学小児科², 東京医科歯科大学小児科³, 愛知医科大学小児科⁴

O-022 乳幼児期発症重症筋無力症の臨床経過

○糸見和也, 鈴木基正, 青木雄介, 檜原 翔

あいち小児保健医療総合センター神経科

O-023 小児脱髄性疾患の回復期における MRI 画像の経時的検討

○西岡 誠, 稲葉雄二, 山内翔子, 川崎洋一郎, 本林光雄, 柴 直子

信州大学医学部小児科

O-024 血漿交換療法を施行した小児神経疾患の検討

○金 聖泰¹, 川脇 壽¹, 福岡正隆¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 石川順一², 天羽清子², 外川正生², 林下浩士³, 大塚康義⁴, 宇城敦司⁴, 嶋岡英輝⁴

大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科², 大阪市立総合医療センター救命救急部³, 大阪市立総合医療センター集中治療部⁴

18:10~20:10 社会活動・広報委員会主催セミナー 2.....(S181)

福祉サービスの書類を上手に書こう！

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)

小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

1) 障害年金のガイドラインについて

岩坂英巳 (奈良教育大学特別支援教育研究センター)

2) てんかん患者が必要とする医療・福祉サービス

久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

第 1 日目 第 5 会場

9:40~10:40 一般演題 (口演).....(S253)

発達障害 1

座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

宮島 祐 (東京家政大学子ども学部)

O-025 学習到達度と基礎学習スキル・認知機能の関連第一報

-読み流暢性及び書き正確性の要因に基づいた学習不振検出の可能性-

○荻布優子¹, 川崎聡大², 奥村智人³, 中西 誠³, 水田めくみ³, 若宮英司⁴, 玉井 浩⁵横浜市西部地域療育センター¹, 東北大学大学院教育学研究科², 大阪医科大学 LD センター³, 藍野大学医療保健学部看護学科⁴, 大阪医科大学小児科学教室⁵

O-026 学習到達度と基礎的学習スキル・認知機能の関連 第 2 報

-CARD を使った「語彙の量, アクセス速度」の検討-

○水田めくみ¹, 奥村智人¹, 中西 誠^{1,2}, 三浦朋子^{1,3}, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 川崎聡大⁴,若宮英司⁵, 玉井 浩^{1,6}大阪医科大学 LD センター¹, 関西大学大学院心理学研究科², 堺清恵会病院 LD センター³, 東北大学大学院教育学研究科⁴, 藍野大学医療保健学部看護学科⁵, 大阪医科大学小児科⁶

O-027 学習到達度と基礎学習スキル・認知機能の関連 第三報 -基礎的学習スキルと社会性・行動面との関係-

○川崎聡大¹, 奥村智人², 中西 誠², 三浦朋子^{2,3}, 水田めくみ², 若宮英司^{2,4}, 荻布優子⁵, 玉井 浩⁶東北大学大学院教育学研究科¹, 大阪医科大学 LD センター², 堺清恵会病院 LD センター³, 藍野大学医療保健学部看護学科⁴, 横浜市西部地域療育センター⁵, 大阪医科大学小児科学教室⁶

O-028 数的事実と計算手続きの速度と正確性が算数成績に及ぼす影響

○若宮英司¹, 中西 誠², 奥村智人³, 水田めくみ³, 栗本奈緒子³, 竹下 盛³, 三浦朋子⁴,川崎聡大⁵, 畑中まり⁶, 福井美保⁶, 玉井 浩^{1,6}藍野大学医療保健学部看護学科¹, 関西大学大学院心理学研究科², 大阪医科大学 LD センター³,堺清恵会 LD センター⁴, 東北大学大学院教育学研究科⁵, 大阪医科大学小児科⁶

O-029 読字困難に対する RTI (Response to Instruction) モデルの第 3 層の指導対象児の特性

○関あゆみ¹, 谷中久和², 赤尾依子², 内山仁志³, 小枝達也⁴北海道大学大学院教育学研究科¹, 鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センター², 国際医療福祉大学保健医療学部³, 国立成育医療研究センターこころの診療部⁴

O-030 発達性ディスレクシアに伴う漢字書字障害と読み障害がない漢字書字障害の検討

○畑中まり¹, 若宮英司², 中西 誠^{3,4}, 竹下 盛⁴, 三浦朋子⁵, 奥村智人⁴, 水田めくみ⁴,栗本奈緒子⁴, 福井美保¹, 島川修一¹, 玉井 浩¹大阪医科大学小児科¹, 藍野大学医療保健学部看護学科², 関西大学大学院心理学研究科³, 大阪医科大学 LD センター⁴, 堺清恵会 LD センター⁵

10:40~11:40 一般演題 (口演).....(S255)

発達障害 2

座長 田角 勝 (昭和大学医学部小児科)

相原正男 (山梨大学医学部附属病院小児科)

O-031 ADHD 児における安静時の小脳の脳活動

○水野賀史^{1,2}, 丁ミンヨン³, 藤澤隆史³, 齋藤大輔³, 小坂浩隆^{1,3}, 友田明美^{1,3}福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科², 福井大学子どものこころの発達研究センター³

O-032 AD/HD 児における実行機能の情動性自律反応との関わり

○大山哲男¹, 後藤裕介¹, 加賀佳美¹, 青柳閣郎¹, 石井佐綾香¹, 金村英秋¹, 杉田完爾^{1,2}, 相原正男¹山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²

O-033 言語活動時の前頭葉血流動態—NIRS による黙読・音読時の比較—

○森 健治¹, 伊藤弘道², 東田好広², 森 達夫², 阿部容子², 宮崎雅仁², 原田雅史³, 香美祥二²
徳島大学大学院子どもの保健・看護学¹, 徳島大学大学院小児科², 徳島大学大学院放射線科³

O-034 読字困難に対する RTI (Response to Instruction) による介入効果について

○小枝達也^{1,3}, 関あゆみ², 谷中久和³, 赤尾依子³, 内山仁志⁴
国立成育医療研究センターこころの診療部¹, 北海道大学教育学研究院², 鳥取大学地域学部附属
子どもの発達・学習研究センター³, 国際医療福祉大学保健医療学部⁴

O-035 ディスレクシア児童の脳機能変化—脳磁検査を用いて

○柳生一自¹, 下條暁司², 白石秀明², 岩田みちる³, 橋本竜作⁴, 関あゆみ³, 室橋春光³, 須山 聡¹,
齊藤卓弥¹
北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座¹, 北海道大学大学院医学研究科小児科学講
座², 北海道大学大学院教育学研究院³, 北海道医療大学心理科学部⁴

O-036 塩酸グアンファシン徐放錠 (S-877503) の日本人小児 ADHD 患者を対象とした Ph2/3 試験結果について

○山下裕史朗¹, 宮島 祐², 齊藤万比古³, 藤原正和¹, 市川宏伸¹
久留米大学医学部小児科¹, 東京家政大学子ども学部子ども支援学科², 愛育研究所³, 塩野義製薬
株式会社⁴, 東京都立小児総合医療センター⁵

12:50~13:50 ランチョンセミナー 5: 共催 ジェンザイム・ジャパン株式会社…………… (S211)
治療可能なライソゾーム病の診断と治療

座長 奥山虎之 (国立成育医療研究センターライソゾーム病センター)

1) ゴーシェ病の早期診断に役立つポイント

講演 成田 綾 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

2) 日常診療で遭遇する筋疾患の診断アプローチのコツ

講演 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

14:00~15:00 一般演題 (口演)…………… (S257)
発達障害 3

座長 根来民子 (日本福祉大学子ども発達学部)

平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)

O-037 大脳皮質形成における自閉症原因遺伝子 RFX1 の機能

○永田浩一, 浜田奈々子, 伊東秀記, 田畑秀典
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部

O-038 幼児期早期の低リスク極及び超低出生体重児における共同注意行動の検討

○山岡紀子^{1,2}, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科¹, 神戸常盤大学短期大学部²

O-039 子どもの心身健康度スケール QTA (questionnaire of triage and assessment) の分析と今後の課題

○石井隆大¹, 永光信一郎¹, 古荘純一², 山下裕史朗¹, 田中英高³
久留米大学小児科¹, 青山学院大学教育人間科学部², OD 低血圧クリニック田中³

O-040 小児がん経験者の高次脳機能障害に対する評価と介入

○温井めぐみ^{1,2}, 永安 香², 草間由実子², 大石真綾², 金 聖泰¹, 福岡正隆¹, 九鬼一郎¹,
岡崎 伸¹, 岡田真子¹, 岡田恵子³, 川脇 壽¹, 愛場庸雅², 原 純一³
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児医療
センター小児言語科², 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児血液腫瘍科³

O-041 運動発達の遅れを主訴に当科紹介受診となった児の傾向, 診断および転帰についての検討

○高嶋裕美子, 池田 梓, 渡邊肇子, 露崎 悠, 市川和志, 辻 恵, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英
神奈川県立こども医療センター神経内科

O-042 “Sitting on the air” と shuffling baby の発達予後

○宮本 健, 石垣英俊
浜松医療センター小児科

15:00~16:00 一般演題 (口演) (S259)
筋

座長 木村重美 (熊本大学大学院生命科学研究部小児科学)
竹島泰弘 (兵庫医科大学)

- O-043 粗大運動評価尺度 (GMFM) は福山型先天性筋ジストロフィーの運動機能評価に妥当である (第二報)**
○佐藤孝俊¹, 安達みちる², 村上てるみ¹, 石黒久美子¹, 七字美延¹, 圖師将也², 中村花穂²,
後藤圭介², 猪飼哲夫², 近藤和泉³, 永田 智¹, 石垣景子¹
東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学リハビリテーション科², 独立行政法人国立長寿医療
研究センター機能回復診療部³
- O-044 福山型先天性筋ジストロフィー (FCMD) の自然経過における生体インピーダンス法 (BIA) と下肢 MRI
STIR 画像の関連性**
○村上てるみ¹, 中山貴博², 安達みちる³, 石黒久美子¹, 佐藤孝俊¹, 七字美延¹, 内山朋香⁴,
久留 聡⁵, 永田 智¹, 石垣景子¹
東京女子医科大学小児科¹, 横浜労災病院神経内科², 東京女子医科大学リハビリテーション部³,
タニタ体重科学研究所⁴, 国立病院機構鈴鹿病院神経内科⁵
- O-045 ジストロフィン遺伝子イントロン 64 のスプライス供与部位の変異 (c.9361+1G>A) により発症した
Duchenne 型筋ジストロフィーの一例**
○栗野宏之¹, 松本真明¹, 富岡和美¹, 運崎 愛¹, 西山将広¹, 李 知子², 永瀬裕明¹, 池田真理子¹,
八木麻理子³, 竹島泰弘², 松尾雅文⁴, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫医科大学小児科学², にこにこハウス医療福祉センター³,
神戸学院大学総合リハビリテーション学部⁴
- O-046 筋ジストロフィー患者における災害時対策の全国アンケート調査**
○加藤沙耶香¹, 服部文子¹, 水野久美子¹, 齋藤伸治¹, 矢澤健司², 貝谷久宣²
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 日本筋ジストロフィー協会²
- O-047 抗 HMGCR 抗体陽性筋症の小児例**
○板橋 尚¹, 井上 建¹, 大谷良子¹, 村上信行¹, 作田亮一¹, 西野一三²
獨協医科大学越谷病院¹, 国立精神・神経医療研究センター²
- O-048 Duchenne 型筋ジストロフィーに対する ENA アンチセンスオリゴヌクレオチド (AO85) 全身投与による
6 分間歩行距離の延長効果**
○李 知子¹, 下村英毅¹, 栗野宏之², 飯島一誠², 松尾雅文³, 竹島泰弘¹
兵庫医科大学小児科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 神戸学院大学総合リハビリテーション
学部³

第 1 日目 第 6 会場

9:35~10:45 一般演題 (English Session) (S227)
てんかん, けいれん 1: Epilepsy and convulsive diseases

座長 Andrew L. Lux (Bristol Royal Hospital for Children, Bristol, UK)
Hiroshi Otsubo (Clinical Neurophysiology, Division of Neurology The Hospital for Sick
Children)

- E-001 Hypofunction of the hypothalamic-pituitary-adrenal axis after ACTH therapy**
○Yuichi Abe, Kaori Sassa, Ikuma Musya, Akira Ohtake, Hideo Yamanouchi
Department of Pediatrics, Saitama Medical University, Saitama, Japan
- E-002 Modeling the cellular phenotype of STXBP1-related epileptic encephalopathy using iPSC**
○Satoshi Yamashita¹, Tomohiro Chiyonobu¹, Michiko Yoshida^{1,2}, Hiroshi Maeda¹, Masashi Zuiki¹,
Satoshi Kidowaki¹, Kenichi Isoda^{1,2}, Masafumi Morimoto¹, Mitsuhiro Kato^{3,5}, Hirotomo Saito⁴,
Naomichi Matsumoto⁴, Tatsutoshi Nakahata², Megumu Saito², Hajime Hosoi¹
Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan¹, Department of Clinical
Application, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University, Kyoto, Japan²,
Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan³, Department of
Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁴, Present
address: Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan⁵
- E-003 Paroxysmal nonepileptic events misidentified as epileptic seizures in children with epilepsy**
○Yuji Ito, Tamiko Negoro, Yu Okai, Yoko Sakaguchi, Chikako Ogawa, Atsuko Ono, Tomohiko Nakata,
Hiroyuki Kidokoro, Kazuyoshi Watanabe, Jun Natsume
Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan

- E-004 Combination of low-dose aspirin with LEV for seizures in Sturge-Weber syndrome – a case report**
 ○Yoko Takahashi^{1,2}, Yurika Uematsu², Yoshitsugu Oikawa², Yukimune Okubo², Mitsugu Uematsu², Kazuyuki Nakamura³, Shigeo Kure²
 Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan¹, Department of Pediatrics, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan², Department of Pediatrics, Yamagata University School of Medicine, Yamagata, Japan³
- E-005 A case of Lennox-Gastaut syndrome with dynamin 1 mutation revealed by whole exome sequencing**
 ○Takeshi Kouga¹, Hitoshi Osaka¹, Takanori Yamagata¹, Mitsuko Nakashima², Tomohide Goto³, Yoshinori Tsurusaki², Satoko Miyatake², Noriko Miyake², Hiroto Saito², Naomichi Matsumoto²
 Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Division of Neurology, Kanagawa Childrens Medical Center, Yokohama, Japan³
- E-006 West syndrome NHO-Japan 342 ACTH cases study : developmental outcome of the initial ACTH therapy**
 ○Yukitoshi Takahashi¹, Akiko Oota¹, Yushi Inoue¹, Jun Toyama², Hiroshi Fujita³, Chizuru Nishizato⁴, Jyunya Takahashi⁵, Shigeki Tanaka⁶, Masayoshi Nagao⁷, Hiroshi Shiraga⁸, Hideo Kaneko⁹, Yasuko Sawai¹⁰
 National epilepsy center, Shizuoka institute of epilepsy and neurological disorders, NHO, Shizuoka, Japan¹, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, NHO, Niigata, Japan², National Hospital Organization Aomori, NHO, Aomori, Japan³, Kumamoto Saishunso National hospital, NHO, Goshu, Japan⁴, National Mie Hospital, NHO, Tsu, Japan⁵, National Hospital Nagasaki Medical Center, NHO, Omura, Japan⁶, National Hospital Hokkaido Medical Center, NHO, Sapporo, Japan⁷, Okayama Medical Center, NHO, Okayama, Japan⁸, Okayama Medical Center, NHO, Okayama, Japan⁹, Nara Medical Center, NHO, Nara, Japan¹⁰
- E-007 Chronic PHT intoxication and its adverse reactions relative to the withdrawal : case report**
 ○Tatsuro Izumi
 Department of Pediatrics, National Nanao Hospital, Nanao, Japan

10:45~11:45 一般演題 (English Session) (S229)

- てんかん, けいれん 2 : Epilepsy and convulsive diseases
 座長 Raman Sankar (Pediatric Neurology Ronald Reagan UCLA Medical Center, USA)
 Katsuhiro Kobayashi (Okayama University Graduate School, Department of Child Neurology)
- E-008 Effect of low dose everolimus on SEGA in tuberous sclerosis complex : volumetric study**
 ○Jun Natsume^{1,2}, Chikako Ogawa², Yuji Ito², Yoko Sakaguchi², Yu Okai², Atsuko Ono², Tomohiko Nakata², Hiroyuki Kidokoro², Tamiko Negoro², Kazuyoshi Watanabe²
 Department of Developmental Disability Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine²
- E-009 Newly identified mutations in PIGG cause intellectual disability with seizures and hypotonia**
 ○Kazuyuki Nakamura¹, Mitsuhiro Kato^{1,7}, Periklis Makrythanasis^{3,4}, Maha Zaki⁵, Hiroto Saito⁶, Federico Santoni^{3,4}, Satoko Miyatake⁶, Mitsuko Nakashima⁶, Naomichi Matsumoto⁶, Hanan Hamamy³, Eamonn Sheridan⁸, Taroh Kinoshita², Stylianos E Antonarakis^{3,4}, Yoshiko Murakami²
 Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Immunoregulation, Research Institute for Microbial Diseases, and World Premier International Immunology Frontier Research Center, Osaka University², Department of Genetic Medicine and Development, University of Geneva, Geneva, Switzerland³, Service of Genetic Medicine, University Hospitals of Geneva, Geneva, Switzerland⁴, Department of Clinical Genetics, National Research Centre, Cairo, Egypt⁵, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁶, Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan⁷, School of Medicine, University of Leeds, Leeds, United Kingdom⁸
- E-010 A retrospective study of convulsive pediatric patients taken to Uwajima City Hospital by ambulance**
 ○Kentaro Okamoto^{1,2}, Mitsumasa Fukuda³
 Department of Regional Pediatrics and Perinatology, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan¹, Department of Pediatrics, Uwajima City Hospital, Uwajima, Ehime, Japan², Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan³
- E-011 HMGB1 enhances acquired epileptogenesis with astrocytosis after infantile prolonged febrile seizures**
 ○Masanori Ito¹, Mitsumasa Fukuda¹, Yoshiaki Yano¹
 Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan¹, Department of Molecular and Cellular Physiology, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan²

E-012 Effective antiepileptic drugs for non-idiopathic focal epilepsies by precise seizure symptoms

○Kenji Sugai¹, Takashi Saito¹, Eiji Nakagawa¹, Yuko Motohashi¹, Akihiko Ishiyama¹, Eri Takeshita¹, Hirofumi Komaki¹, Masayuki Sasaki¹, Taisuke Otsuki²

Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan¹, Epilepsy Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan²

E-013 Poor efficacy of vagus nerve stimulation for epileptic spasms or tonic seizures

○Tohru Okanishi¹, Takuya Yokota¹, Hideo Enoki¹, Ayataka Fujimoto², Takamichi Yamamoto², Hirotaka Motoi¹, Soutaro Kanai¹

The Department of Child Neurology, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan¹, Comprehensive Epilepsy Center, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan²

12:50~13:50 ランチョンセミナー 6 : 共催 塩野義製薬株式会社・シャイアー・ジャパン株式会社……………(S212)
モノアミン神経伝達と AD/HD

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科学教室)

講演 曾良一郎 (神戸大学大学院医学研究科精神医学分野)

14:00~15:00 一般演題 (English Session)……………(S231)
遺伝 : Genetics

座長 Kenjiro Kosaki (Center for Medical Genetics Keio University School of Medicine)

Mitsuhiro Kato (Showa University)

E-014 Exome analyses identify the first mutations in Japanese patients with Bardet-Biedl syndrome

○Makito Hirano^{1,2}, Wataru Satake³, Kenji Ihara⁴, Ikuya Tsuge⁵, Yutaka Suzuki⁶, Yusaku Nakamura¹, Susumu Kusunoki², Tatsushi Toda³

Department of Neurology, Sakai Hospital Kinki University, Sakai, Japan¹, Department of Neurology, Kinki University, Osakasayama, Japan², Division of Neurology/Molecular Brain Science, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan³, Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Oita University, Yufu, Japan⁴, Department of Pediatrics, Fujita Health University, Toyoake, Japan⁵, Department of Computational Biology, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, Kashiwa, Japan⁶

E-015 A child presenting distinct phenotype in severe alternating hemiplegia with a novel ATP1A3 mutation

○Naoko Ishihara¹, Misa Miyake¹, Yoshiki Kawamura¹, Tetsushi Yoshikawa¹, Hidehito Inagaki², Hiroki Kurahashi²

Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan¹, Division of Molecular Genetics, Institute for Comprehensive Medical Science, Fujita Health University, Toyoake, Japan²

E-016 A female case of Warsaw breakage syndrome showing microcephaly with simplified gyral pattern

○Karin Kojima¹, Yuri Kuroiwa¹, Kei Wakabayashi¹, Masako Nagashima¹, Nan Jia³, Yuka Nakazawa⁶, Hirotomo Saitsu², Naomichi Matsumoto², Tomoo Ogi³, Mitsuhiro Kato^{4,5}, Hitoshi Osaka¹, Takanori Yamagata¹

The Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Kanazawa, Japan², Department of Genetics, Research Institute of Environmental Medicine Nagoya University, Nagoya, Aichi, Japan³, Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan⁴, Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan⁵, Department of Genome Repair, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan⁶

E-017 Gene therapy for a mouse model of glucose transporter-1 deficiency syndrome

○Sachie Nakamura¹, Hitoshi Osaka¹, Shin-ichi Muramatsu^{2,7}, Naomi Takino², Shiho Aoki¹, Eriko Jimbo¹, Kuniko Shimazaki³, Tatsushi Onaka⁴, Sumio Ohtsuki⁵, Tetsuya Terasaki⁶, Takanori Yamagata¹

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Division of Neurology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan², Department of Neurosurgery, Jichi Medical University, Tochigi, Japan³, Division of Brain and Neurophysiology, Department of Physiology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan⁴, Department of Pharmaceutical Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan⁵, Division of Membrane Transport and Drug Targeting, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University, Sendai, Japan⁶, Center for Gene and Cell Therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Japan⁷

E-018 CRISPR/Cas9 genome editing for cellular modeling of microcephaly

○Ganeshwaran Hitoshi Mochida^{1,2}, Tojo Nakayama¹, Dylan Vaughan¹, Anna Rajab³, Atyah Al Zaharani⁴, Mert Mestanoglu¹, Elizabeth Ross^{4,5}, Chiara Manzini⁶, Jennifer Partlow¹, Sean Hill¹
 Division of Genetics and Genomics, Manton Center for Orphan Disease Research, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA¹, Pediatric Neurology Unit, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA², National Genetics Center, Ministry of Health, Muscat, Sultanate of Oman³, Neonatology, King Fahad Medical City, Riyadh, Kingdom of Saudi Arabia⁴, Neuroscience, Weill Cornell Medical College, New York, NY, USA⁵, Department of Pharmacology and Physiology, The George Washington University, Washington, DC, USA⁶

E-019 Reelin coupled with myelin may play a role in long-term maintenance of myelin

○Kimiko Deguchi^{1,2}, Takao Honda², Ken-ichiro Kubo², Kazunori Nakajima², Ken Inoue³
 Deguchi Pediatric Clinic, Nagasaki, Japan¹, Department of Anatomy, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan², National Institute of Neuroscience, NCNP, Dept. of Mental Retardation and Birth Defect Research, Tokyo, Japan³

15:00~16:00 一般演題 (English Session) (S233)

画像: Neuroimaging

座長 A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)
 Masayuki Sasaki (Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry)

E-020 Transient increase of fractional anisotropy in acute reversible encephalopathy

○Shihoko Kimura-Ohba, Yi Yang, Gary Rosenberg
 University of New Mexico, HSC, Department of Neurology

E-021 Mucopolidosis IV: a milder form with novel mutations and serial MRI findings

○Takashi Shiihara¹, Yasuhiro Maruyama², Mio Watanabe¹, Kengo Moriyama¹, Mitsugu Uematsu³, Atsuo Kikuchi³, Natsuko Arai-Ichinoi³, Kiyoko Sameshima⁴
 Department of Neurology, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan¹, Department of Ophthalmology, Kiryu Kosei General Hospital, Gunma, Japan², Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan³, Division of Medical Genetics, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan⁴

E-022 Brain MRI findings in patients with alternating hemiplegia of childhood

○Masayuki Sasaki¹, Atsushi Ishii², Yoshiaki Saito³, Shinichi Hirose²
 Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan², Division of Child Neurology, Tottori University School of Medicine, Yonago, Japan³

E-023 Maturation change of GABAergic system measured with ¹²³I-iodazenil SPECT

○Satoru Ikemoto^{1,2}, Hamano Shin-ichiro^{1,3}, Erika Hiwatari¹, Yuko Hirata¹, Ryuki Matsuura¹, Kenjiro Kikuchi², Reiko Koichihara³, Manabu Tanaka³, Motoyuki Minamitani¹
 Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan¹, Department of Pediatrics, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan², Department for Child Health and Human Development, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan³

E-024 The neural effects of intranasal oxytocin administration in reactive attachment disorder

○Shinichiro Takiguchi¹, Takashi X. Fujisawa², Sakae Mizushima³, Daisuke N. Saito^{2,4}, Koji Shimada^{2,4}, Yuko Okamoto², Yoshifumi Mizuno^{1,3}, Hirotaka Kosaka^{1,2,5}, Akemi Tomoda^{1,2}
 Department of Child and Adolescent Psychological Medicine, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan¹, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan², Division of Developmental Higher Brain Functions, United Graduate School of Child Development, University of Fukui, Fukui, Japan³, Biomedical Imaging Research Center, University of Fukui, Fukui, Japan⁴, Department of Neuropsychiatry, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan⁵

E-025 Focal cortical dysplasia at the bottom of sulcus on advanced dynamic statistical parametric mapping

○Midori Nakajima, Ayako Ochi, Hiroshi Otsubo
 Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Ontario, Canada

19:00~21:00 第 1 回小児免疫性神経筋研究会

第 1 日目 第 7 会場

9:40~10:40 一般演題 (口演)..... (S261)
 遺伝 1

座長 山下純正 (神奈川県立こども医療センター)
 和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理・遺伝医療学分野)

- O-049 Vici 症候群 9 例の臨床的および遺伝学的検討**
 ○堀 いくみ¹, 宮 冬樹^{2,3}, 中島光子⁴, 大友孝信⁵, 根岸 豊¹, 服部文子¹, 安藤直樹¹, 角田達彦³, 西野一三⁶, 金村米博⁷, 吉森 保⁵, 松本直通⁴, 小崎健次郎⁸, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学小児科¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野², 理化学研究所統合生命医科学研究センター医科学数理研究グループ³, 横浜市立大学遺伝学⁴, 大阪大学遺伝学教室⁵, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁶, 大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室脳神経外科⁷, 慶應義塾大学臨床遺伝学センター⁸
- O-050 KIF1A の遺伝子変異を認めた脊髄小脳変性症の 1 例**
 ○小坂拓也¹, 津田英夫², 平出拓也³, 小牧宏文³
 福井県こども療育センター小児科¹, 福井県立病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³
- O-051 ドロップレットデジタル PCR (ddPCR) を用いたアンジェルマン症候群責任遺伝子 Ube3a のアレル別発現の絶対定量解析**
 ○木住野達也
 長崎大学先端生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野
- O-052 先天性 GPI 欠損症 (PIGO 遺伝子異常) における臨床症状の検討**
 ○谷河純平^{1,2}, 村上良子⁴, 富永康仁^{1,2,3}, 青木目 信^{1,2}, 見松はるか⁵, 城所博之⁶, 早川昌弘⁵, 水野誠司⁷, 若松延昭⁸, 岡本伸彦⁹, 夏目 淳¹⁰, 木下タロウ⁴, 大藺恵一^{1,2}
 大阪大学大学院医学研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究科³, 大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野⁴, 名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門⁵, 名古屋大学医学部附属病院小児科⁶, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科⁷, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所遺伝学部⁸, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁹, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学¹⁰
- O-053 レット症候群患者データベースの解析: 102 例の登録患者の遺伝子異常と運動機能**
 ○七種朋子^{1,2}, 弓削康太郎², 高橋 悟⁴, 松石豊次郎^{1,2}, 谷岡哲二⁵, 池永敏晴⁶, 平山千里⁷, 伊藤雅之³
 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院¹, 久留米大学医学部小児科², 国立精神神経医療センター³, 旭川医科大学小児科⁴, NPO 法人レット症候群支援機構⁵, 日本レット症候群協会⁶, さくらんぼ会⁷
- O-054 母親の低頻度モザイクに由来した ATRX 遺伝子変異の兄弟 2 症例**
 ○新保裕子¹, 二宮伸介², 黒澤健司³, 和田敬仁⁴
 神奈川県立こども医療センター臨床研究所¹, 倉敷中央病院遺伝診療部², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³, 京都大学大学院医学研究科医療倫理学遺伝医療学⁴

10:40~11:40 一般演題 (口演)..... (S263)
 遺伝 2

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 松尾真理 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

- O-055 Megalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cysts の日本人 8 名における MLC1 遺伝子解析**
 ○島田姿野¹, 山本俊至², 下島圭子², 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²
- O-056 mTOR 経路異常による巨脳症の診断法の確立と臨床的検討**
 ○根岸 豊¹, 宮 冬樹², 服部文子¹, 堀 いくみ¹, 安藤直樹¹, 福村 忍³, 水野誠司⁴, 梅村紋子⁵, 岸本洋子⁶, 角田達彦², 金村米博⁷, 小崎健次郎⁸, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野², 札幌医科大学小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科⁴, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁵, 島田療育センターはちおうじ神経小児科⁶, 大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室脳神経外科⁷, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁸

O-057 結節性硬化症に対する everolimus 治療の経験

○下野九理子^{1,2,3}, 渡辺陽和^{2,3}, 岸本加奈子^{2,3}, 谷河純平^{2,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3},
青天目信^{2,3}, 永井利三郎^{2,4}, 谷池雅子^{1,2}, 大藺恵一^{2,3}

大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³, プール学院大学⁴

O-058 結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫または腎血管筋脂肪腫に対するエベロリムスの特定使用成績調査

○米村正貴¹, 中村紀子², 色川卓郎², 田邊圭子³

ノバルティスファーマ株式会社オンコロジー開発メディカルアフェアーズ統括部固形腫瘍領域第 1 部¹, ノバルティスファーマ株式会社再審査部オンコロジー再審査グループ², ノバルティスファーマ株式会社安全性情報部オンコロジー安全性評価グループ³

O-059 新規細胞病態を標的とした Pelizaeus-Merzbacher 病の治療薬の探索

○井上 健¹, マンガリイブリアンティ¹, 西澤絢子¹, 李 コウ¹, 中村祥子¹, 佐谷秀行², 後藤雄一¹
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部¹, 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所²

O-060 鉄硫黄アッセンブリング調節因子である IBA57 遺伝子は progressive cavitating leukoencephalopathy をひきおこす

○石山昭彦^{1,2}, 遠藤ゆかり², 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹,
佐藤典子⁴, 後藤雄一³, 西野一三²

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部³, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部⁴

12:50~13:50 ランチョンセミナー 7: 共催 株式会社ヤクルト本社……………(S213)

腸内フローラとメンタルヘルス

座長 山城雄一郎 (順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座)

講演 須藤信行 (九州大学大学院医学研究院心身医学)

14:00~15:00 一般演題 (口演)……………(S265)

奇形, 染色体異常

座長 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院神経内科)

山形崇倫 (自治医科大学小児科学)

O-061 Gorlin 症候群における脳形態解析—ヘッジホッグシグナルのヒト脳への影響—

○塩浜 直¹, 藤井克則¹, 宮下俊之², 内川英紀^{1,3}, 水落弘美^{1,3}, 池原 甫¹, 福原知之¹, 下条直樹¹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 北里大学医学部分子遺伝学², 東千葉メディカルセンター小児科³

O-062 神経線維腫症 1 型の中樞神経合併症について

○平原恵子, 松尾宗明

佐賀大学医学部附属病院小児科

O-063 退行を来した CODAS 症候群の 1 例

○乾 健彦¹, 安西真衣¹, 竹澤祐介¹, 遠藤若葉¹, 涌澤圭介², 田中総一郎³, 大場ちひろ⁴,
才津浩智⁴, 松本直通⁴, 萩野谷和裕¹

拓桃医療療育センター¹, 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター², 東北大学医学部小児科³, 横浜市立大学遺伝学⁴

O-064 脳室周囲結節状異所性灰白質の臨床的特徴とてんかん治療の検討

○小松原孝夫¹, 眞柄慎一¹, 小林 悠¹, 岡崎健一¹, 遠山 潤¹, 長谷川直哉², 白水洋史³,
増田 浩³, 福田真史³

国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院てんかん科², 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科³

O-065 Saethre-Chotzen 症候群を呈する 7p21.1 欠失症例

○新保裕子¹, 大吉達樹², 黒澤健司³

神奈川県立こども医療センター臨床研究所¹, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科², 神奈川県立こども医療センター遺伝科³

O-066 バルプロ酸胎内曝露は神経前駆細胞の増殖/分化誘導を障害し大脳皮質構築に異常をきたす

○藤村公乃¹, 三橋隆行¹, 芝田晋介², 下郷幸子¹, 高橋孝雄¹

慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部生理学²

15:00~16:00 一般演題 (口演) (S267)
不随意運動

座長 木村一恵 (瀬川小児神経学クリニック)
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)

- O-067 Hereditary chin trembling の小児例**
○秋山倫之¹, 柴田 敬¹, 花岡義行¹, 吉永治美², 小林勝弘²
岡山大学病院小児神経科¹, 岡山大学大学院発達神経病態学²
- O-068 毛細血管拡張性運動失調症の少量ベタメサゾン療法前後におけるバイオマーカー解析**
○田沼直之¹, 宮田理英², 林 雅晴², 佐久間 啓², 熊田聡子³, 長谷川節子⁴, 高木正稔⁴
東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学研脳発達・神経再生², 東京都立神経病院神経小児科³, 東京医科歯科大学小児科⁴
- O-069 Gille de la Tourette 症候群の眼球運動検査による基底核障害の評価について**
○星野恭子¹, 長尾ゆり¹, 林 雅晴², 木村一恵¹, 八森 啓¹, 福田秀樹¹, 徳重真一³, 寺尾安生³
小児神経学クリニック¹, 東京都医学研脳発達神経再生², 東京大学医学部神経内科³
- O-070 Gille de la Tourette 症候群に対するアリピプラゾール治療の有効性**
○磯野有章子¹, 長尾ゆり¹, 林 雅晴², 木村一恵¹, 八森 啓¹, 星野恭子¹
小児神経学クリニック¹, 東京都医学総合研究所脳発達神経再生²
- O-071 両側淡蒼球内節刺激療法が有効だった DYT1 ジストニアの 1 男児例**
○塩手仁也¹, 川谷恵里¹, 井原由紀子¹, 藤田貴子¹, 井手口 博¹, 井上貴仁¹, チョンピンフィー², 吉良龍太郎², 樋口正晃³, 森下登史⁴, 井上 亨⁴, 廣瀬伸一¹
福岡大学医学部小児科¹, 福岡市立こども病院小児神経科², 福岡大学医学部神経内科³, 福岡大学医学部脳神経外科⁴
- O-072 小児期発症一次性ジストニアに対する脳深部刺激療法-効果と今後の課題**
○熊田聡子¹, 西田裕哉¹, 内野俊平¹, 水野朋子¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹, 谷口 真², 横地房子³
東京都立神経病院神経小児科¹, 東京都立神経病院脳神経外科², 東京都立神経病院脳神経内科³

19:30~21:00 第 10 回子どもの眠り研究会

第 1 日目 第 8 会場

9:40~10:40 一般演題 (口演) (S269)
てんかん, けいれん 1

座長 高橋系一 (道灌山学園保育福祉専門学校)
舟塚 真 (東京女子医科大学小児科)

- O-073 弛緩性四肢麻痺と知的障害にてんかんを合併したダイニン重鎖遺伝子変異の 1 症例**
○荒木 敦¹, 古賀智子¹, 金子一成¹, 岡本伸彦², 才津浩智³, 松本直通³
関西医科大学小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科², 横浜市立大学医学部遺伝学³
- O-074 片側けいれん片麻痺てんかん症候群の遺伝子研究**
○山崎佐和子^{1,2}, 遠山 潤³, 石井敦士⁴, 廣瀬伸一⁴
新潟大学医学部小児科¹, 長岡療育園小児科², 国立病院機構西新潟中央病院小児科³, 福岡大学医学部小児科⁴
- O-075 難治性てんかん, 早期退行を示した BPAN の男児例**
○後藤一也¹, 内山伸一¹, 今井一秀¹, 高野享子²
国立病院機構西別府病院小児科¹, 信州大学遺伝子診療部²
- O-076 KCNT1 の変異をもつてんかん患者 2 症例のキニジン治療**
○大星大観, 山口解冬, 吉富晋作, 池田浩子, 大谷英之, 今井克美, 重松秀夫, 高橋幸利, 井上有史
NHO 静岡てんかん神経医療センター
- O-077 KCNQ2 遺伝子変異を認めた早期乳児てんかん性脳症の 2 例**
○遠藤若葉¹, 竹澤祐介¹, 安西真衣¹, 乾 健彦¹, 福與なおみ², 岩間一浩³, 才津浩智³, 松本直通³, 萩野谷和裕^{1,2}
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- O-078 Kcnq2 変異マウスにおけるカリウムチャネル開口薬レチガビンの有効性**
○井原由紀子¹, 友納優子¹, 政伸弟子丸², 瀬川波子³, 内田 琢⁴, 石井敦士¹, 廣瀬伸一^{1,4}
福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学理学部², 福岡大学医学部生化学³, 福岡大学医学部てんかん分子病態研究所⁴

10:40~11:40 一般演題 (口演)..... (S271)

てんかん, けいれん 2

座長 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科))
山下進太郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

O-079 迷走神経予後予測因子としての early onset response

○藤本礼尚, 岡西 徹, 本井宏尚, 金井倉太郎, 横田卓也, 榎 日出夫

聖隷浜松病院てんかんセンター

O-080 けいれん重積後の活性化ミクログリア制御によるてんかん原生獲得の予防

○佐野史和^{1,2}, 繁富英治², 小泉修一², 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男¹

山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学医学部薬理学²

O-081 小児の側頭葉てんかんと海馬硬化, 熱性けいれんに関する検討

○小出憲呼¹, 本田涼子¹, 安 忠輝¹, 田中茂樹¹, 小野智憲², 戸田啓介², 馬場啓至²

独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター脳外科²

O-082 TOSCA 試験 第二回中間解析結果

○遠山 潤¹, 金子英雄², 今井克美³, 宇留野勝久⁴, 久保田雅也⁵, 遠藤彰一⁶, 高橋幸利³

国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 国立病院機構長良医療センター小児科², 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科³, 国立病院機構山形病院てんかんセンター⁴, 国立成育医療研究センター神経内科⁵, 国立病院機構四国こどもととなの医療センター小児科⁶

O-083 結節性硬化症における点頭てんかんに対するピガバトリンの有効性についての検討

○岩谷祥子^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 渡辺陽和^{1,3}, 岸本加奈子^{1,3}, 谷河純平^{1,3}, 富永康仁^{1,2,3},

青天目信^{1,3}, 大藁恵一^{1,3}

大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³

O-084 結節性硬化症に対する小児期てんかん外科治療の検討

○丸山慎介^{1,2}, 花谷亮典^{2,3}, 細山浩史^{2,3}, 渡邊健二⁴, 四俣一幸⁴, 米衛ちひろ⁵, 佐野のぞみ⁵,

大坪俊昭⁶, 有田和徳³, 河野嘉文¹

鹿児島大学医学部小児科¹, 鹿児島大学病院てんかんセンター², 鹿児島大学医学部脳神経外科³, 鹿児島市立病院小児科⁴, 国立病院機構南九州病院小児科⁵, 藤元総合病院脳神経外科⁶

12:50~13:50 ランチョンセミナー 8: 共催 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社..... (S213)

脳性麻痺と胎児心拍数パターン

座長 早川昌弘 (名古屋大学医学部附属病院小児科)

講演 池田智明 (三重大学医学部産婦人科)

14:00~15:00 一般演題 (口演)..... (S273)

てんかん, けいれん 3

座長 廣瀬伸一 (福岡大学)

浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

O-085 ACTH 療法で無効または再発した West 症候群のスパズム時の発作時脳波からみた難治要因の検討

○澁谷郁彦, 須貝研司, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

O-086 Leigh 症候群に合併した West 症候群の治療と発作予後

○大野 武, 須貝研司, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

O-087 良性乳児けいれん 11 例の臨床的検討

○橋 秀和^{1,2}, 西里ちづる², 岡田拓巳², 島津智之², 上野弘恵², 今村穂積², 澤田貴彰³

熊本市市民病院新生児内科¹, 熊本再春荘病院², 国保水俣市立総合医療センター³

O-088 Dravet 症候群早期診断におけるスクリーニングテストの有用性

○秋山麻里^{1,2}, 林 裕美子^{1,2}, 遠藤文香^{1,2}, 吉永治美^{1,2,3}, 小林勝弘^{1,2,3}

岡山大学病院小児神経科¹, 岡山大学病院てんかんセンター², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学³

O-089 睡眠時持続性棘徐波を示すてんかん性脳症に対するステロイドパルスの効果の検討

○眞柄慎一, 小松原孝夫, 小林 悠, 岡崎健一, 遠山 潤
国立病院機構西新潟中央病院小児科

O-090 Angelman 症候群のてんかん発作治療薬の後方視的検討

○大谷ゆい^{1,2}, 小国弘量¹, 西川愛子¹, 衛藤 薫¹, 伊藤 進¹, 舟塚 真¹, 平澤恭子¹, 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 松戸クリニック²

15:00~16:00 一般演題 (口演)..... (S275)**てんかん, けいれん 4**

座長 金村英秋 (山梨大学医学部小児科)

荒木 聡 (練馬光が丘病院小児科)

O-091 ビデオ脳波同時記録で心因性非てんかん発作と診断した小児 31 例

○上田理登, 須貝研司, 斎藤貴志, 本橋裕子, 竹下絵里, 石山昭彦, 中川栄二, 小牧宏文, 佐々木征行
国立精神神経医療研究センター病院小児神経科

O-092 小児のてんかん重積状態におけるセカンドライン治療の有効性と意識抑制作用の検討

○西山将広^{1,2}, 永瀬裕朗^{1,2}, 石田悠介², 田中 司², 藤田杏子², 豊嶋大作², 丸山あずさ²,
松本真明¹, 富岡和美¹, 運崎 愛¹, 栗野宏之¹, 竹田洋樹³, 上谷良行³, 高田 哲⁴, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院脳神経内科², 兵庫県立こども病院救急集中治療科³, 神戸大学大学院保健学研究科⁴

O-093 自閉症スペクトラム合併てんかん症例におけるラモトリギンまたはレベチラセタムの忍容性の検討

○石川暢恒, 谷 博雄, 小林良行, 藤井裕士, 小林正夫
広島大学病院小児科

O-094 小児てんかん患者の J-KIDSCREEN-52 による QOL 評価

○古市康子¹, 榎原崇文^{2,4}, 根津智子³, 車谷典男³, 星田 徹⁴, 関 真理子¹, 木下清二¹, 今中康文⁵,
中 宏之⁶, 森井直之⁷, 山下隆司⁸, 山下千賀子⁸, 下山弘展⁹, 嶋 緑倫²
東大阪市立総合病院小児科¹, 奈良県立医科大学附属病院小児科², 奈良県立医科大学地域健康医学教室³, 国立病院機構奈良医療センター⁴, 今中小児科⁵, なか小児科⁶, 森井小児科⁷, やました小児科⁸, しもやま小児科⁹

O-095 当院における学童期熱性けいれんの特徴

○今泉太一^{1,2}, 宮本雄策^{1,2}, 竹田加奈子^{1,2}, 山本寿子^{1,2}, 宮地悠輔^{1,2}, 小島隆浩^{1,2}, 山本 仁²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²

O-096 睡眠時無呼吸発作や心因性発作として長期フォローされた夜間前頭葉てんかんの一例

○中川裕康¹, 黒田文人², 加藤明子², 池野 郁², 横井彩乃³, 三谷裕介², 新井田 要³
浅ノ川総合病院小児科¹, 金沢大学医薬保健研究域医学系小児科², 金沢医科大学病院遺伝子医療センター³

第 1 日目 ポスター展示会場

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S297)

てんかん, けいれん 1

モデレーター 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター)

P-001 ウィークリー ACTH 療法が奏効した乳児てんかん性脳症の女児

○矢野珠巨¹, 久保田弘樹¹, 高橋 勉¹, 山本俊至²秋田大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²

P-002 キニジン療法が無効であった KCNT1 変異をもつ早期乳児てんかん性脳症の一例

○チョンビンフイー^{1,2}, 松倉 幹¹, 中村涼子¹, 今城 透¹, 才津浩智³, 吉良龍太郎¹福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立こども病院総合診療科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

P-003 新生児期視床出血後に徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかん (CSWS) を発症し, ジアゼパム大量療法が奏効した 1 例

○谷 博雄^{1,2}, 石川暢恒^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 藤井裕士^{1,2}, 小林正夫¹広島大学病院小児科¹, 広島大学病院てんかんセンター²

P-004 脳梁離断術後に短い強直発作が群発した Lennox-Gastaut 症候群 3 例の臨床的特徴

○本田涼子¹, 小野智憲², 戸田啓介², 小出憲呼¹, 安 忠輝¹, 田中茂樹¹, 馬場啓至²国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科²

P-005 ACTH 療法の副作用により緊急手術を要した West 症候群例

○吉富晋作, 高橋幸利, 大谷英之, 大星大観, 堀野朝子, 木水友一, 小池敬義, 小関直子, 山口解冬, 池田浩子, 重松秀夫, 今井克美, 井上有史

国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科

P-006 KCNT1 遺伝子異常を認める West 症候群に対するキニジン治療

○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 金 聖泰¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 吉田葉子², 宇田武弘³, 才津浩智⁴, 岡本伸彦⁵大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児不整脈科², 大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科学³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁵

P-007 治療抵抗性に経過し, 脳梁離断術が奏効した「徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかん」の 1 例

○水流尚志¹, 佐野のぞみ¹, 松藤まゆみ¹, 丸山慎介², 本田涼子³, 戸田啓介⁴国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島大学医学部小児科², 国立病院機構長崎医療センター小児科³, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科⁴

P-008 演題取り下げ

P-009 West 症候群に対し, vitB6 大量療法が有効であった一例

○荻野元子¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 大場千鶴¹, 島川修一³, 玉井 浩³市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪医科大学付属病院小児科³

18:30~19:00 一般演題 (ポスター) (S300)

てんかん, けいれん 2

モデレーター 川上康彦 (日本医科大学多摩永山病院小児科)

P-010 てんかん児の発作重症度が親のスティグマに影響を与える

○金村英秋¹, 佐野史和¹, 大山哲男¹, 杉田完爾¹, 相原正男²山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²

P-011 小児神経外来で加療中の女性てんかん患者の妊娠・出産の検討

○河村由生¹, 福田あゆみ¹, 小平隆太郎¹, 淵上達夫¹, 藤田之彦¹, 高橋昌里¹, 西村 淳¹,道廣成実², 椎原弘章², 原澤孝夫²日本大学医学部小児科¹, 足利の森足利病院小児科²

P-012 ビデオ脳波検査で 2 種類の発作時脳波を認めた 2 か月男児症例

○松本貴子, 毎原敏郎

兵庫県立尼崎総合医療センター小児科

- P-013 医学生に対する小児神経領域の症例報告指導の経験～要改善点の抽出と執筆プログラム開発の試み～**
○柿坂庸介¹, 福與なおみ², 石井誠一³, 藤川真由¹
東北大学医学部てんかん科¹, 東北大学病院遺伝科², 東北大学医学部医学教育推進センター³
- P-014 難治性てんかんに心因性非てんかん性発作 (PNES) を続発した 2 症例**
○北村太郎¹, 相原 悠¹, 鈴木力生¹, 守谷充司¹, 西尾利之¹, 高柳 勝¹, 大浦敏博¹, 及川善嗣², 植松 貢²
仙台市立病院小児科¹, 東北大学小児科²
- P-015 高葉酸血症を認めた重度精神運動発達遅滞の女児例**
○草開祥平¹, 田中朋美¹, 平岩明子¹, 渡辺祐紀¹, 倉本 崇¹, 藤木靖子¹, 田中千秋¹, 宮 一志², 足立雄一¹
富山大学医学部小児科¹, 富山大学人間発達科学部²
- P-016 てんかん治療経過中の DN-CAS における認知機能の変化について**
○柏木 充¹, 田邊卓也², 荻野元子¹, 大場千鶴¹, 吉川聡介³, 宮本良平⁴, 島川修一⁵, 東川幸嗣⁶, 若宮英司⁷, 玉井 浩⁵
市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪労災病院小児科³, 茨木済生会病院小児科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護学科⁷
- P-017 非けいれん性てんかん重積状態中に呼吸抑制をきたした Gastaut 型特発性小児後頭葉てんかん (ICOE-G) の 1 例**
○船田桂子^{1,2}, 四家達彦¹, 武内俊樹², 山下行雄¹
横浜市立市民病院小児科¹, 慶應義塾大学医学部小児科²
- P-018 複雑型熱性けいれんの脳血流シンチグラフィと髄液中サイトカイン**
○森下那月美, 山中 岳, 浦辺智美, 竹下美佳, 森地振一郎, 石田 悠, 小穴信吾, 河島尚志
東京医科大学病院小児科
- P-019 身震い発作 5 例の検討**
○小俣 卓, 渡辺 淑, 飯田由紀子, 児玉一男
千葉県こども病院神経科
- 19:00～19:30 一般演題 (ポスター) (S303)**
てんかん, けいれん 3
モデレーター 宮本雄策 (川崎市立多摩病院小児科)
- P-020 両側大脳病変を伴う難治性てんかんに対し半球離断術施行した 2 症例の検討**
○藤井裕士^{1,2}, 谷 博雄^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 石川暢恒^{1,2}, 片桐匡弥², 香川幸田², 飯田幸治², 小林正夫¹
広島大学病院小児科¹, 広島大学病院てんかんセンター²
- P-021 早期の経口ステロイド療法が病態の進行抑制に寄与した可能性のある Rasmussen 症候群の一例**
○松岡剛司, 大府正治, 比屋根真彦
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- P-022 側頭葉脳腫瘍を合併した late onset infantile spasms の一例**
○稲見茉莉¹, 宮田世羽¹, 中川美和¹, 並木弓子¹, 中野瑛子¹, 松岡雄一郎¹, 島崎真希子¹, 小松裕美子¹, 中村由紀子³, 岡 明^{1,2}, 楊 國昌¹
杏林大学医学部小児科学教室¹, 東京大学医学部小児科学教室², 島田療育センターはちおうじ³
- P-023 West 症候群後の転倒発作に対し脳梁離断術を受けた 12 例の発作予後と術前後の脳波変化**
○高橋孝治¹, 須貝研司¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齊藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 高橋章夫², 大槻泰介², 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター脳神経外科²
- P-024 海綿状血管腫から難治性複雑部分てんかんを起こした 9 歳女児例**
○福田智文, 下野昌幸, 石井雅宏, 千手絢子, 松田夢子, 楠原浩一
産業医科大学医学部小児科
- P-025 結節性硬化症に合併する小児てんかん発作に対して, 短期的治療効果から考える有効な抗てんかん薬は?**
○木下美沙子^{1,2}, 菊池健二郎², 日暮憲道², 浜野晋一郎³
富士市立中央病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター神経科³
- P-026 突然の難治性部分てんかんとして発症し, 脳炎との鑑別に苦慮した限局性皮質異形成 IIb 型の年長児例**
○早川 格^{1,2}, 熊田聡子¹, 森野道晴³, 内野俊平¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹
東京都立神経病院神経小児科¹, 東京都立小児総合医療センター総合診療科², 東京都立神経病院脳神経外科³

P-027 難治性てんかんに対する外科治療による行動面の変化

○松尾光弘¹, 藤井明子¹, 本田涼子², 戸田啓介³, 小野智憲³, 馬場啓至⁴, 里 龍晴⁵, 渡邊嘉章⁵, 渡邊聖子⁶
長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児科², 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター脳神経外科³, 西諫早病院脳神経外科⁴, 長崎大学医学部小児科⁵, 済生会長崎病院小児科⁶

P-028 可逆性白質脳症後に発症した海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかんの男児例

○佐藤敦志¹, 下田木の実¹, 水野葉子¹, 太田さやか¹, 葛西真梨子¹, 岡 明¹, 水口 雅²
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学²

18:00~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S306)
発達障害 1

モデレーター 伊予田邦昭 (福山市こども発達支援センター)

P-029 ADHD 児の睡眠時脳波の周波数解析と臨床症状の関係

○小橋孝介¹, 大久保真理子¹, 中川栄二¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 福田亜矢子², 大森幹真^{2,3}, 稲垣真澄², 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部², 独立行政法人日本学術振興会³

P-030 就学前の ADHD 診断とその後の経過

○田中 学¹, 南谷幹之², 成田有里¹, 黒田 舞¹, 松浦隆樹², 平田佑子², 小一原玲子¹, 池本 智², 樋渡えりか², 浜野晋一郎^{1,2}
埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

P-031 思春期における ADHD の診断および臨床的検討

○酒井哲郎^{1,2}, 鈴木直光¹
筑波こどものこころクリニック¹, 友愛記念病院小児科²

P-032 ADHD 治療薬の終了を試みた 5 例の臨床的検討

○幅田有美¹, 石川 丹², 須藤 章², 植田佑樹²
北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション科小児科¹, 楡の会こどもクリニック小児科²

P-033 Noonan 症候群における AD/HD の 2 例

○大野由美子, 和田恵子, 松井秀司, 赤星恵子, 松田光展, 舟橋満寿子, 鈴木康之
東京小児療育病院小児科

P-034 短期 ADHD 夏期集中プログラムの効果

○弓削康太郎¹, 平田留美子¹, 家村明子¹, 下村 豪¹, 多田泰裕², 穴井千鶴², 向笠章子², 江上千代美³, 永光信一郎¹, 山下裕史朗^{1,2}
久留米大学小児科¹, NPO 法人くるめ STP², 福岡県立大学看護学科³

P-035 当科における注意欠如多動症に対する薬物治療の変遷

○細田千佳^{1,2}, 大野光洋¹, 西村洋子¹, 玉崎章子¹, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹
鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立総合療育センター小児科²

P-036 てんかんをもつ小児の ADHD に対してのアトモキセチン長期投与の認容性

○田邊卓也¹, 柏木 充², 荻野元子², 大場千鶴², 島川修一³, 若宮英司⁴, 玉井 浩³
医療法人あゆみ会田辺こどもクリニック¹, 市立ひらかた病院小児科², 大阪医科大学小児科³, 藍野大学⁴

P-037 頭部外傷後遺症としての注意障害に対して atomoxetine の投与を行った 1 例

○福井美保¹, 島川修一¹, 畑中マリ¹, 栗本奈緒子², 水田めくみ², 竹下 盛², 奥村智人², 若宮英司³, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 藍野大学医療保健学部看護学科³

P-038 ADHD における環境要因の検討

○西澤和倫
静岡赤十字病院小児科

P-039 学齢期以降も支援が必要な極低出生体重児の特徴についての検討

○中村明雄¹, 八田京子¹, 平井恵奈¹, 小池良子¹, 池尻佳奈¹, 加藤久美子¹, 三友聡美¹, 及川奈央¹, 細澤麻里子¹, 岩崎友弘¹, 吉川尚美¹, 田中恭子^{1,2}, 清水俊明¹
順天堂大学医学部小児科¹, 国立成育医療研究センターこころの診療部²

18:30~19:00 一般演題 (ポスター)..... (S310)

発達障害 2

モデレーター 中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)

P-040 川崎市発達相談支援センターにおける医療相談の臨床的検討

○高木一江

横浜市中部地域療育センター, 川崎市発達相談支援センター

P-041 地域中核病院での発達障害の診療と支援

○栗原亜紀, 岩崎博樹, 大澤由記子, 小保内俊雅

多摩北部医療センター小児科

P-042 神経発達症の包括的診療 2 年間の自験例のまとめ

○林 仁美, 森島直美, 鶴澤礼実, 中村紀子, 倉田佐和, 小川 厚

福岡大学筑紫病院小児科

P-043 小児神経科医による学校訪問 - 教室へ行こう, 職員室まで行こう -

○中野広輔¹, 牛田美幸²愛媛大学教育学部特別支援教育講座¹, 独立行政法人四国こどもとおとなの医療センター児童心療内科²

P-044 静岡県の重症心身障害児者の在宅支援に係る診療所アンケート調査

○山倉慎二, 浅野一恵

つばさ静岡

P-045 発達障害の子どもを地域で支える「さがみ虹色ネット」の 10 年の実践

○細田のぞみ

相模原療育園小児科

P-046 学校・療育機関への支援を目的とした発達障害等専門外来の試み

○原口光代

神奈川県立総合療育相談センター

P-047 北九州市における発達障害児支援の現状と連携についての検討

- 保育園・幼稚園・小学校・中学校・一般開業医への質問紙調査より -

○安永由紀恵, 緒方怜奈, 渡辺恭子

国立病院機構小倉医療センター小児科

P-048 小児等在宅医療連携拠点事業の取り組みについて

○奈倉道明

埼玉医科大学総合医療センター小児科

P-049 大学病院における育児支援活動の 10 年間の変遷: 役割と今後の課題について

○八田京子¹, 中村明雄¹, 平井恵奈¹, 小池良子¹, 池尻佳奈¹, 加藤久美子¹, 三友聡美¹, 及川奈央¹,細澤麻里子¹, 岩崎友弘¹, 吉川尚美¹, 田中恭子^{1,2}, 清水俊明¹順天堂大学医学部小児科¹, 国立成育医療研究センターこころの診療部²

P-050 軽症 ADHD 患児に併存する夜尿性に対してアトモセチンは有効である

○大友義之 (Yoshiyuki Ohtomo), 吉田 登, 海野大輔, 山下進太郎, 新島新一

順天堂大学医学部附属練馬病院小児科

19:00~19:30 一般演題 (ポスター)..... (S313)

発達障害 3

モデレーター 鈴木由香 (松山赤十字病院)

P-051 自閉症スペクトラム障害における頭部 MRI 所見の目視的検討

○伊藤弘道¹, 森 健治², 原田雅史³, 久岡園花³, 東田好広¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 阿部容子¹,宮崎雅仁¹, 香美祥二¹徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部子どもの保健・看護学², 徳島大学医学部放射線科学³

P-052 自閉症スペクトラム障害におけるてんかん・脳波異常の検討

○伊藤弘道¹, 森 健治², 東田好広¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 阿部容子¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部子どもの保健・看護学²

P-053 自閉スペクトラム症と診断された児における乳児期の発達の特徴

○平澤恭子, 竹下暁子, 永田 智

東京女子医科大学小児科

P-054 発達性ディスレクシアの同胞例における臨床的多様性

○川谷正男^{1,3,4}, 巨田元礼^{1,4}, 米谷 博², 滝口慎一郎^{3,4}, 大嶋勇成¹, 友田明美³, 平谷美智夫⁴福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 平谷こども発達クリニック⁴

- P-055 表出言語や語音産出に遅れのある児と自閉症スペクトラム児の認知発達とかな読み獲得に関する検討**
○野村芳子, 岸本洋子, 雨宮 馨, 小沢愉理, 積田綾子, 中村由紀子, 杉浦信子, 小沢 浩
島田療育センターはちおうじ
- P-056 3 歳未満で早期介入した自閉症児の追跡調査**
○前田卿子, 末田慶太郎, 森岡景子, 早川幸代, 原 泉
静岡医療福祉センター小児神経科
- P-057 乳幼児の自閉症スペクトラム障害の睡眠障害にたいするラメルテオンの効果**
○末田慶太郎¹, 前田卿子²
札幌市子ども心身医療センター¹, 静岡医療福祉センター²
- P-058 島田療育センターはちおうじにおける ASD 同胞例の臨床像と親年齢の検討**
○岸本洋子, 野村芳子, 雨宮 馨, 積田綾子, 中村由紀子, 杉浦信子, 小沢愉理, 小沢 浩
島田療育センターはちおうじ
- P-059 自閉症児の体温産生機構に関する検討**
○中山智博, 大黒春夏, 中山純子, 岩崎信明
茨城県立医療大学小児科
- P-060 自閉性症状に対する脳波に基づく薬物治療の検討**
○中川栄二
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- P-061 発達障害にて発症し, 低カルシウム血症を伴わないために診断が遅れた偽性副甲状腺機能低下症の 1 例**
○有井直人
順天堂大学医学部附属静岡病院小児科

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S317)

脳性麻痺・療育 1

- モデレーター 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)**
- P-062 大学による在宅重症児支援—重症児の在宅支援を担う専門職養成のためのインテンシブコースの実施—**
○余谷暢之^{1,2}, 濱崎考史², 新宅治夫²
神戸大学医学部付属病院腫瘍センター緩和ケアチーム¹, 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野²
- P-063 鳥取県内の医療機関を対象とした医療的ケアを必要とする障害児・者の在宅医療に関するアンケートの結果と分析**
○坪内祥子^{1,2}, 板倉文子², 玉崎章子², 前垣義弘²
独立行政法人国立病院機構米子医療センター小児科¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²
- P-064 当センターにおける経鼻咽頭エアウェイの長期使用例の検討**
○高橋長久, 金沢真希子, 荻田佳織, 古山晶子, 大日向純子, 木村育美, 長瀬美香, 中谷勝利, 米山 明, 北住映二
心身障害児総合医療療育医療センター
- P-065 在宅重症心身障害児 (者) 訪問指導事業の現状と課題**
○保坂裕美¹, 畠山和男¹, 青柳閣郎¹, 神谷裕子², 加賀佳美², 中村幸介², 石井佐綾香², 杉田完爾³, 相原正男⁴
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 国立病院機構甲府病院小児科², 山梨大学医学部小児科³, 山梨大学大学院総合研究部⁴
- P-066 こどもホスピス病棟での 3 年間の取り組み**
○鍋谷まこと
淀川キリスト教病院, ホスピス・こどもホスピス病院, 小児科
- P-067 静岡県西部地区における診療所の重症心身障害児者への関わりのアンケート調査**
○鈴木輝彦, 遠藤雄策, 平野浩一
浜松市発達医療総合福祉センター小児科
- P-068 地域生活支援型重症心身障害児施設における退所児の動向調査**
○中村裕子¹, 田邊文子¹, 汐田まどか¹, 北原 佑¹, 前垣義弘²
鳥取県立総合療育センター小児科¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²
- P-069 小児在宅支援の立場からの ITB 療法の効果**
○富田 直^{1,2}, 生田陽二¹, 森 貴幸¹, 伊藤麻美¹, 鈴木洋実¹, 小出彩香^{1,2}, 三山佐保子¹, 井原 哲³
東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター子ども家族支援部門², 東京都立小児総合医療センター脳神経外科³

- P-070 学童期に受傷した頭部外傷の病変分布と粗大運動機能予後**
○大村馨代, 北井征宏, 小倉加恵子, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科
- P-071 広島県における在宅重症心身障害児・者に対する日中活動事業所による医療的支援状況**
○澤野邦彦¹, 松葉佐正²
広島県立障害者リハビリテーションセンター小児科¹, 熊本大学医学部付属病院重症心身障がい学
寄付講座²
- P-072 障害児者の摂食嚥下を診ている立場から小児神経科医に伝えたいこと**
○渥美 聡
東京都立府中療育センター小児科

18:30~19:00 一般演題 (ポスター) (S321)

脳性麻痺・療育 2

- モデレーター 岩崎裕治 (東京都立東部療育センター)
- P-073 重症心身障害児の慢性誤嚥に対する血清 SP-D 値の有用性についての検討**
○若本裕之, 河邊美香, 森本武彦
愛媛県立子ども療育センター小児神経科
- P-074 重症心身障害児・者における排痰補助装置 (カフアシスト E70) の検討 (PCF, Vti を用いて)**
○鈴木敏洋, 高木真理子, 立岡祐司, 本澤志方, 野口ひとみ, 太田秀臣, 益山龍雄, 岩崎裕治,
加我牧子
東京都立東部療育センター小児科
- P-075 当院にて VF 検査を実施した奇形症候群の摂食予後について**
○早川美佳, 落合幸勝, 大島早希子, 嶋崎友希, 廣瀬聖子, 今井祐之
東京都立北療育医療センター小児科
- P-076 カルニチン欠乏を呈する重症心身障害児 (者) への L-カルニチン製剤投与に関するコホート研究**
○緒方朋実¹, 村松一洋¹, 牧岡西紀¹, 澤浦法子¹, 金子広司², 荒川浩一¹
群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, はんな・さわらび療育園²
- P-077 当院における低カルニチン血症に対する治療と経過**
○渡邊年秀, 高山留美子, 小笠原真志
北海道立子ども総合医療療育センター小児科
- P-078 重症神経疾患患者における変形などの問題に対応した気管カニューレの選択—特注カニューレ使用 11 例を含む 79 例の検討**
○金沢真希子^{1,2}, 北住映二¹, 米山 明¹, 中谷勝利¹, 大日向純子¹, 木村育美¹, 長瀬美香¹,
古山晶子¹, 高橋長久¹, 由井崇子¹, 山口直人¹, 荻田香織¹
心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 杏林大学医学部付属病院²
- P-079 脳室周囲白質軟化症を伴う痙性両麻痺型脳性麻痺児の認知機能特性**
○小倉加恵子, 北井征宏, 大村馨代, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科
- P-080 基底核視床病変による脳性麻痺児の摂食障害に関する後方視的検討**
○北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科
- P-081 気管切開術, 喉頭気管分離術を施行した小児の臨床経過**
○岡崎 伸¹, 金 聖泰¹, 福岡正隆¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 川脇 壽¹,
富和清隆³, 中野友明², 金村信明²
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児耳鼻科², 東大寺福祉療
育病院³
- P-082 超音波法による重症心身障害児者の骨密度評価**
○石川尚子, 市山高志, 伊住浩史, 杉尾嘉嗣
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科

19:00～19:30 一般演題 (ポスター) (S324)

脳性麻痺・療育 3

モデレーター 今井祐之 (都立北療育医療センター)

P-083 経管栄養中、高インスリン血症、低血糖を呈し後期ダンピング症候群が疑われた 1 例

○小野浩明

県立広島病院小児科

P-084 胃食道逆流症に上腸間膜動脈症候群を合併し、胃空腸吻合手術により嘔吐症状が改善した重症心身障害者の 2 症例

○明城和子¹、大瀧 潮¹、松田慶子¹、池田憲二¹、高橋佳代子¹、上石晶子¹、有本 潔¹、
木実谷哲史¹、三山健司²

島田療育センター小児科¹、国立精神神経医療研究センター病院外科²

P-085 Status dystonicus を呈したアトーゼ型脳性麻痺の 1 例

○嶋崎友希^{1,2}、大島早希子^{1,2}、有賀賢典^{1,2,3}、玉利明信^{1,2,4}、早川美佳^{1,2}、廣瀬聖子^{1,2}、落合幸勝^{1,2}、
今井祐之^{1,2}

東京都立北療育医療センター小児科¹、東京慈恵会医科大学医学部小児科²、神奈川県総合リハビリテーション事業団³、富士市立中央病院⁴

P-086 無気肺部位への側副血管からの大量出血に対し塞栓術を施行した重症心身障害者の 2 例

○石井佐綾香^{1,2}、加賀佳美^{1,2}、中村幸介^{1,2}、神谷裕子^{1,2}、金村英秋²、杉田完爾²、相原正男³

独立行政法人国立病院機構甲府病院小児科¹、山梨大学医学部小児科²、山梨大学大学院医学工学総合研究部³

P-087 療育施設で事前ケアプランを基に看取った 9 歳の超重症児

○飯島禎貴、船戸正久、和田 浩

大阪発達総合療育センター小児科

P-088 水無脳症長期生存例の臨床像

○丸山幸一、牧 祐輝、梅村紋子、山田桂太郎、麻生幸三郎

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科

P-089 長期経過観察中の CCHS に高血圧を合併した一例

○廣瀬聖子^{1,2}、早川美佳^{1,2}、大島早希子^{1,2}、嶋崎友希^{1,2}、落合幸勝^{1,2}、今井祐之^{1,2}

東京都立北療育医療センター小児科¹、東京慈恵会医科大学医学部小児科²

P-090 重症心身障害児者のてんかん重積について

○和田恵子、大野由美子、田村貴子、牧野道子、松井秀司、松田光展、柳 恵子、舟橋満寿子、
赤星恵子、椎木俊秀

東京小児療育病院小児科

P-091 20 歳を超える重度脳性麻痺者の在宅医療～小児病院の視点から終末期を見据えて～

○小出彩香¹、早川 格²、小沢 浩³、森 貴幸¹、伊藤麻美¹、鈴木洋実¹、三山佐保子¹、富田 直¹

東京都立小児総合医療センター神経内科¹、東京都立小児総合医療センター総合診療科²、島田療育センターはちおうじ神経小児科³

P-092 炭酸脱水酵素阻害作用をもつ抗てんかん薬使用中の重症心身障害者が嘔吐や食欲低下を呈した場合、尿路結石を念頭におくべきである

○堅田有宇^{1,2}、三上 仁¹、福岡なおみ^{1,2,3}

岩手県立中央病院¹、東北大学病院小児科²、東北大学病院遺伝子診療部³

P-093 非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) 中の重症心身障害児者に対する器械による咳介助 (mechanical in-exsufflation; MI-E) の使用経験

○松井秀司、舟橋満寿子、大野由美子、牧野道子、和田恵子、松田光展、赤星恵子、椎木俊秀
東京小児療育病院小児科

18:00～18:30 一般演題 (ポスター) (S328)

筋 1

モデレーター 石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

P-094 慢性骨髄性白血病を発症した Duchenne 型筋ジストロフィーの 1 例

○脇坂晃子、横井彩乃、山田晋也、中村奈美、丸箸圭子、辻 隆範、大野一郎、関 秀俊
国立病院機構医王病院小児科

P-095 Duchenne 型筋ジストロフィー患者の学校教育に関する多施設アンケート調査

○鈴木理恵¹、齊藤利雄²、藤井達哉^{1,3}、丸山幸一⁴、服部文子⁵、脇坂晃子⁶、竹島泰弘⁷、向田壮一¹、
糸見世子¹、白石一浩¹

(独) 国立病院機構宇多野病院小児神経科¹、(独) 国立病院機構刀根山病院小児神経内科²、滋賀県立小児保健医療センター小児科³、愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁴、名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野⁵、(独) 国立病院機構医王病院小児科⁶、兵庫医科大学小児科⁷

P-096 Duchenne 型筋ジストロフィー心筋症に対する長期 ACE 阻害剤投与における血漿 AcSDKP の検討

○石川幸辰, 南 良二, 石川悠加
国立病院機構八雲病院小児科, 小児神経科

P-097 両側視床傍正中中部梗塞を合併した Duchenne muscular dystrophy

○野崎章仁, 熊田知浩, 柴田 実, 林 安里, 森 未央子, 日衛嶋郁子, 井上賢治, 佐々木彩恵子, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-098 デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する胃瘻造設と管理の検討

○木許恭宏¹, 小牧宏文¹, 森 まどか², 大矢 寧², 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 村田美穂², 三山健司³, 中井哲慈⁴
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科², 国立精神・神経医療研究センター病院外科³, 国立精神・神経医療研究センター病院麻酔科⁴

P-099 重度発達遅滞を呈したジストロフィン遺伝子の一部を含む 3.36 Mb の Xp21.1 微細欠失の 1 男児例

○柴 直子^{1,2}, 西岡 誠², 山内翔子², 川崎洋一郎², 本林光雄², 高野亨子^{3,4}, 古庄知己^{3,4}, 涌井敬子^{3,4}, 福嶋義光^{3,4}, 中村昭則⁵, 稲葉雄二²
安曇野赤十字病院小児科¹, 信州大学医学部小児科², 信州大学医学部附属病院遺伝子診療部³, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学⁴, 信州大学医学部附属病院難病診療センター⁵

P-100 デュシェンヌ型筋ジストロフィー (DMD) 児における就学就労状況の検討

○住友典子, 竹下絵里, 小牧宏文, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行, 埜中征哉
国立精神・神経医療研究センター小児神経科

P-101 歩行消失後のデュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するステロイド導入

○石川悠加, 石川幸辰
国立病院機構八雲病院小児科

P-102 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける心臓 MRI の有用性と問題点

○立川雅美子, 服部文子, 家田大輔, 堀いくみ, 根岸 豊, 安藤直樹, 犬飼幸子, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

18:30~19:00 一般演題 (ポスター)..... (S331)**筋 2**

モデレーター 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

P-103 福山型先天性筋ジストロフィーにおける骨格筋 MRI STIR 画像の経時的変化

○石黒久美子, 村上てるみ, 佐藤孝俊, 七字美延, 大澤真木子, 永田 智, 石垣景子
東京女子医科大学医学部小児科

P-104 筋ジストロフィー病棟における心理的援助

○井村 修¹, 大野真紀子², 齊藤利雄², 松村 剛², 新垣ほのか¹, 宮本真衣¹, 藤野陽生¹
大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院²

P-105 福山型先天性筋ジストロフィー患者登録データの後方視的解析

○石垣景子¹, 井原千琴², 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 七字美延¹, 石黒久美子¹, 貝谷久宣², 大澤真木子¹, 永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, (一社) 日本筋ジストロフィー協会²

P-106 筋ジストロフィー専門施設における在宅人工呼吸療法の現状

○齊藤利雄¹, 畠田羅勝義²
国立病院機構刀根山病院小児神経内科¹, 徳島文理大学²

P-107 小児期発症の重症筋無力症 3 例の検討

○浅井 完¹, 石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 松田夢子¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 高野志保¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹
産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

P-108 当科における重症筋無力症の臨床的検討

○石井和嘉子¹, 藤田之彦², 木村かほり¹, 窪田園子¹, 桃木恵美子¹, 河村由生¹, 福田あゆみ¹, 小平隆太郎¹, 瀧上達夫¹, 高橋昌里¹
日本大学医学部小児科¹, 日本大学医学部医学教育企画・推進室²

P-109 筋ジストロフィーの臨床試験におけるアウトカムメジャー研究

～運動機能評価手順書と評価者研修の重要性～

○竹下絵里¹, 岩田恭幸², 矢島寛之², 立森久照³, 小牧宏文^{1,4}, 佐々木征行¹

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部身体リハビリテーション科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部³, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部⁴, 筋ジストロフィー臨床試験ネットワークアウトカムメジャー研究グループ⁵

P-110 小児期発症筋ジストロフィー患者の理想的な診療科移行に向けた取り組み

○七字美延¹, 石垣景子¹, 村上てるみ¹, 森まどか², 村田美穂², 佐藤孝俊¹, 石黒久美子¹, 大澤真木子¹, 永田 智¹

東京女子医科大学病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター²

P-111 Ullrich 型先天性筋ジストロフィーにおける呼吸機能の検討

○山本寿子, 石山昭彦, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 中川栄二, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター小児神経科

P-112 筋強直性ジストロフィー 1 型のキャリアオーバー 3 例の支援

○前澤真理子¹, 堂本洋一², 玉田耕一², 園田さとみ², 西村 甲³, 本城美智恵⁴, 上石晶子⁵, 木実谷哲史⁵

鶴見大学短期大学部¹, 伊勢慶友病院², 鈴鹿医療科学大学³, 下田メディカルクリニック⁴, 島田療育センター⁵

19:00～19:30 一般演題 (ポスター) (S334)
筋 3

モデレーター 大谷宜伸 (熊本市子ども発達支援センター)

P-113 胸腺摘除術後クリーゼに対し単回の免疫グロブリン大量静注療法で寛解を得た重症全身型重症筋無力症の 1 例

○久保田淳¹, 松浦隆樹^{1,2}, 大場温子¹, 浜野晋一郎²

東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

P-114 長期入所中の神経筋疾患患者における麻疹・風疹抗体価の検討

○糸見世子, 鈴木理恵, 向田壮一, 白石一浩

独立行政法人国立病院機構宇多野病院小児神経科

P-115 高 CK 血症を呈した線維筋痛症の 1 例

○赤池洋人, 河野美奈, 加藤 敦, 近藤英輔

川崎医科大学小児科

P-116 24 時間持続非侵襲的陽圧換気療法で呼吸管理できている乳児重症型ミオチューブラーミオパチーの症例

○井上賢治, 熊田知浩, 柴田 実, 日衛嶋郁子, 野崎章仁, 林 安里, 森 未央子, 佐々木彩恵子, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-117 DYNC1H1 遺伝子異常により生じた脳形成異常を伴う下肢優位型脊髄性筋萎縮症

○福村 忍¹, 川村健太郎¹, 二階堂弘輝¹, 舘 延忠¹, 堤 裕幸¹, 内山由理², 松本直通²

札幌医科大学医学部小児科¹, 横浜市立大学医学研究科遺伝学²

P-118 脊髄性筋萎縮症 2 型, 3 型における側弯と呼吸機能の経時的変化

○米衛ちひろ, 石山昭彦, 山本寿子, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 中川栄二, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

P-119 原因不明の発熱を繰り返した悪性症候群の一例

○田島大輔, 佐藤忠司

国立病院機構嬉野医療センター小児科

P-120 全エクソーム解析により MEGF10 myopathy と診断された一例

○向田壮一¹, 鈴木理恵¹, 糸見世子¹, 三橋里美², 高山和子², 西野一三², 白石一浩¹

宇多野病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²

P-121 高クレアチンキナーゼ血症を伴う筋疾患の診断法についての検討

○岩渕恵美, 石山昭彦, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行

国立精神・神経医療研究センター小児神経科

P-122 演題取り下げ

P-123 脊髄性筋萎縮症 I 型にてんかんを合併した 1 例

○森田志穂, 丸金拓蔵, 石原正行, 大石 拓, 細川卓利, 藤枝幹也

高知大学医学部附属病院小児科

18:00~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S338)

画像 1

モデレーター 森 雅人 (松戸市立病院小児科)

P-124 明らかな誘因なく中心性頸髄損傷を呈した Chiari 奇形 1 型の 1 歳女児

○塩田 恵^{1,2}, 金井瑞恵², 森 雅人², 津留智彦²心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 松戸市立病院小児医療センター小児科²

P-125 アスペルガー症候群における magnetic resonance spectroscopy を用いた脳神経代謝物質測定の有効性

○郷司 彩¹, 伊藤弘道¹, 森 健治², 原田雅史³, 久岡園花³, 東田好広¹, 森 達夫¹, 阿部容子¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部子どもの保健看護学科², 徳島大学医学部放射線科³

P-126 けいれん重積型脳症様の画像所見を呈した高サイトカイン型インフルエンザ脳症の一例

○一宮優子¹, 實藤雅文², 酒井康成¹, 赤峰 哲¹, 鳥尾倫子¹, 李 守永³, 石崎義人¹, 笹月桃子¹, 鳥巢浩幸⁴, 高田英俊¹九州大学大学院医学研究院成長発達医学¹, 九州大学環境発達医学研究センター², 福岡市立こども病院集中治療科³, 福岡歯科大学小児科⁴

P-127 大脳白質異常を認めた FOXP1 遺伝子変異の 1 例

○多田弘子¹, 三宅紀子², 今川英里², 才津浩智^{2,3}, 松本直通², 高梨潤一³千葉県済生会習志野病院小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学², 東京女子医科大学八千代医療センター小児科³

P-128 インフルエンザ感染を契機に発症し脳萎縮を来したけいれん重積型急性脳症 (AESD) の拡散テンソル画像の推移

○石垣英俊, 宮城佳史, 朝比奈美輝, 松林朋子, 福田冬季子

浜松医科大学小児科

P-129 経時的な頭部 MRI 所見から診断した乳児型 Alexander 病の 1 例

○大内勇児¹, 及川善嗣², 大久保幸宗², 植松有里佳², 佐藤寛記², 鈴木 智^{1,2}, 佐藤 亮², 菊池敦生², 福與なおみ², 植松 貢², 呉 繁夫²宮城県立こども病院¹, 東北大学病院小児科²

P-130 倒立を契機に脊髄梗塞を発症した 11 歳女子例

○古賀沙織, 塩浜 直, 藤井克則, 福原知之, 池原 甫, 奥主健太郎, 斎藤直樹, 江畑亮太, 下条直樹

千葉大学大学院医学研究院小児病態学

P-131 脳血流 SPECT により潜在性病変を描出できた可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎脳症 (MERS) の 1 例

○永瀬静香, 親里嘉展, 金川温子, 中尻智史, 沖田 空, 西山敦史

加古川西市民病院小児科

P-132 HHV-6 が原因と考えられた acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion に海馬病変を認めた 1 例

○松田卓也, 島川修一, 利川寛実, 畑中マリ, 福井美保, 玉井 浩

大阪医科大学小児科

P-133 当院における全身性エリテマトーデス小児例の脳血流画像の後方視的検討

○牧岡西紀, 村松一洋, 澤浦法子, 緒方朋実, 荒川浩一

群馬大学大学院医学系研究科小児科

18:30~19:00 一般演題 (ポスター)..... (S341)

画像 2

モデレーター 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

P-134 ヒト下オリブ核複合体の発達: コンピューター 3 次元再構築学的検討

○山口勝之

獨協医科大学病理学形態, 総合南東北病院小児科

P-135 発達に問題なく無熱性けいれんで発見された裂脳症の 16 歳女性

○飯田由紀子, 小俣 卓, 渡辺 淑, 児玉一男

千葉県こども病院神経科

P-136 多様なてんかん発作型を示した脳室周囲結節性異所性灰白質を伴う全前脳胞症の 1 例

○鈴木基正, 植原 翔, 青木雄介, 糸見和也

あいち小児保健医療総合センター神経科

P-137 傍シルビウス裂症候群に伴う異所性灰白質の一例

○谷口英里奈¹, 唐澤直希¹, 中谷圭吾¹, 愛甲浩志², 小玉隆男³宮崎県立宮崎病院小児科¹, 宮崎生協病院小児科², 宮崎県立宮崎病院放射線科³

P-138 Leukoencephalopathy with calcifications and cysts の 9 歳男児例の報告

○西田裕哉¹, 熊田聡子¹, 内野俊平¹, 水野朋子¹, 白井育子¹, 栗原栄二¹, 高梨潤一², 松本直通³
 東京都立神経病院神経小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

P-139 当院における 2 歳未満の転倒, 転落による頭部外傷の検討

○藤田貴子¹, 井手口 博¹, 川谷恵里¹, 友納優子¹, 井原由紀子¹, 井上貴仁¹, 廣瀬伸一¹, 安元佐和²
 福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学医学教育推進講座²

P-140 発熱, 左共同偏視で発症し, 脳 MRI で視床病変を認めた日本脳炎の 10 か月男児例

○西村竜哉¹, 荒畑幸絵¹, 北澤克彦¹, 本多昭仁¹, 藤井克則²
 国保旭中央病院小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²

P-141 右脳室上衣下嚢胞と脳室内隔壁を呈したビルビン酸脱水素酵素複合体欠損症の女児例

○青木雄介¹, 糸見和也¹, 檜原 翔¹, 鈴木基正¹, 三浦清邦²
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 豊田市こども発達センター小児神経科²

P-142 Rett 症候群における頭部 MRI での脳幹面積の検討

○安西有紀¹, 林 雅晴¹, 長尾ゆり¹, 木村一恵¹, 星野恭子¹, 大場 洋²
 小児神経学クリニック¹, 帝京大学医学部放射線科²

P-143 Walker-Warburg 症候群に類似した頭部画像がみられた 3 症例

○大橋 伯¹, 遠山 潤², 木下 悟³
 新潟大学医歯学総合病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科², 国立病院機構新潟病院小児科³

P-144 異なる機序により発症した小児脳梗塞の 3 例

○嶋 泰樹¹, 安部信平¹, 松島奈穂¹, 五十嵐鮎子¹, 池野 充¹, 新島新一², 清水俊明¹
 順天堂大学医学部附属順天堂医院¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院²

19:00~19:30 一般演題 (ポスター) (S345)**神経変性疾患****モデレーター 豊島光雄 (サンタこどもクリニック)****P-145 多動, 軽度知的障害と白内障を認めた色素性乾皮症 D 群の小児例**

○松林朋子¹, 伊藤祐介¹, 林 壽樹¹, 宮城佳史¹, 朝比奈美輝¹, 彦谷明子², 青島正浩³, 森脇真一⁴, 福田冬季子¹
 浜松医科大学医学部小児科¹, 浜松医科大学医学部眼科², 浜松医科大学医学部皮膚科³, 大阪医科大学医学部皮膚科⁴

P-146 ミトコンドリア DNA324G>A 遺伝子変異を認めたミトコンドリア脳筋症の 1 女児例

○伊藤昌弘¹, 玉木久光¹, 立岡祐司², 西野一三³, 後藤雄一³, 春日悠岐¹, 川口忠恭¹
 都立墨東病院小児科¹, 都立東部療育センター小児科², 国立精神・神経医療・研究センター神経研究所³

P-147 頭蓋内圧亢進症状で発症した megalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cyst 類似の画像を呈した女児例

○梶本まどか¹, 井上裕文¹, 小林 光¹, 向野文貴¹, 山田紘子¹, 岡 桃子¹, 松重武志¹, 野村貞宏², 高梨潤一³, 野崎洋明⁴, 才津浩智⁵, 松本直通⁵, 大賀正一¹
 山口大学大学院医学系研究科小児科¹, 山口大学大学院医学系研究科脳神経外科², 東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科³, 新潟大学脳研究所臨床神経科学神経内科⁴, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁵

P-148 IGHMBP2 遺伝子に複合ヘテロ変異を認めた spinal muscular atrophy with respiratory distress type 1 の一例

○佐藤仁志^{1,3}, 安井良僚², 新井田 要³, 真田 充⁴, 秋田千里¹, 小林あずさ¹, 池野観寿¹, 河野美幸², 犀川 太¹
 金沢医科大学医学部小児科¹, 金沢医科大学医学部小児外科², 金沢医科大学病院遺伝子医療センター³, 金沢医科大学医学部神経内科⁴

P-149 皮質障害を伴う白質変性と末梢神経障害を来した FOLR1 遺伝子変異による中枢性葉酸欠乏症の 1 例

○小林 悠¹, 小松原孝夫¹, 眞柄慎一¹, 岡崎健一¹, 遠山 潤¹, 秋山倫之², 才津浩智³, 松本直通³
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 岡山大学病院小児神経科², 横浜市立大学医学部遺伝学教室³

P-150 皮膚筋炎と間質性肺炎を合併した A 群色素性乾皮症の男児例

○本島敏乃^{1,2}, 牧岡西紀¹, 澤浦法子¹, 村松一洋¹, 林 雅晴³, 荒川浩一¹
 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野¹, 本島総合病院小児科², 東京都医学研脳発達・神経再生³

- P-151 思春期に発症し急速に進行した筋萎縮性側索硬化症の 1 例**
○下田木の実¹, 葛西真梨子¹, 太田さやか¹, 水野葉子¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅²
東京大学医学部小児科¹, 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医学講座²
- P-152 小児交代性片麻痺における ATP1A3 遺伝子 G755S 変異の一例**
○伊藤智城¹, 鳴神雅史¹, 江川 潔¹, 山本啓之¹, 香坂 忍¹, 石井敦士², 廣瀬伸一², 白石秀明¹
北海道大学病院小児科¹, 福岡大学医学部小児科²
- P-153 睡眠時てんかん重積状態様の脳波所見を認めた歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症の 1 例**
○森山 薫¹, 里 龍晴¹, 井上大嗣¹, 原口康平¹, 渡邊聖子^{1,2}, 渡邊嘉章^{1,3}, 森内浩幸¹
長崎大学病院小児科¹, 済生会長崎病院², 長崎みなとメディカルセンター市民病院³
- P-154 麻疹様ウイルス感染症および血球貪食性リンパ球組織球症 (HLH) 後に長期間の意識障害と免疫介在性ニューロパチーを合併した 1 例**
○植松賢司, 座波清誉, 中村康子, 松本 浩
防衛医科大学校小児科
- P-155 経時的な小脳萎縮の画像変化をとらえた CACNA1A 遺伝子変異の 2 例**
○露崎 悠¹, 池田 梓¹, 高嶋裕美子¹, 渡邊肇子¹, 市川和志¹, 辻 恵¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 才津浩智³, 松本直通³, 後藤知英¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター放射線科², 横浜市立大学医学部遺伝学³

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S348)

代謝性疾患 1

モデレーター 三牧正和 (帝京大学小児科)

- P-156 Charcot-Marie-Tooth 病の遺伝子解析の結果, Krabbe 病原因遺伝子変異が検出された 1 例**
○藤井達哉¹, 野崎章仁¹, 熊田知浩¹, 樋口雄二郎², 橋口昭大², 高嶋 博², 苛原 香³, 酒井規夫⁴
滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 鹿児島大学医歯学部神経内科老年病学², 大阪大学医学部小児科³, 大阪大学医学部保健学科⁴
- P-157 Lesch-Nyhan 症候群患者の自傷行為に対する S-アデノシルメチオニンの使用経験**
○戸川雅美¹, 斎藤義朗², 前垣義弘², 大野耕策³
鳥取県立中央病院小児科¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科², 山陰労災病院小児科³
- P-158 低酸素性虚血性脳症による脳性麻痺と診断されていた PDHC 欠損症の 1 例**
○佐々木宏太¹, 熊倉 啓¹, 後藤雄一², 中井理恵², 秦 大資¹
田附興風会医学研究所北野病院¹, 大阪大学医学部小児科²
- P-159 Krabbe 病の遺伝子変異は乳児型と成人型に大別され, 各臨床病型は 2 つの変異の残存酵素活性の総和と相関する**
○苛原 香¹, 大友孝信¹, 近藤秀仁¹, 濱田悠介¹, 大藺恵一¹, 酒井規夫²
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科保健学²
- P-160 スクシニル CoA リガーゼ欠損症の 1 例の診断経緯**
○森 未央子¹, 熊田知浩¹, 平松 有², 岡本裕嗣², 高嶋 博², 村山 圭³, 柴田 実¹, 野崎章仁¹, 日衛嶋郁子¹, 林 安里¹, 井上賢治¹, 佐々木彩恵子¹, 藤井達哉¹
滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科老年病学講座², 千葉県こども病院³
- P-161 mtDNA G13513A 変異を有する MELAS/Leigh overlap 症候群に対するアルギニン療法中の 1 例**
○川崎洋一郎¹, 西岡 誠¹, 山内翔子², 本林光雄¹, 柴 直子³, 西村貴文², 稲葉雄二¹
信州大学医学部小児科¹, まつもと医療センター中信松本病院小児科², 安曇野赤十字病院小児科³
- P-162 てんかん, 精神遅滞で発症し, 青年期の神経症状悪化から診断に至った Methylenetetrahydrofolate reductase 欠損症の 1 例**
○八谷靖夫^{1,2}, 小坂 仁³, 才津浩智⁴, 西田裕哉², 内野俊平², 水野朋子², 栗原栄二², 熊田聡子², 松本直通⁴
国立病院機構東長野病院小児科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 自治医科大学医学部小児科³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴
- P-163 CLN10 変異による late infantile 神経セロイドリポフスチン症の 1 例: 長期臨床経過について**
○江添隆範¹, 西條晴美¹, 曾根 翠¹, 荒木克仁¹, 鈴木文晴¹, 倉田清子¹, 才津浩智²
東京都立東大和療育センター¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-164 遺伝子検査で確定した神経セロイドリポフスチン症 10 の 1 例: 長期臨床経過について**
○江添隆範¹, 西條晴美¹, 曾根 翠¹, 荒木克仁¹, 鈴木文晴¹, 倉田清子¹, 才津浩智²
東京都立東大和療育センター¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

P-165 てんかん性スパズムのコントロールに難渋した非ケトン性高グリシン血症の一例

○加藤明子¹, 黒田文人¹, 中川裕康¹, 横井彩乃¹, 三谷裕介¹, 新井田要²
金沢大学医薬保健研究域医学系小児科¹, 金沢医科大学病院遺伝子医療センター²

18:30~19:00 一般演題 (ポスター) (S352)

代謝性疾患 2

モデレーター 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

P-166 ペルオキシソーム形成異常症である乳児型 Refsum 病に対し生体肝移植を施行した一例

○熊谷淳之¹, 柿本 優¹, 八鍬瑛子¹, 武井 剛¹, 竹中 暁¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹, 松波昌寿², 笠原群生², 下澤伸行³
成育医療研究センター神経内科¹, 成育医療研究センター臓器移植センター², 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野³

P-167 周産期障害による脳性麻痺としてフォローしていた Lesch-Nyhan 症候群の 1 例

○豊野美幸¹, 沢石由記夫¹, 齋藤加代子², 谷口敦夫³
秋田県立医療療育センター小児科¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター², 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター³

P-168 SLC2A1 遺伝子変異をもつ母親から出生した GLUT-1 欠損症の姉妹に対する早期診断と治療

○中務秀嗣¹, 伊藤 康^{1,2}, 竹下暁子¹, 平澤恭子¹, 高橋 悟³, 小国弘量¹, 永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 総合母子保健センター愛育病院小児科², 旭川医科大学小児科³

P-169 Whole-exome 解析により診断したアスバラギン合成酵素欠損症の変異機能解析

○山本崇裕^{1,2,3}, 大西秀典², 久保田一生^{2,3}, 西村紗織^{2,3}, 笠原由貴子^{2,3}, 折居建治^{2,3}, 今村 淳⁴, 才津浩智⁵, 松本直通⁵, 深尾敏幸^{2,3}
岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学², 岐阜大学医学部附属病院新生児集中治療部³, 岐阜県総合医療センター小児科⁴, 横浜市立大学大学院医学研究科環境分子医科学 (遺伝学)⁵

P-170 非けいれん性てんかん重積状態 (NCSE) を疑ったオルニチントランスカルバミラーゼ (OTC) 欠損症の女児例

○木村貞美¹, 林 良子¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 鈴木保宏¹, 東川幸嗣², 岡本伸彦³
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, 清恵会病院小児科², 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科³

P-171 当科における代謝性神経疾患の診断と転帰について

○衛藤 薫, 伊藤 康, 石垣景子, 舟塚 真, 小国弘量, 大澤真木子, 永田 智
東京女子医科大学小児科

P-172 詳細な病歴聴取により早期に診断したグルコーストランスポーター 1 異常症新生児の一例

○岩永 晃, 田島大輔, 佐藤忠司
国立病院機構嬉野医療センター小児科

P-173 啼泣後、容易に心停止する Menkes 病の 1 例

○須田正勇¹, 下村 豪¹, 七種朋子², 弓削康太郎¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹
久留米大学小児科¹, 聖マリア病院小児科²

P-174 ヘテロ接合性変異を認めた Tyrosine hydroxylase 欠損症: ドーパ反応性ジストニアの一女児例

○桑原こずえ¹, 城賀本敏宏¹, 福田光成², 宮本真知子¹, 石田也寸志¹, 石井榮一², 新宅治夫³
愛媛県立中央病院小児科¹, 愛媛大学小児科², 大阪市立大学小児科³

P-175 腎機能障害出現後に多彩な神経症状を呈した m.13513G>A に起因するミトコンドリア病の一例

○田原麻由¹, 日暮憲道¹, 飯島正紀¹, 平野大志¹, 菊池健二郎¹, 後藤雄一², 石山昭彦³, 浜野晋一郎⁴
東京慈恵会医科大学小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部², 国立精神・神経医療研究センター小児神経科³, 埼玉県立小児医療センター神経科⁴

19:00~19:30 一般演題 (ポスター) (S355)

腫瘍・血管障害

モデレーター 稲垣隆介 (茨城県立こども病院小児脳神経外科)

P-176 小脳炎発症後に、可逆性脳血管攣縮症候群様の画像を呈した 1 例

○及川善嗣¹, 植松 貢¹, 大久保幸宗¹, 植松有里佳¹, 北村太郎², 相原 悠², 高柳 勝², 高橋幸利³, 呉 繁夫¹
東北大学病院小児科¹, 仙台市立病院小児科², 国立静岡てんかん・神経医療センター小児科³

- P-177 生後より嘔吐発作を繰り返した Lhermitte-Duclos disease の 1 例**
○ 仙川知香¹, 本田涼子¹, 小野智恵², 戸田啓介², 小出憲呼¹, 安 忠輝¹, 田中茂樹¹, 馬場啓至²
国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科²
- P-178 左小脳脳動脈奇形を合併した結節性硬化症の 1 例**
○ 鶴澤礼実, 林 仁美, 倉田佐和, 中尾あい子, 小川 厚
福岡大学筑紫病院小児科
- P-179 キャッチボール中に発症した中脳周囲非動脈瘤性くも膜下出血の 9 歳男児例**
○ 佐藤 彩
彦根市立病院小児科
- P-180 外傷後頸動脈解離による脳梗塞の 2 歳男児：既報告例の集積と考察**
○ 沖 剛, 天本正乃, 岡島祥憲, 小野友輔, 小野佳代, 八坂龍広, 富田一郎, 富田芳江, 村上知恵,
松島卓哉, 山根浩昌, 今村徳夫, 石橋紳作, 神園淳司, 市川光太郎
北九州市立八幡病院小児救急センター
- P-181 結節性硬化症におけるエベロリムス治療の経験**
○ 細谷まち子
佐久総合病院佐久医療センター小児科
- P-182 背伸びをして脊髄梗塞を発症した 6 歳女児**
○ 竹中 暁, 柿本 優, 八鍬瑛子, 武井 剛, 熊谷淳之, 寺嶋 宙, 久保田雅也
国立成育医療研究センター病院器官病態系内科部神経内科
- P-183 生後 3 か月時に脳梗塞を発症した神経線維腫症 1 型疑いの 1 男児例**
○ 近藤博章¹, 杉本篤哉¹, 森岡茂己¹, 平野聡子¹, 石原靖紀¹, 春木伸一¹, 石原義紀¹, 川谷正男²,
巨田元礼²
福井愛育病院小児科¹, 福井大学医学部附属病院小児科²
- P-184 プロテイン S 欠乏症に伴う小児脳幹梗塞の 1 例**
○ 小林 光, 井上裕文, 岡 桃子, 梶本まどか, 松重武志, 大賀正一
山口大学大学院医学系研究科小児科
- P-185 両側内頸動脈終末部に動脈瘤を形成したもやもや病の乳児例**
○ 田中亮介¹, 岡野聡美¹, 岡山亜貴恵¹, 鈴木葉生¹, 高橋 悟¹, 東 寛¹, 呉 繁夫²
旭川医科大学小児科¹, 東北大学大学院医学研究科小児病態学分野²
- P-186 泣き入りひきつけを主訴に来院し、モヤモヤ病が疑われた 4 歳男児**
○ 原田こずえ¹, 吉田 登², 中澤友幸⁴, 新島新一², 徳川城治³, 菱井誠人³, 呉 繁夫⁵
武蔵村山病院小児科¹, 順天堂大学医学部附属病院練馬病院小児科², 同脳神経外科³, 東京都保健
医療公社豊島病院小児科⁴, 東北大学病院小児科⁵
- 18:00~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S359)**
末梢神経
- モデレーター 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)**
- P-187 片側上肢で発症した Acute motor sensory axonal neuropathy の一例**
○ 仲村貞郎, 大城あずさ, 玉城邦人
琉球大学小児科
- P-188 発症早期の免疫グロブリン療法が奏功した軸索型ギラン・バレー症候群の一例**
○ 蒲ひかり¹, 藤原 祐¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 山本亜矢子², 大山宣孝²
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科¹, 済生会横浜市東部病院小児科²
- P-189 先天性内反足を伴う運動感覚性ニューロパチー 6 例の検討**
○ 安西真衣¹, 佐藤 亮², 竹澤祐介¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 田中佳子³, 萩野谷和裕¹
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学病院小児科², 仙台赤十字病院小児科³
- P-190 アスコルビン酸を使用した Charcot-Marie-Tooth 病 1A 小児例の検討**
○ 水落弘美^{1,2}, 藤井克則², 福原知之², 池原 甫², 塩浜 直², 内川英紀^{1,2}, 下条直樹²
東千葉メディカルセンター小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²
- P-191 末梢神経の髄鞘化を再現する新しい培養モデルの構築**
○ 植松有里佳^{1,2}, 若月修二², 境 和久³, 戸紀孝³, 植松 貢¹, 呉 繁夫¹, 荒木敏之²
東北大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 5 部², 国立精
神・神経医療研究センター神経研究所微細構造研究部³
- P-192 小児期発症の multifocal acquired demyelinating sensory and motor neuropathy (MADSAM) の 2 例**
○ 内野俊平¹, 深沢達也², 熊田聡子¹, 西田裕哉¹, 水野朋子¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹
東京都立神経病院神経小児科¹, 安城更生病院小児科²

- P-193 先天性ミオパチーとして長期フォローされていた先天性筋無力症候群の兄弟例**
 ○一ノ瀬文男¹, 松尾宗明², 小杉雅史³, 樋口 理⁴, 奥野達矢⁵, 大野欽司⁵
 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館小児科¹, 佐賀大学医学部附属病院小児科², 佐賀大学医学部神経内科³, 国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部⁴, 名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学⁵
- P-194 タクロリムスが有効であった難治性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の一例**
 ○武下草生子, 蒲ひかり, 藤原 祐, 渡辺好宏
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター
- P-195 自律神経障害による重篤な洞性頻脈に対して短時間作用型 β 遮断薬が有効であった劇症型 Guillain-Barré 症候群の 3 歳女児**
 ○赤坂真奈美, 亀井 淳, 荒谷菜海, 谷藤幸子, 浅見麻耶, 千田勝一
 岩手医科大学小児科
- P-196 てんかん患者における長期的ビタミン B6 療法は末梢神経に有害な影響を与えるか?**
 ○井上拓志, 柴田 敬, 遠藤文香, 岡 牧郎, 秋山倫之, 小林勝弘, 吉永治美
 岡山大学病院小児神経科
- P-197 当科で経験した IGHMBP2 遺伝子に変異のない SMARD1 症例**
 ○白井謙太郎¹, 横山はるな⁴, 白久博史⁴, 山本敦子¹, 南風原明子¹, 大黒春夏², 中山智博², 渡辺章充¹, 齋藤真木子³, 水口 雅³
 土浦協同病院小児科¹, 茨城県立医療大学小児科², 東京大学大学院医学系研究科発達医学³, 取手協同病院小児科⁴

18:30~19:00 一般演題 (ポスター) (S362)
 不随意運動

モデレーター 星野恭子 (小児神経学クリニック)

- P-198 失調または筋緊張低下を伴った運動発達遅滞の検討**
 ○岡崎健一¹, 赤坂紀幸², 小松原孝夫¹, 眞柄真一¹, 小林 悠¹, 東條 恵², 遠山 潤¹
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 新潟県はまぐみ小児療育センター²
- P-199 けいれん発作を伴わず不随意運動が主体であった DRPLA の 1 例**
 ○鳥尾倫子¹, 酒井康成¹, 實藤雅文², 石崎義人¹, 鳥巢浩幸^{1,3}, 高田英俊¹
 九州大学大学院成長発達医学分野¹, 九州大学環境発達医学研究センター², 福岡歯科大学小児科³
- P-200 発作性運動誘発性ジスキネジア (PKD) を呈し, 特発性基底核石灰化症 (IBGC) の診断に至った 11 歳女児例**
 ○大林梨津子, 岩崎博樹, 大澤由記子, 玉川公子, 小保内俊雅
 東京都保健医療公社多摩北部医療センター小児科
- P-201 特徴的な不随意運動を主訴に受診し, 基底核脳腫瘍と診断した 8 歳男児例**
 ○石田倫也¹, 白井宏幸^{1,2}, 土岐 平², 岩崎俊之², 石井正浩²
 相模台病院小児科¹, 北里大学医学部小児科²
- P-202 生下時より不随意運動を認め, 驚愕病が疑われた 1 例**
 ○中澤美賀^{1,2}, 池野 充², 安部信平², 五十嵐鮎子², 中澤友幸^{2,3}, 竹谷 健⁴, 奥村彰久⁵, 新島新一⁶, 清水俊明²
 賛育会病院小児科¹, 順天堂大学小児科², 豊島病院小児科³, 島根大学小児科⁴, 愛知医科大学小児科⁵, 順天堂大学練馬病院小児科⁶
- P-203 発作性運動誘発性ジスキネジアを認めたもやもや病 10 歳女児例**
 ○森宗孝夫, 吉田 忍, 石川珠代, 西澤嘉四郎
 近江八幡市立総合医療センター小児科
- P-204 小児期発症レストレスレッグス症候群 (RLS) の臨床像**
 ○長尾ゆり¹, 木村一恵¹, 八森 啓¹, 林 雅晴², 星野恭子¹
 小児神経学クリニック¹, 東京都医学研脳発達神経再生²
- P-205 鉄剤の投与で症状改善がみられた発作性非運動誘発性ジスキネジアの 1 例**
 ○津田祐子, 田村 彰, 南 弘一
 和歌山県立医科大学小児科
- P-206 乳児期早期より運動発達遅滞を示した Lesch-Nyhan 症候群の男児例**
 ○百崎 謙, 榎木朋子, 小篠史郎, 野村恵子
 熊本大学医学部小児科

19:00~19:30 一般演題 (ポスター)..... (S365)

自律神経, 頭痛

モデレーター 西村 陽 (京都第一赤十字病院新生児科, 京都府立医科大学小児科)

P-207 髄液圧が 1000 mmH₂O であったが内科的治療が奏功した特発性頭蓋内圧亢進症の一例

○野田麻里絵, 園田有里, 武本環美

国家公務員共済組合連合会浜の町病院小児科

P-208 漢方薬治療 (五苓散・呉茱萸湯同時投与) を用いた急性頭痛に対する 10 分間トリアージについて

○松田 正

医療法人正統和会みさとファミリークリニック

P-209 網膜片頭痛の小児例

○疋田敏之

ひきた小児科クリニック

P-210 Acute confusional migraine における発作時 arterial spin labeling MRI

○渡邊嘉章^{1,2}, 原口康平², 里 龍晴², 渡邊聖子³, 西口奈菜子⁴, 森内浩幸², 井手口怜子⁵長崎みなとメディカルセンター市民病院小児科¹, 長崎大学病院小児科², 済生会長崎病院小児科³,佐世保市立総合病院⁴, 長崎大学病院放射線科⁵

P-211 小児の慢性頭痛に対する半夏白朮天麻湯の有用性 第 2 報

○栗原栄二, 内野俊平, 白井育子, 八谷靖夫

東京都立神経病院神経小児科

P-212 ATP1A2 遺伝子変異が同定された孤発性片麻痺性片頭痛の 1 例

○大見 剛^{1,2}, 平山良道¹, 山崎佐和子³, 石井敦士⁴, 廣瀬伸一⁴那覇市立病院小児科¹, ちばなクリニック小児科², 長岡療育園小児科³, 福岡大学医学部小児科⁴

P-213 自己免疫性自律神経節障害 (autoimmune autonomic ganglionopathy: AAG) の 2 症例

○前田寿幸¹, 富野広通¹, 平原恵子¹, 田島大輔¹, 松尾宗明¹, 小杉雅史², 中根俊成³, 樋口 理⁴佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀大学医学部神経内科², 熊本大学医学部神経内科³, 国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部⁴

P-214 当院における小児頭痛外来患者の検討

○竹下美佳, 山中 岳, 小穴信吾, 石田 悠, 森地振一郎, 森下那月美, 浦部智美, 宮島 祐,

河島尚志

東京医科大学小児科

P-215 激しい頭痛を呈した蝶形骨洞炎の 2 例

○中澤友幸¹, 中尾彰裕¹, 栗屋敬之¹, 池野 充², 安部信平², 吉田 登³, 山下進太郎³, 新島新一³,清水俊明²東京都保健医療公社豊島病院小児科¹, 順天堂大学医学部小児科², 順天堂大学練馬病院小児科³

第 2 日目 第 1 会場

8:50~9:35 特別講演 3 ～Fukuyama Memorial Lecture～……………(S110)

Progress and challenges in the understanding of early epileptic encephalopathies

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

講演 Raman Sankar (Pediatric Neurology, David Geffen School of Medicine UCLA Los Angeles, California, USA)

9:50~11:40 シンポジウム 7: 共催 グラクソ・スミスクライン株式会社……………(S144)

Young Investigator's Session

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

- 1) 難治頻回部分発作重積型急性脳炎: 30 年間の軌跡
佐久間啓 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト)
- 2) iPS 細胞技術を用いた神経疾患解析と治療法開発
赤松和土 (順天堂大学大学院医学系研究科ゲノム・再生医療センター)
- 3) 神経代謝疾患の診断体制の確立に向けて
秋山倫之 (岡山大学病院小児神経科, 岡山大学病院てんかんセンター)
- 4) 情熱, 創造と探究心で展開する医学研究～こども達の未来のために～
村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)
- 5) 福山型先天性筋ジストロフィーに対するアンチセンス治療
池田真理子 (神戸大学医学部小児科)

11:50~12:50 ランチョンセミナー 9: 共催 日本イーライリリー株式会社……………(S214)

ADHD の治療再考

座長 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター外来療育)

講演 宮尾益知 (どんぐり発達クリニック)

第 2 日目 第 2 会場

7:40~8:40 共同研究支援委員会主催セミナー……………(S187)

第一部: 日本小児神経学会が支援する共同研究

座長 萩野谷和裕 (宮城県立子ども病院・拓桃医療療育センター)

森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

- 1) ATR-X 症候群の臨床研究
和田敬仁¹, 塩田倫史², 福永浩司², 杉山 弘³, 田辺秀之⁴, 岡本伸彦⁵, 黒澤健司⁶, 新保裕子⁶
(京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野¹, 東北大学大学院薬学研究科², 京都大学大学院理学研究科³, 総合研究大学院大学⁴, 大阪母子保健総合医療センター⁵, 神奈川県立こども医療センター⁶)
- 2) 脳クレアチン欠乏症の臨床研究
和田敬仁¹, 小坂 仁², 相田典子³, 後藤知英⁴, 露崎 悠⁴, 新保裕子⁴, 加藤秀一⁵, 高野亨子⁶, 大槻純男⁷, 伊藤慎悟⁷, 立川正憲⁸, 黒澤裕子⁹
(京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野¹, 自治医科大学小児科², 神奈川県立こども医療センター放射線科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 神奈川県立精神医療センター⁵, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座⁶, 熊本大学大学院生命科学研究部⁷, 東北大学大学院薬学研究科⁸, 東京医科大学健康増進スポーツ医学分野⁹)
- 3) 進行性大脳白質障害の遺伝子診断と疾患概念の確立
山本俊至¹, 森本昌史², 折居建治³, 土井 宏⁴, 田中竜太⁵, 山下博史⁶
(東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 京都府立医科大学小児科², 岐阜大学小児科³, 横浜市立大学神経内科学⁴, 筑波大学小児科⁵, 京都大学神経内科⁶)

9:50~11:40 共同研究支援委員会主催セミナー..... (S189)

第二部：エキスパートに聞く：日本小児神経学会が行うべき共同研究のあり方について

座長 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

1) 日本医療研究開発機構の挑戦：難病・未診断疾患から始まる研究開発の改革

末松 誠 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

2) 日本小児神経学会と小児未診断疾患イニシアチブ (IRUD-P)

松原洋一 (国立成育医療研究センター研究所)

11:50~12:50 ランチョンセミナー 10：共催 大塚製薬株式会社..... (S214)

身の回りに潜むカルニチン欠乏症

座長 後藤雄一 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)

講演 大竹 明 (埼玉医科大学小児科)

13:00~14:50 シンポジウム 10..... (S153)

小児てんかん患者の成人期移行を取り巻く諸問題

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

1) 小児期てんかん患者の成人診療科へのトランジションの問題

ー大学病院と市中病院における問題の類似・相違点を中心にー

安部信平 (順天堂大学医学部小児科)

2) てんかん診療における小児科から成人科へのトランジション

中里信和 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

3) 小児てんかんの成人へのかけ橋を築く

渡辺雅子 (新宿神経クリニック)

4) 小児神経科医が知っておくべき精神症状

平野嘉子 (成田赤十字病院精神神経科, 東京女子医科大学小児科)

14:50~16:40 シンポジウム 13..... (S162)

次世代の小児神経科医を育てるために～女性の立場から～

座長 桒中征哉 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)

三池輝久 (兵庫県立リハビリテーション中央病院)

1) 患者さんとご家族に支えられ、励まされ、育てて頂いて：福山型先天性筋ジストロフィー再考

大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

2) プロフェッショナルということ

桃井真里子 (国際医療福祉大学病院, 国際医療福祉大学)

3) 女性医師の未来は明るい

大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター旭川児童院小児神経科)

4) お姫さまとお嫁さん, お嬢さんと女王さまのあいだ

加我牧子 (東京都立東部療育センター, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

5) 診療所から小児神経専門医療に挑む一女性医師と視点も捉えて

石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

6) ワークライフバランスを上手にとるために

児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

17:00~17:45 会員総会

17:45~18:15 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演

第 2 日目 第 3 会場

7:30~8:20 モーニングセミナー 1: 共催 高田製薬株式会社……………(S218)

熱性けいれん診療ガイドライン 2015 をどう活かすか

座長 夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)
講演 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

9:50~11:40 シンポジウム 8……………(S147)

結節性硬化症の現状と今後

座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)
樋野興夫 (順天堂大学医学部病理・腫瘍学)

- 1) 結節性硬化症にともなう自閉症の薬物治療
水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
- 2) 結節性硬化症に対するてんかん外科治療
菅野秀宣¹, 新島新一², 中島 円¹, 安部信平¹, 池野 充¹, 五十嵐鮎子¹, 山下進太郎², 中澤美賀¹
(順天堂大学医学部脳神経外科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科²)
- 3) 小児神経科医が中心となる結節性硬化症の包括的診療
岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)
- 4) 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫の診断, 判断, 決断
波多野孝史 (JR 東京総合病院泌尿器科)
- 5) 結節性硬化症の新しいメカニズムと治療薬
山形要人 (東京都医学総合研究所シナプス可塑性)

11:50~12:50 ランチョンセミナー 11: 共催 ノバルティス ファーマ株式会社……………(S215)

おさえておくべき結節性硬化症

座長 三牧正和 (帝京大学医学部小児科学)

- 1) 結節性硬化症診療における検査と治療のポイント
講演 九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- 2) 自然歴を念頭に入れた結節性硬化症の診療と診療連携
講演 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

13:00~14:50 シンポジウム 11……………(S156)

小児神経疾患病態の最新理解

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

- 1) PCDH19 関連てんかんの最新事情
日暮憲道^{1,2}, 廣瀬伸一^{2,3}
(東京慈恵会医科大学小児科¹, 福岡大学てんかん分子病態研究所², 福岡大学医学部小児科³)
- 2) mTOR 病: シグナル伝達異常と分子標的治療
加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
- 3) 網羅的遺伝子診断
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
- 4) Rasmussen 症候群の最新理解
高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)

14:50~16:40 シンポジウム 14……………(S166)

小児神経疾患に対する遺伝子治療の幕開け—AADC 欠損症を中心に—

座長 加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
山形崇倫 (自治医科大学小児科)

- 1) 小児神経疾患に対する遺伝子治療実施への道のり
山形崇倫 (自治医科大学小児科)
- 2) 神経疾患に対する遺伝子治療の現状
大橋十也 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部, 東京慈恵会医科大学小児科)
- 3) 神経伝達物質病と AADC 欠損症
加藤光広 (昭和大学医学部小児科)

4) 芳香族アミノ酸脱炭酸酵素 (AADC) 欠損症に対する遺伝子治療実施例の報告

宮内彰彦¹, 小島華林¹, 多賀直行², 小野さやか³, 斎藤順一⁴, 嵯峨 泰⁵, 水上浩明⁵, 加藤光広^{6,7}, 中嶋 剛⁸, 小坂 仁¹, 村松慎一^{9,10}, 山形崇倫¹

(自治医科大学小児科¹, 自治医科大学麻酔科集中治療医学², 自治医科大学さいたま医療センター神経内科³, 宇都宮セントラルクリニック放射線科⁴, 自治医科大学分子病態治療研究センター遺伝子治療部⁵, 昭和大学医学部小児科⁶, 山形大学医学部小児科⁷, 自治医科大学脳神経外科⁸, 自治医科大学神経内科⁹, 東京大学医科学研究所遺伝子細胞治療センター¹⁰)

5) アデノ随伴ウイルスがひらく遺伝性神経疾患治療

小坂 仁¹, 中村幸恵¹, 神保恵理子¹, 村松慎一², 山形崇倫¹
(自治医科大学小児科¹, 自治医科大学神経内科²)

第 2 日目 第 4 会場

7:30~8:20 モーニングセミナー 2: 共催 エーザイ株式会社……………(S218)
ビデオで学ぶペランパネルの難治てんかん治療

座長 小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
講演 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

9:50~11:40 シンポジウム 9……………(S150)
重症心身障害児 (者) と小児神経科—10 年後を見据えての視点

座長 口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津)
岩崎信明 (茨城県立医療大学)

- 1) 重度障害児の未来のために～日本小児連絡協議会重症心身障害児 (者) ・在宅医療委員会での取り組み～
松葉佐 正 (熊本大学医学部附属病院)
- 2) 重症心身障害児 (者) の在宅医療を担う医療人材の養成と地域支援ネットワーク構築
- 鳥取大学の取り組み -
前垣義弘, 玉崎章子 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
- 3) 小児期から成人期, 生涯での医療支援を誰がどのように担うのか
三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)
- 4) 児童福祉法と障害者総合支援法における重症心身障害児者支援
大西延英 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室)
- 5) 親が夢見る 10 年後の重症心身障害児者医療
児玉真美 (一般社団法人日本ケアラー連盟)

11:50~12:50 ランチョンセミナー 12: 共催 協和発酵キリン株式会社……………(S216)
初めてのけいれん さあどうするか

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
講演 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)

13:00~14:50 シンポジウム 12……………(S159)
ポストゲノム時代の小児神経放射線

座長 青木茂樹 (順天堂大学大学院医学研究科放射線医学)
相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)

- 1) 小児神経疾患における先進的 MRI 撮像法と遺伝子学的診断
池野 充 (順天堂大学医学部小児科)
- 2) MR スペクトルスコピーで診る脳代謝
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 3) 先天代謝疾患の Snap 画像診断
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 4) MRI of Neurometabolic Disorders
A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)

14:50~16:40 シンポジウム 15..... (S169)

神経と消化器～機能性消化管障害と脳腸相関～

座長 清水俊明 (順天堂大学医学部小児科)

玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

- 1) 小児の機能性消化管疾患
中山佳子 (信州大学医学部小児科)
- 2) 脳腸相関と腸内細菌叢
永田 智 (東京女子医科大学医学部小児科)
- 3) 起立性調節障害児の消化器症状
石崎優子 (関西医科大学小児科)
- 4) 小児の機能性消化管障害の新しい検査法
細井賢二, 藤井 徹, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明 (順天堂大学医学部小児科)

第 2 日目 第 5 会場

7:10~8:40 モーニングセッション..... (S172)

発達の視点から見る脳機能～脳機能イメージングを用いた検討～

座長 宮本信也 (筑波大学人間系)

門田行史 (自治医科大学小児科)

- 1) 顔認知発達の定型・非定型
山口真美 (中央大学文学部心理学研究室)
- 2) 視線計測検出装置 (アイトラッカー) を用いた社会発達メカニズムの解明
友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
- 3) fNIRS を用いた年齢依存性脳機能変化の可視化研究 -6~14 歳の定型発達と AD/HD を対象とした検討-
門田行史 (自治医科大学医学部小児科, 国際医療福祉大学病院, 中央大学研究開発機構)
- 4) 前思春期における自己制御の脳神経基盤に関する検討
岡田直大 (東京大学医学部精神神経科)

9:40~10:40 一般演題 (口演)..... (S277)

代謝性疾患

座長 井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)

新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 (発達小児医学分野))

O-097 血清 GPI アンカー蛋白定量による先天性 GPI 欠損症スクリーニング

○高橋幸利¹, 西村成子¹, 高尾恵美子¹, 笠井理沙¹, 榎田かおる¹, 井上有史¹, 村上良子², 木下タロウ², 井上徳光³, 九鬼一郎⁴, 鈴木保宏⁵, 谷河純平⁶, 田中総一郎^{7,8}, 高山留美子⁹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 大阪大学微生物病研究所², 大阪府立成人病センター研究所³, 大阪市立総合医療センター⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター⁵, 大阪大学大学院医学系研究科小児科⁶, 東北大学医学部小児科⁷, 宮城県拓桃医療療育センター⁸, 北海道立子ども総合医療・療育センター⁹

O-098 髄液中極長鎖脂肪酸分析による副腎白質ジストロフィー移植効果判定についての検討

○本林光雄¹, 西岡 誠², 川崎洋一郎², 下澤伸行³, 稲葉雄二²
信州大学医学部新生児学講座¹, 信州大学医学部小児医学教室², 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野³

O-099 ミトコンドリア病におけるバイオマーカーとしての GDF-15 の有用性について

○植松 貢¹, 松橋徹郎¹, 植松有里佳¹, 小林朋子¹, 小坂 仁², 呉 繁夫¹, 阿部高明³
東北大学医学部小児科¹, 自治医科大学小児科², 東北大学大学院医工学研究科医学系研究科³

O-100 ニーマンピック C 病: タンデムマスによる血中オキシステロール並びにリゾスフィンゴミエリン-509 測定診断の意義に関する研究

○衛藤義勝¹, 岩本武夫², チェンウー¹, 高村歩美³, 藤崎美和¹, 柏崎雅代¹, 衛藤 薫⁴, 酒井規夫⁵
一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター&遺伝病研究所¹, 東京慈恵会医科大学基礎, 臨床講座基盤研究施設 (分子細胞生物学)², 鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻生体制御学講座³, 東京女子医科大学小児科⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学⁵

O-101 低フォスファターゼ症における中枢神経合併症の特徴

○美根 潤¹, 竹谷 健^{1,2}, 東本和紀¹, 岸 和子¹, 山口清次¹
島根大学小児科¹, 島根大学附属病院輸血部²

O-102 神経症状を呈する Wilson 病症例における治療の実態, MC-Bank 患者登録データの検討

○清水教一¹, 小川絢子¹, 三嶋典子¹, 小西弘恵¹, 徐じゅひょん², 奥山虎之², 青木継稔¹
東邦大学医療センター大橋病院小児科¹, 国立研究開発法人国立成育医療研究センター臨床検査部²

10:40~11:40 一般演題 (口演) (S279)
 血管障害

座長 呉 繁夫 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

O-103 脳動脈解離による脳梗塞の 2 例

○安西有紀, 田村友美恵, 成 健史, 神山 潤
 東京ベイ浦安市川医療センター小児科

O-104 ACTA2 遺伝子異常に伴う多系統平滑筋機能不全症の一例

○武井 剛¹, 柿本 優¹, 八鍬瑛子¹, 熊谷淳之¹, 竹中 暁¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹, 小崎里華², 堤 義之³
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター遺伝診療科², 国立成育医療研究センター放射線診断科³

O-105 小児もやもや病における予後因子の検討

○児玉一男¹, 小俣 卓¹, 飯田由紀子¹, 渡辺 淑¹, 伊藤千秋², 沼田 理², 安藤 亮², 伊達裕昭²
 千葉県こども病院神経科¹, 千葉県こども病院脳神経外科²

O-106 DN-CAS を用いた小児脳血管障害患児の認知機能の特徴

○栗嶋勇也¹, 栗原まな¹, 有賀賢典¹, 吉橋 学¹, 飯野千恵子¹, 小萩沢利孝¹, 川上克樹², 白川大平², 斉藤敏子², 大関由佳²
 神奈川リハビリテーション病院小児科¹, 神奈川リハビリテーション病院心理科²

O-107 当院で経験した脳静脈洞血栓症 6 例の臨床的・画像的検討

○池田 梓¹, 高嶋裕美子¹, 渡邊肇子¹, 露崎 悠¹, 市川和志¹, 辻 恵¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 後藤知英¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター放射線科²

O-108 小児脳血管障害における半側空間無視について

○有賀賢典, 栗原まな, 吉橋 学, 栗嶋勇也, 飯野千恵子, 小萩沢利孝
 神奈川リハビリテーション病院小児科

11:50~12:50 ランチョンセミナー 13: 共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社 .. (S216)
 症例から学ぶニーマンピック病 C 型の早期診断へのポイント

座長 高橋 勉 (秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系小児科学講座)

- 1) NP-C Suspicion Index (NPC-SI) が診断に有用であった Nieman Pick C 型の 1 例

講演 露崎 悠 (神奈川県立こども医療センター)

- 2) 胎児期より肝脾腫を認め、神経症状出現を契機に診断に至った Niemann-Pick 病 C 型の 1 例

講演 牧岡西紀 (群馬大学大学院医学研究科小児科学分野)

13:00~14:00 一般演題 (口演) (S281)
 脳性麻痺・療育

座長 荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)
 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)

O-109 色素性乾皮症とコケイン症候群の歯科的問題 - 家族会に対するアンケート調査

○林 雅晴
 東京都医学研脳発達・神経再生

O-110 重症心身障害者のメラトニンと酸化ストレスとの関係

○大越優美¹, 田沼直之¹, 福水道郎¹, 宮田理英², 佐久間 啓², 林 雅晴²
 都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学研脳発達・神経再生²

O-111 摂食嚥下機能に問題のある障害者への年齢に応じた評価・対応について

○梅村紋子, 牧 祐輝, 山田桂太郎, 丸山幸一, 麻生幸三郎
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科

O-112 長期にわたり気管切開下侵襲的人工呼吸器換気療法を受けている重症心身障害児・神経筋疾患の下気道感染症とその対応について

○山田桂太郎¹, 牧 祐輝¹, 梅村紋子¹, 丸山幸一¹, 麻生幸三郎²
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニーこばと学園²

O-113 重症心身障害児における肺内パーカッションベンチレーター導入後の経過に関する検討

○大黒春夏, 伊藤達夫, 中山智博, 前田仁美, 中山純子, 新 健治, 岩崎信明
 茨城県立医療大学付属病院小児科

**O-114 自閉症スペクトラム障害・発達性協調運動障害併存児の系列運動学習過程に関する予備的研究
～ボタン押し検査を用いた症例検討～**

○北原エリ子¹, 鋤柄知美¹, 並木裕美¹, 大石智美¹, 岩橋智史¹, 細澤真理子², 東海林宏道²,
長岡正範³

順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室¹, 順天堂大学医学部附属順天堂医院小児
科², 順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション科³

14:00～15:00 一般演題 (口演)..... (S283)
障害支援・音楽療法

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域)
鈴木直光 (筑波こどものこころクリニック小児科)

O-115 HABIT とロボットスーツ HAL[®]を用いた慢性期リハビリテーションが著効した脳梗塞後片麻痺児の一例

○松本葉子, 八木麻理子, 西村美緒, 河崎洋子
にこにこハウス医療福祉センター小児科

O-116 発達障がい児に対する音楽療法

○鈴木直光
筑波こどものこころクリニック

O-117 シート状ストレッチセンサを重度脳性麻痺者のスイッチに用いた 4 症例

○山本暁生¹, 木原健二^{1,2}, 八木麻理子^{1,2}, 松本葉子², 常石秀市^{1,3}, 大高秀夫⁴, 米澤昌弥⁴,
高田 哲¹

神戸大学大学院保健学研究科¹, にこにこハウス医療福祉センター², 医療福祉センターきずな³,
バンドー化学株式会社⁴

O-118 長崎県における小児期発症高次脳機能障害の実態調査

○渡邊聖子^{1,3}, 松坂哲應², 森内浩幸³

済生会長崎病院小児科¹, 長崎市障害福祉センター², 長崎大学医学部小児科³

O-119 発達障害者が社会参画するための支援の在り方についての考察

○塩田直樹^{1,2,3}, 松田夢子¹, 福田智文¹, 石井雅宏^{1,3}, 千手絢子¹, 高野志保^{1,3}, 藤田弘之³,
友納優子³, 鈴木聖子³, 村上知恵¹, 河野義恭³, 下野昌幸^{1,3}, 楠原浩一¹

産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社総務・人事部健康管理センター健康管理室², 北九
州市立総合療育センター小児科³

O-120 下肢麻痺の児に対する音楽療法のアプローチ

○市田幸子¹, 安部信平¹, 池野 充¹, 新島新一², 清水俊明¹

順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科²

15:00～16:00 一般演題 (口演)..... (S285)
新生児

座長 早川文雄 (岡崎市民病院脳神経小児科)
松井 潔 (神奈川県立こども医療センター総合診療科)

O-121 先天性サイトメガロウイルス感染症児における生後早期の頭部 MRI 所見

○加藤神奈¹, 西田浩輔¹, 福嶋祥代¹, 香田 翼¹, 岩谷壮太¹, 永瀬裕朗¹, 杉岡勇典², 西井達矢²,
飯島一誠¹, 森岡一朗¹

神戸大学小児科¹, 神戸大学放射線科²

O-122 極低出生体重児における子宮外発育遅延 (EUGR) と錐体路髄鞘化の関連

○竹内章人, 兵頭勇紀

国立病院機構岡山医療センター新生児科

O-123 3T ¹H-MRS による脳内代謝物質の短期生後変化: 発達に異常を認めない早産児の測定

○谷藤幸子, 赤坂真奈美, 亀井 淳, 荒谷菜海, 浅見麻耶, 松本 敦, 外館玄一郎, 小西 雄,
白澤聡子, 鳥谷由貴子, 草野修司, 千田勝一

岩手医科大学小児科

O-124 低体温療法を施行された新生児低酸素性虚血性脳症の頭部 MRI と発達予後の検討

○竹下暁子¹, 平澤恭子¹, 今井 憲², 内山 温², 楠田 聡², 永田 智¹

東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学母子総合医療センター²

O-125 新生児単純ヘルペス脳炎における脳病変の局在と予後

○城所博之¹, 奥村彰久², 辻 健史³, 久保田哲夫⁴, 安藤直樹⁵, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹,
大野敦子¹, 中田智彦¹, 加藤 徹³, 坂口陽子¹, 岡井 佑¹, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳¹

名古屋大学医学部小児科¹, 愛知医大小児科², 岡崎市民病院小児科³, 安城更生病院小児科⁴, 名古
屋市立大学小児科⁵

16:10~17:00 アフタヌーンセミナー：共催 ヤンセンファーマ株式会社……………(S221)

ADHD とその合併障害の治療

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)

講演 榊原洋一 (お茶の水女子大学)

第 2 日目 第 6 会場

7:30~8:30 第 8 回小児免疫性脳炎研究会

9:40~10:40 一般演題 (口演)……………(S286)

末梢神経

座長 小牧宏文 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院)

淵上達夫 (日本大学病院総合診療センター小児科)

O-126 脊髄前角・前根障害による急性弛緩性単麻痺 9 例の MRI 所見と髄液所見の検討

○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 樋渡えりか¹, 池本 智^{1,2}, 平田佑子^{1,2}, 鈴木ことこ^{1,2}, 小一原玲子¹, 菊池健二郎², 田中 学³, 南谷幹之¹

埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³

O-127 脊髄性筋萎縮症 1 型の培養皮膚線維芽細胞を用いた甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン添加効果の基礎的研究

○二階堂弘輝, 川村健太郎, 福村 忍, 館 延忠

札幌医科大学医学部小児科

O-128 小児 Guillain-Barré 症候群, Fisher 症候群, Bickerstaff 型脳幹脳炎の全国疫学調査 Part 1: 疫学・臨床症状・検査

○池原 甫¹, 藤井克則¹, 福原知之¹, 藤田真祐子¹, 水落弘美^{1,2}, 塩浜 直¹, 内川英紀^{1,2}, 下条直樹¹

千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 東千葉メディカルセンター小児科²

O-129 小児 Guillain-Barré 症候群, Fisher 症候群, Bickerstaff 型脳幹脳症の全国調査 Part 2: 診断・治療経過・予後編

○福原知之, 藤井克則, 藤田真祐子, 池原 甫, 水落弘美, 塩浜 直, 内川英紀, 下条直樹

千葉大学大学院医学研究院小児病態学

O-130 末梢神経症状と錐体路症状を併せ持つ疾患群の原因は多様である

○萩野谷和裕¹, 乾 健彦¹, 遠藤若葉¹, 安西真衣¹, 竹澤祐介¹, 才津浩智²

拓桃医療療育センター小児科¹, 横浜市大遺伝学²

10:40~11:40 一般演題 (口演)……………(S288)

電気生理

座長 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)

久保田雅也 (国立成育医療研究センター)

O-131 可逆性後頭葉白質脳症 (PRES) の重症度を示す周期性一側性てんかん様放電 (PLEDs)

○大府正治, 比屋根真彦, 松岡剛司

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

O-132 てんかん症状改善に伴う高周波成分 (HFO) の減少～てんかん治療における新しい指標～

○長澤哲郎^{1,2}, 寺嶋 宙², 久保田雅也²

東京都立府中療育センター小児科¹, 国立成育医療研究センター神経内科²

O-133 メロシン欠損型先天性筋ジストロフィーにおける末梢神経の電気生理学的検討

○斎藤良彦, 石山昭彦, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 中川栄二, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター小児神経科

O-134 神経を専門としない医療者が小児 ICU 症例で発作を同定するための aEEG, DSA の有用性

○大野敦子, 岡井 佑, 坂口陽子, 伊藤祐史, 小川千香子, 中田智彦, 城所博之, 根来民子, 渡邊一功, 夏目 淳

名古屋大学医学部小児科

O-135 島田療育センターはちおうじで簡易型終夜睡眠ポリソムノグラフィー (PSG) を行った 80 例の検討

○小沢愉理, 野村芳子, 雨宮 馨, 岸本洋子, 積田綾子, 中村由紀子, 小沢 浩

島田療育センターはちおうじ小児科

O-136 当院のてんかん診療における長時間ビデオ脳波モニタリング検査の有用性について

○底田辰之¹, 松井 潤¹, 西倉紀子¹, 吉岡誠一郎², 高野知行¹, 竹内義博¹
滋賀医科大学医学部小児科¹, 栗東よしおか小児科²

11:50~12:50 ランチョンセミナー 14: 共催 JCR ファーマ株式会社 (S217)

小児神経と小児内分泌の懸け橋

座長 泉 達郎 (独立行政法人国立病院機構七尾病院)
講演 長谷川奉延 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)

13:00~13:45 友情講演 (S111)

Olfactory development and dysgenesis in fetus and neonate

座長 岩田欧介 (久留米大学小児科)
講演 Harvey B. Sarnat (Paediatrics, Pathology (Neuropathology) and Clinical Neurosciences
University of Calgary and Alberta Children's Hospital Calgary,
Alberta, Canada)

14:00~15:00 一般演題 (English Session) (S235)

筋: Muscular diseases

座長 Harvey B. Sarnat (University of Calgary Faculty of Medicine)
Yu-ichi Goto (National Center of Neurology and Psychiatry)

E-026 A boy with unexplained mild muscle weakness and easy fatigability during exercise

○Juri Ogawa, Atsushi Takagi, Osamu Fujino, Takehisa Fujita, Yasuhiko Kawakami
Department of Pediatrics, Nippon Medical School, Tokyo, Japan

E-027 Osteoporosis screening in Duchenne muscular dystrophy using CT images obtained for other reasons

○Yuko Motohashi¹, Michio Inoue¹, Koji Takahashi¹, Ayano Matsui², Noriko Sato³, Akihiko Ishiyama¹,
Eri Takeshita¹, Hirofumi Komaki¹, Masayuki Sasaki¹
National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Child Neurology, Tokyo, Japan¹, National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Orthopedics, Tokyo, Japan², National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Radiology, Tokyo, Japan³

E-028 A case of neuromyelitis optica preceded by hyperCKemia

○Shiro Ozasa¹, Tomoko Kashiki¹, Ken Momosaki¹, Keiko Nomura¹, Hiroyo Mabe¹, Yasuhiro Indo¹,
Rieko Sakamoto¹, Shohei Kuraoka¹, Naomi Kuwada¹, Tatsuya Kawasaki¹, Takayuki Kosaka²,
Toshinari Nakane², Toshihide Inoue³, Masaaki Yanai⁴, Fumio Endo¹
Department of Pediatrics, Kumamoto University, Kumamoto, Japan¹, Department of Neurology, Kumamoto University, Kumamoto, Japan², Department of Ophthalmology, Kumamoto University, Kumamoto, Japan³,
Kumamoto Regional Medical Center, Kumamoto, Japan⁴

E-029 Gene mutation screening using whole exome sequencing in lipid storage myopathy

○Kazuko Takayama², Satoru Noguchi¹, Satomi Mitsunashi¹, Ikuya Nonaka¹, Ichizo Nishino¹
National Institute of Neuroscience, NCNP, Tokyo, Japan¹, Department of pediatrics of Toho university, Tokyo, Japan²

E-030 Surgical correction of progressive scoliosis in a case with Fukuyama congenital muscular dystrophy

○Kaori Hino¹, Mitsumasa Fukuda¹, Masanori Ito¹
Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan¹, Department of Orthopedics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan.²

E-031 Involuntary movement occurring during the development-lessons from Segawa disease and DYT1

○Yoshiko Nomura
Yoshiko Nomura Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan

15:00~16:00 一般演題 (English Session) (S237)

発達障害: Neurodevelopmental disorders

座長 Osuke Iwata (Dept of Pediatrics, Kurume University School of Medicine)
Takayuki Mitsunashi (Pediatrics, Keio University School of Medicine)

E-032 A follow-up study of children with autism spectrum disorder in relation to the social support

○Toru Kurokawa¹, Yuko Yokomizo¹, Satoshi Honjou²
Department of Rehabilitation, Seiai Rehabilitation Hospital, Ohnojou, Japan¹, Department of Pediatrics, National Hospital Organization National Fukuoka Hospital, Fukuoka, Japan²

E-033 fNIRS-based assessment of individual classification of ADHD children during an inhibition task

○Masako Nagashima¹, Yukifumi Monden¹, Ippeita Dan², Takahiro Ikeda^{1,3}, Minako Uga^{2,4},
Hideo Shimoizumi³, Takanori Yamagata¹

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Applied Cognitive Neuroscience Laboratory, Faculty of Science and Technology, Chuo University, Tokyo, Japan², Rehabilitation Center, International University of Health and Welfare, Tochigi, Japan³, Functional Brain Science Laboratory, Jichi Medical University⁴

E-034 CASK gene mutation in a family with autism spectrum disorder

○Toshiyuki Seto¹, Toshiyuki Yamamoto², Haruo Shintaku¹

Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan¹, Tokyo Women's Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan²

E-035 Two types of inhibition tasks allow discrimination between ASD and AD/HD children

○Takahiro Ikeda¹, Yukifumi Monden¹, Masahiro Hirai³, Masako Nagashima¹, Hideo Shimoizumi²,
Hitoshi Osaka¹, Ippeita Dan⁴, Takanori Yamagata¹

Department of pediatrics, Jichi medical university, Tochigi, Japan¹, Nasu Institute for Developmental Disabilities, International University of Health and Welfare Rehabilitation Center, Tochigi, Japan², Functional Brain Science laboratory, Center for Development of Advanced Medical Technology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan³, Applied Cognitive Neuroscience Laboratory, Chuo University, Tokyo, Japan⁴

E-036 Neural bases of decrease in reward sensitivity in pediatric AD/HD, RAD and CFS

○Kei Mizuno^{1,2,3}, Takako Joudoi^{4,5}, Akemi Tomoda⁶

Pathophysiological and Health Science Team, RIKEN Center for Life Science Technologies, Kobe, Japan¹, Department of Medical Science on Fatigue, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan², Osaka City University Center for Health Science Innovation, Osaka, Japan³, Department of Child Development, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan⁴, Department of Pediatrics, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan⁵, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan⁶

E-037 Stimulus-driven rightward saccades for detection of asymmetrical visuospatial attention system

○Masafumi Sanefuji¹, Hiroshi Yamashita³, Yasunari Sakai², Yoshito Ishizaki², Yoshiyuki Shiotsuka⁴,
Daisuke Katsuki³, Satoshi Akamine², Michiko Torio², Momoko Sasazuki², Keiji Iramina⁴,
Toshiro Hara^{2,5}, Keiko Yoshida³

Research Center for Environment and Developmental Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan², Department of Child Psychiatry, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan³, Graduate School of Systems Life Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan⁴, Fukuoka Children's Hospital, Fukuoka, Japan⁵

16:00~17:00 一般演題 (English Session) (S239)

感染, 免疫: Infectious and immunological diseases

座長 Masaharu Hayashi (Department of Brain Development of Neural Regeneration Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science)

Takashi Ichiyama (Department of Pediatrics, Tsudumigaura Medical Center for Children with Disabilities, Yamaguchi, Japan)

E-038 Three cases of neonatal cerebral infarction

○Soichiro Toda¹, Shota Yuasa¹, Jun-ichi Takanashi²

Kameda Medical Center, Department of Pediatrics, Chiba, Japan¹, Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Department of Pediatrics, Chiba, Japan²

E-039 Polymorphism of cytokine-related and sodium channel genes in AERRPS

○Makiko Saitoh¹, Katuhiro Kobayashi², Ai Hoshino¹, Masashi Mizuguchi¹

Department of Developmental Medical Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan²

E-040 Post-vaccination MDEM associated with MOG antibody in a subclinical Chlamydia infected boy

○Kohji Azumagawa^{1,2}, Shohei Nomura¹, Ichiro Nakashima³, Mitsuru Kashiwagi⁴, Takuya Tanabe⁵,
Shuichi Shimakawa⁶, Hiroshi Tamai⁶

Department of Pediatrics, Seikeikai Hospital, Osaka, Japan¹, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Osaka, Japan², Tohoku University Graduate School of Medicine, Miyagi, Japan³, Hirakata Municipal Hospital, Osaka, Japan⁴, Tanabe, Children's Clinic, Osaka, Japan⁵, Osaka Medical College, Osaka, Japan⁶

- E-041 Impaired glucose tolerance among children and adolescents with circadian rhythm sleep-wake disorder**
 ○Makiko Toyoura^{1,2}, Teruhisa Miike^{1,2}, Seiki Tajima^{1,2}, Keiko Owari^{1,2}, Shigeyuki Matsuzawa³, Yukuo Konishi^{1,2}
 Hyogo Rehabilitation Center Hospital, Hyogo, Japan¹, Hyogo Children's Sleep and Development Medical Research Center, Hyogo, Japan², Research Center for Children's Mental Development, Osaka University, Osaka, Japan³
- E-042 Mechanisms of brain edema after injury : photolysis of a single neuron alters Cl⁻ in nearby neurons**
 ○Kiyoshi Egawa¹, Hideaki Shiraishi¹, Kevin Staley²
 Pediatric department, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan¹, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, Boston, USA²
- E-043 Colonoscopy for asymptomatic, intellectually and physically disabled persons : equity in medicine**
 ○Satoshi Honjo¹, Shoichiro Ohno^{1,2}
 Department of Paediatrics, National Hospital Organization Fukuoka National Hospital, Fukuoka, Japan¹, Ohno Paediatrics and Internal Medicine Clinic, Fukuoka, Japan²

第 2 日目 第 7 会場

7:30~8:40 産科医療補償制度小委員会主催セミナー…………… (S185)

産科医療補償制度の現状と今後の課題

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

- 1) 産科医療補償制度の現状と課題について
 上田 茂 (公益財団法人日本医療機能評価機構)
- 2) 産科医療補償制度の対象患者選択に関する検討
 松井 潔, 田上幸治 (神奈川県立こども医療センター総合診療科)
- 3) 診断書料をめぐる諸問題 : 評議員アンケート調査にみる施設間格差
 御牧信義 (倉敷成人病センター小児科)

9:40~10:40 一般演題 (口演)…………… (S290)

画像

座長 森 健治 (徳島大学医学部小児科と親のこころ診療室)
 松尾宗明 (佐賀大学小児科)

- O-137 非対称性大脳皮質異形成症症例に認められた新規 TUBB3 変異**
 ○下島圭子¹, 岡本伸彦², 山本俊至¹
 東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²
- O-138 幼児期から頭部 MRI 画像の経過を追っている BPAN (beta-propeller-protein-associated neurodegeneration) の 1 女児例**
 ○池田 妙¹, 林 良子¹, 木村貞美¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 岡本伸彦², 長谷川龍志³, 鈴木保宏¹
 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科², 京都府立医科大学小児科³
- O-139 下肢麻痺を認め脊髄 MRI を施行した症例のまとめ**
 ○比屋根真彦, 松岡剛司, 大府正治
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- O-140 MECP2 重複症候群 7 例における頭部画像, 誘発電位検査所見の特徴**
 ○井上道雄, 馬場信平, 石山昭彦, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-141 MELAS における脳卒中様発作時の頭部画像検査 (MR spectroscopy, arterial spin labeling 法) の有用性**
 ○中島 健, 林 良子, 池田 妙, 木村貞美, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
 大阪府立母子保健総合医療センター
- O-142 経過中に一過性 T1 強調画像高信号域を認めた急性散在性脊髄炎の 4 症例**
 ○河中祐介¹, 安藤久美子¹, 五十嵐陽子¹, 勝浦堯之¹, 若田ゆき¹, 石蔵礼一¹, 小野淳一郎², 高田恵広³, 廣田省三¹
 兵庫医科大学放射線医学講座¹, 明和病院², 兵庫医科大学小児科学教室³

10:40~11:40 一般演題 (口演)..... (S292)

脳外科領域

座長 師田信人 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)

坂本博昭 (大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科)

O-143 周産期および新生児期脳障害による二次性ジストニアに対する淡蒼球内節刺激療法の経験

○水野朋子¹, 熊田聡子¹, 西田裕哉¹, 内野俊平¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹, 鈴木基正², 谷口 真³, 横地房子⁴東京都立神経病院神経小児科¹, あいち小児保健医療総合センター神経科², 東京都立神経病院脳神経外科³, 東京都立神経病院脳神経内科⁴

O-144 スタージェーバー症候群 96 例における血管腫の範囲と各分類別治療成績

○中島 円¹, 菅野秀宣¹, 安倍信平², 池野 充², 五十嵐鮎子², 中澤美賀², 新島新一³, 山下進太郎³順天堂大学医学部脳神経外科¹, 順天堂大学小児科², 順天堂大学附属練馬病院小児科³

O-145 痙性麻痺に対する ITB 療法の経験

○下川尚子¹, 吉岡史隆¹, 中原由紀子¹, 増岡 淳¹, 河島雅到¹, 阿部竜也¹, 松尾宗明², 前田寿幸², 田島大輔², 平原恵子²佐賀大学医学部脳神経外科¹, 佐賀大学医学部小児科²

O-146 Dandy-Walker malformation における遺伝子解析

○原田敦子¹, 宮 冬樹², 宇都宮英綱³, 山中 巧¹, 吉川大和⁴, 三木美智子⁴, 正礼智子⁵, 加藤光広⁶, 齋藤信治⁷, 岡本伸彦⁸, 小崎健次郎⁹, 角田達彦², 金村米博¹⁰, 山崎麻美¹高槻病院小児脳神経外科¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野², 国際福祉大学大学院放射線情報科学分野³, 高槻病院眼科⁴, 大阪医療センター臨床研究センター幹細胞医療研究室⁵, 昭和大学医学部小児科⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野⁷, 大阪府立母子総合医療センター遺伝診療科⁸, 慶応義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁹, 大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室¹⁰

O-147 頭蓋骨早期癒合症に対する後頭延長拡大術は, テント下 bone remodeling を誘導する

—volumetric analysis による評価—

○吉岡史隆¹, 下川尚子¹, 江橋 諒¹, 高瀬幸徳¹, 中原由紀子¹, 増岡 淳¹, 河島雅到¹, 阿部竜也¹, 上村哲司², 松尾宗明³佐賀大学医学部脳神経外科¹, 佐賀大学医学部形成外科², 佐賀大学医学部小児科³

O-148 軟骨無形成症に伴う大孔部狭窄の治療

○松阪康弘¹, 坂本博昭¹, 岡崎 伸², 九鬼一郎², 川脇 壽²大阪市立総合医療センター小児脳神経外科¹, 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科²

13:00~16:00 長期計画委員会ワークショップ..... (S191)

10 年後 (2026 年) の小児神経専門医のなすべきこと

座長 神山 潤 (公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター)

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

1) 子どもの心の診療のあり方: 「子どもの心に寄り添い, 輝く笑顔を増やすために我々ができることは!」

鈴木由香¹, 杉田克生², 宮島 祐³, 中井昭夫⁴(松山赤十字病院¹, 千葉大学教育学部², 東京家政大学子ども学部子ども支援学科³, 兵庫県立リハビリテーション中央病院子ども睡眠と発達医療センター⁴)

2) 重症心身障害の人たちとその家族が颯爽と街を歩くことができるために小児神経科医ができること

口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)

3) 学術集会のあり方: 「10 年後の学会のかたちをボクたちワタシたちがキメル」

川上康彦¹, 小倉加恵子², 島川修一³, 多田弘子⁴(日本医科大学多摩永山病院小児科¹, 森之宮病院小児神経科², 大阪医科大学附属病院小児科³, 千葉県済生会習志野病院小児科⁴)

4) 踏み出そう! 小児神経学の多領域連携

久保田健夫¹, 福與なおみ², 福田冬季子³, 鶴澤礼実⁴(山梨大学医学部環境遺伝医学講座¹, 東北大学病院小児科・遺伝科², 浜松医科大学医学部小児科³, 福岡大学筑紫病院小児科⁴)

5) 日本小児神経学会の新しいシンボルの制作と応用: キャッチフレーズ, スローガン, シンボルマーク, シンボルカラーについて

岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

第 2 日目 ポスター展示会場

15:00~15:30 一般演題 (ポスター) (S368)

てんかん, けいれん 4

モデレーター 遠山 潤 (西新潟中央病院)

P-216 治療戦略の変更により ADL を改善し得た CDKL5 異常症による難治性てんかんの女児例

○四家達彦^{1,2}, 高橋幸利³, 木村暢佑⁴, 今井克美³, 山下行雄^{1,2}, 山本俊至⁵, 高橋孝雄²横浜市立市民病院小児科¹, 慶應義塾大学医学部小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³, 大津赤十字病院小児科⁴, 東京女子医科大学統合医科学研究所⁵

P-217 中枢神経症状を主症状とする congenital disorders of glycosylation: SLC35A2 変異を認めた早期発症てんかん性脳症の女児例

○木水友一¹, 堀野朝子¹, 吉富晋作¹, 森 達夫^{1,2}, 山口解冬¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 今井克美¹, 岡本伸彦³, 中島光子⁴, 才津浩智⁴, 加藤光広⁵, 松本直通⁴, 高橋幸利¹, 井上有史¹NHO 静岡てんかん神経医療センター小児科¹, 徳島大学医学部小児科², 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝子診療科³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴, 昭和大学医学部小児科⁵

P-218 先天性 QT 延長症候群と局在関連てんかんを合併した KCNQ1 変異を認める女児例

○代田惇朗¹, 小野林太郎¹, 荻原正明¹, 平林真介¹, 横山美奈¹, 白井丈晶², 小澤美和¹, 草川 功¹, 真部 淳¹聖路加国際病院小児科¹, 聖路加国際病院循環器内科²

P-219 PIGL 遺伝子異常による先天性 GPI 欠損症の 1 例: 発作時脳波・SPECT を主体に

○小池敬義¹, 高橋幸利¹, 堀野朝子¹, 小関直子¹, 山口解冬¹, 大星大観¹, 木水友一¹, 吉富晋作¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 鈴木保宏², 村上良子³, 井上有史¹国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科², 大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野³

P-220 急性脳症により死亡した Dravet 症候群の 1 例

○佐々木拓¹, 福山哲広¹, 中嶋英子¹, 平林伸一¹, 笛木 昇²長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科²

P-221 格子模様に対する視覚誘発発作を繰り返す Dravet 症候群の 1 例

○永井盛博, 桐野友子, 藤原由美, 松岡 舟, 遠藤彰一

四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科

P-222 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ (PKD) の合併症と PRRT2 変異解との関連解析

○黒滝直弘¹, 小澤寛樹¹, 斎藤加代子², 齋藤伸治³, 吉浦孝一郎⁴, 岩田修永⁵, 城谷圭朗⁵, 白石裕一¹長崎大学病院¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野³, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻放射線生命科学講座人類遺伝学⁴, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻分子創薬科学講座ゲノム創薬学⁵

P-223 LEV が焦点性発作に著効したが, epileptic spasm の発症予防はできなかった STXBP1 変異症例

○下村 豪¹, 弓削康太郎¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 才津浩智², 松本直通²久留米大学病院小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

P-224 脊柱側弯症を合併した Dravet 症候群の周術期管理

○東本和紀, 美根 潤, 岸 和子, 山口清次

島根大学小児科

P-225 PRRT2 遺伝子異常を伴う良性家族性乳児てんかんの 1 例

○馬場悠生¹, 田中主美¹, 石井敦士², 井原由紀子², 廣瀬伸一²済生会川内病院小児科¹, 福岡大学病院小児科²

15:30~16:00 一般演題 (ポスター) (S372)

てんかん, けいれん 5

モデレーター 島川修一 (大阪医科大学附属病院小児科)

P-226 小児てんかん重積に対するミダフレッサ® 静注 0.1% の有効性と安全性の検討

○高山留美子, 小笠原真志, 渡邊年秀

北海道立子ども総合医療・療育センター神経内科

P-227 局在関連性てんかんに対して第一選択薬としてレベチラセタムを投与した例とカルバマゼピンを投与した例の比較

○中川 卓, 栗山千恵, 南部静紀, 高見勇一

姫路赤十字病院小児科

- P-228 小児てんかんに対するスルチアム (STM) の効果
○岩田あや, 仁紙宏之
西神戸医療センター小児科
- P-229 バルプロ酸ナトリウム長期内服後に発症した薬剤性胸膜炎の 1 例
○西條晴美, 江添隆範, 倉田清子
東京都立東大和療育センター小児科
- P-230 部分てんかんにおける抗てんかん剤併用療法の有効性を考える
○樋口嘉久, 木村暢佑
大津赤十字病院小児科
- P-231 潜因性局在関連性てんかんにおける抗てんかん薬減量時期と再発状況について
○西里ちづる, 上野弘恵, 岡田拓巳, 島津智之, 今村穂積
国立病院機構熊本再春荘病院
- P-232 バルプロ酸投与における血小板減少と幼若血小板比率との関連
○倉橋宏和¹, 高須倫彦¹, 奥村彰久¹, 高見昭良²
愛知医科大学医学部小児科¹, 愛知医科大学医学部血液内科²
- P-233 フェノバルビタール併用が有効であった難治性てんかんの 3 例
○嶺間博隆^{1,2}, 城間直秀¹
発達神経クリニックプロップ¹, 中頭病院²
- P-234 小児てんかん患者における CBZ, ZNS, PB, LTG, LEV による免疫グロブリンの経時的変化に関する検討
○小穴信吾¹, 浦辺智美¹, 竹下美佳¹, 森下那月美¹, 森地振一郎¹, 石田 悠¹, 山中 岳¹,
宮島 祐^{1,2}, 河島尚志¹
東京医科大学小児科¹, 東京家政大学子ども学部子ども支援学科²

16:00~16:30 一般演題 (ポスター) (S375)

- てんかん, けいれん 6
モデレーター 後藤知英 (神奈川県立こども医療センター)
- P-235 Atypical benign partial epilepsy of childhood あるいは関連てんかんに対する特殊治療についての検討
○西川愛子, 小国弘量, 大谷ゆい, 伊藤 進, 舟塚 真, 永田 智
東京女子医科大学小児科
- P-236 若年性ミオクロニーてんかんの治療および患者背景についての検討
○犬塚 幹
佐世保中央病院小児科
- P-237 Levetiracetam 単剤療法の適正使用について
○沢石由記夫, 豊野美幸
秋田県立医療療育センター
- P-238 Glucose transporter 1 欠損症のけいれん性てんかん発作の予後因子について
○青天目信^{1,2}, 渡辺陽和^{1,2}, 岸本加奈子^{1,2}, 谷河純平^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3},
下野九理子^{1,2,3}, 大藺恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学
院連合小児発達学研究所³
- P-239 カルバマゼピン投与中のてんかん患児における IgG subclass の検討
○岸 高正¹, 藤井裕士^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 石川暢恒^{1,2}
国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科¹, 広島大学病院小児科²
- P-240 ラモトリギン投与中に発疹がみられた症例の検討
○四俣一幸, 渡邊健二
鹿児島市立病院小児科
- P-241 レベチラセタム単剤治療の有効性についての検討
○大場温子^{1,3}, 浜野晋一郎², 和田靖之^{1,3}
東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 東京慈恵会医科大学附属柏病院
小児科³
- P-242 ケトン食療法前後での抗てんかん薬の血中濃度の推移
○渡辺陽和^{1,3}, 岸本加奈子^{1,3}, 谷河純平^{1,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3},
青天目信^{1,3}, 大藺恵一^{1,3}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部附
属病院てんかんセンター³

P-243 乳児期早期からケトン食を開始して発達・発作とも非常に良好に経過している古典型グルコース輸送担体 1 異常症の 1 例

○柳原恵子¹, 真野利之², 山田桂太郎³, 林 良子¹, 池田 妙¹, 木村真美¹, 最上友紀子¹, 鈴木保宏¹

大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, まの・すぎのここどもクリニック², 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科³

P-244 演題取り下げ

15:00~15:30 一般演題 (ポスター)..... (S378)
発達障害 4

モデレーター 関あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院)

P-245 当院を受診した広汎性発達障害児の成人期の社会適応一質問紙法による調査から一

○平林伸一¹, 笛木 昇², 平野 悟³

長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科², 中川の郷療育センター³

P-246 幼児期より療育を受け、就学後に発達性読字障害と診断された症例の臨床的特徴の検討

○巨田元礼^{1,4}, 川谷正男^{1,4}, 滝口慎一郎^{2,4}, 米谷 博³, 平谷美智夫⁴, 大嶋勇成¹

福井大学医学部小児科¹, 福井大学医学部子どものこころ診療部², 芳珠記念病院³, 平谷こども発達クリニック⁴

P-247 発達障害児における感覚異常の検討

○西村美緒, 松本葉子, 八木麻理子, 河崎洋子

にこにこハウス医療福祉センター

P-248 Syntaxin1A 遺伝子の欠失を認めた自閉症スペクトラムの 5 症例

○林 優子¹, 小藤剛史², 田丸政男³, 赤川公朗⁴

県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 杏林大学医学部共同研究施設 RI 部門², 広島都市学園大学健康科学部看護学科³, 杏林大学医学部細胞生理学⁴

P-249 運動療育により、自傷行為が消失した自閉症スペクトラムの 1 例

○積田綾子^{1,2}, 中澤友幸¹, 大日方 薫¹, 小沢 浩²

順天堂大学医学部附属浦安病院小児科¹, 島田療育センターはちおうじ²

P-250 マジック療法が有効だった不登校の一例

○小沢 浩, 岸本洋子, 野村芳子, 積田綾子, 小沢愉理, 中村由紀子, 雨宮 馨

島田療育センターはちおうじ

P-251 幼児期早期に退行をきたし、環状 22 番染色体を認めた自閉症スペクトラム障害の男児例

○岡 牧郎¹, 小林由典³, 秋山麻里¹, 諸岡輝子¹, 花房 香¹, 荻野竜也², 吉永治美¹, 小林勝弘¹

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科², 神戸市立医療センター中央市民病院小児科³

P-252 神経発達障害群における知的障害の程度や自閉症スペクトラム障害特性からみた長期経過

○永江彰子, 口分田政夫, 山下久美子, 小田 望, 藤田泰之, 高谷 清

びわこ学園医療福祉センター草津小児科

P-253 暴力の噴出を伴う発達障害症例における比喩・皮肉文テストの有用性について

○黒神経彦, 小枝達也, 奥山真紀子

国立成育医療研究センターこころの診療部

P-254 発達障害が疑われる未就学児の睡眠紡錘波についての検討

○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{1,2}, 田中 学¹, 松浦隆樹^{1,2}, 平田佑子^{1,2}, 池本 智^{1,2}, 樋渡えりか¹, 小一原玲子¹

埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

15:30~16:00 一般演題 (ポスター)..... (S381)
発達障害 5

モデレーター 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

P-255 一般乳幼児における運動バリエーション頻度調査研究の中間報告

○宮地泰士¹, 中川敦子², 鷺見 聡³, 今枝正行⁴, 齋藤伸治⁵, 上島通浩⁶

名古屋市西部地域療育センター¹, 名古屋市立大学人文社会学部人間文化研究科², 上林記念病院³, 名古屋市北部地域療育センター⁴, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野⁵, 名古屋市立大学大学院医学研究科環境保健学分野⁶

- P-256 ウィリアムズ症候群幼児における日本語語彙表出の領域別獲得過程の検討**
 ○中村みほ¹, 村松友佳子^{1,2}, 梅村紋子³, 水野誠司⁴
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部¹, 名古屋大学医学部小児科², 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児科⁴
- P-257 学習到達度と基礎学習スキル・認知機能の関連 第 4 報-WAVES を使った視覚認知の検討ー**
 ○奥村智人¹, 川崎聡大², 三浦朋子^{1,3}, 中西 誠⁴, 若宮英司⁵, 水田めぐみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 玉井 浩⁶
 大阪医科大学 LD センター¹, 東北大学大学院教育学研究科², 堺清恵会病院 LD センター³, 関西大学大学院心理学研究科⁴, 藍野大学医療保健学部看護学科⁵, 大阪医科大学小児科⁶
- P-258 脳室周囲白質軟化症 (PVL) 児の発達の特徴について**
 ○池田憲二¹, 小沢 浩², 大瀧 潮¹, 松田慶子¹, 明城和子¹, 高橋佳代子¹, 上石晶子¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹
 島田療育センター小児科¹, 島田療育センターはちおうじ²
- P-259 発達障害児童の遊びの実態調査**
 ○杉浦信子¹, 小沢 浩², 雨宮 馨², 小沢愉理², 岸本洋子², 積田綾子², 中村由紀子², 野村芳子², 木実谷哲史³
 島田療育センターはちおうじ児童精神科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 島田療育センター小児科³
- P-260 Spontaneous superficial parenchymal and leptomeningeal hemorrhage の神経学的予後の検討**
 ○溝部吉高¹, 露崎 悠¹, 柴崎 淳², 飯田貴也³, 田上幸治³, 松井 潔³, 相田典子⁴, 大石芳久⁵, 麻生誠二郎⁵
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター新生児科², 神奈川県立こども医療センター総合診療科³, 神奈川県立こども医療センター放射線科⁴, 日本赤十字社医療センター⁵
- P-261 子どもの日常生活チェックリスト (QCD) でみる発達障害児の自己評価と親評価の差について**
 ○遠藤雄策, 鈴木輝彦, 平野浩一
 浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科
- P-262 1 か月健診における固視・追視不良児の前方視的観察による考察**
 ○渡部承平
 済生会今治病院小児科, 愛媛県立今治病院小児科
- P-263 摂食障害で母子入院した幼児 5 例に対する当院の取り組み**
 ○友納優子^{1,2}, 藤田弘之¹, 鈴木聖子¹, 河野義恭¹
 北九州市立総合療育センター小児科¹, 福岡大学医学部小児科²
- P-264 発達外来初診時の身体的検査の有用性**
 ○中野加奈子
 六甲アイランド甲南病院小児科

16:00~16:30 一般演題 (ポスター) (S385)

精神障害, 行動障害

- モデレーター 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)**
- P-265 長時間にわたる睡眠時の異常行動のため終夜睡眠ポリグラフを実施した 15 歳女児例**
 ○加藤久美¹, 平石知佳², 下平雅之²
 太田睡眠科学センター¹, 川口市立医療センター小児科²
- P-266 親への心理社会的介入における CBCL の変化**
 ○牛田美幸
 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター児童心療内科
- P-267 Gorlin 症候群のパーソナリティーについての検討**
 ○内川英紀^{1,2}, 藤井克則², 福原知之², 池原 甫², 水落弘美^{1,2}, 塩浜 直², 下条直樹²
 東千葉メディカルセンター小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²
- P-268 知的障害をもつ児者における自傷行動への対処方法の検討. その 2. 非薬物的介入の実践とその成果**
 ○木村育美, 高橋長久, 大日向純子, 長瀬美香, 米山 明, 北住映二
 心身障害児総合医療療育センター小児科
- P-269 軽度から中等度知的障がい児における ADHD 不注意優勢型**
 ○赤池洋人, 河野美奈, 近藤英輔, 加藤 敦
 川崎医科大学小児科
- P-270 神経性やせ症患児における WISC-4 認知プロフィールの特徴**
 ○大谷良子¹, 金谷梨恵¹, 荒川明里², 井上 建², 島村圭一², 田副真美^{2,3}, 作田亮一¹
 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター¹, 獨協医科大学越谷病院小児科², ルーテル学院大学³

P-271 ナルコレプシー自験例における髄液オレキシン濃度とモダフィニル治療効果の相関関係

○颯佐かおり, 阿部裕一, 山内秀雄
埼玉医科大学病院小児科

P-272 自閉症スペクトラム障害児に対する抑肝散の効果

○花岡 繁
松戸市こども発達センター

15:00~15:30 一般演題 (ポスター) (S387)

脳炎・脳症 1

モデレーター 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

P-273 当センターにおける急性脳症後遺症の 70 例の長期予後とリハビリテーション

○竹澤祐介¹, 安西真衣¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 白井育子^{1,2}, 萩野谷和裕¹
宮城県拓桃医療療育センター小児神経科¹, 東京都立神経病院神経小児科²

P-274 溺水による心肺停止蘇生後 3 例の脳波での予後検討

○松井 潤, 西倉紀子, 底田辰之, 吉岡誠一郎, 高野知行, 竹内義博
滋賀医科大学医学部小児科

P-275 散在性病変を呈し小脳症状を認めなかった急性小脳炎の一例

○栗山千恵¹, 南部静紀¹, 中川 卓¹, 高見勇一¹, 高橋幸利²
姫路赤十字病院小児科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター²

P-276 可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症は無治療で良いか?

○南部静紀¹, 栗山千恵¹, 中川 卓¹, 高見勇一¹, 高橋幸利²
姫路赤十字病院小児科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター²

P-277 急性脳症の脳波所見 第 1 報: AESD の脳波所見

○大野敦子¹, 奥村彰久², 深沢達也³, 鈴木健史³, 中村勇治⁴, 三宅未紗⁵, 久保田哲夫³, 辻 健史⁶,
安藤直樹⁷, 齋藤伸治⁷, 夏目 淳¹
名古屋大学医学部小児科¹, 愛知医科大学小児科², 安城更生病院小児科³, 豊橋市民病院小児科⁴,
藤田保健衛生大学医学部小児科⁵, 岡崎市民病院小児科⁶, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生
児・小児医学分野⁷

P-278 けいれん重積で発症し, bright tree appearance 様の皮質下白質病変を一過性に認めた急性散在性脳脊髄炎の一例

○渡邊健二¹, 四俣一幸¹, 永田博美¹, 丸山慎介²
鹿児島市立病院¹, 鹿児島大学病院小児科²

P-279 二相性脳症 (AESD) を発症した先天性中枢性低換気症候群の 1 例

○多湖明香里, 横井暁子, 小林 悟
名古屋市立西部医療センター小児科

P-280 けいれん重積型脳症の予後に関する後方視的検討

○李 守永^{1,2}, 實藤雅文², 鳥尾倫子², 一宮優子², 鳥巢浩幸², 石崎義人², 酒井康成², 原 寿郎^{1,2}
福岡市立こども病院集中治療科¹, 九州大学大学院医学研究院成長発達分野²

P-281 可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎脳症における髄液サイトカインの検討

○横田卓也¹, 金井創太郎¹, 本井宏尚¹, 岡西 徹¹, 横田俊平², 榎 日出夫¹
聖隷浜松病院小児神経科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科発生・小児医療学²

P-282 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) のけいれん反復期に aEEG モニタリングを施行した 3 例

○小林 悟, 多湖明香里, 横井暁子
名古屋市立西部医療センター小児科

P-283 HHV6 脳症後の言語・運動機能の向上に TRH 療法が部分的に有効であったと考えられた 1 例

○松下浩子¹, 岡野創造¹, 早川克己²
京都市立病院小児科¹, 岩手県立釜石病院放射線科²

15:30~16:00 一般演題 (ポスター) (S391)

脳炎・脳症 2

モデレーター 高柳 勝 (仙台市立病院小児科)

P-284 皮質下白質に散在性に分布する病変を示したエンテロウイルス脳炎の新生児例

○中村涼子, 松倉 幹, チョンピンフィー, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科

P-285 川崎病急性期における脳波の検討

○板村真司, 小川和則, 竹中美恵子, 桑原健太郎
広島市立広島市民病院神経小児科

- P-286 CRISPR/Cas9 system を用いた knock out/down ミクログリア細胞株の樹立**
○鈴木智典^{1,2}, 上野太郎³, 林 雅晴¹, 佐久間 啓¹
公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト¹, 東京医科歯科大学小児科², 公益財団法人東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野学習記憶プロジェクト³
- P-287 重症心身障碍児・者施設併設の地域小児科センターで過去 5 年間に経験した急性脳症の検討**
○内藤拓人¹, 坂本晴子¹, 田尻雄二郎¹, 房安直子², 高野良彦¹, 田中 司³, 杉田 亮¹, 安西香織¹, 竹川麻衣¹, 野村安隆¹, 肥田晋矢¹, 奥野毅彦⁴, 葭井操雄¹, 住本真一¹
大阪赤十字病院小児科¹, 相模原病院小児科², 兵庫県立こども病院神経内科³, 大手前整肢学園⁴
- P-288 痙攣重積発作に対するフェノバルビタール維持療法中に生じた薬疹の検討**
○守谷充司, 相原 悠, 鈴木力生, 北村太郎, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博
仙台市立病院小児科
- P-289 リツキシマブ使用, 重症水痘罹患後に後頭部可逆性白質脳症を合併したパーキットリンパ腫再燃例**
○尾曲久美, 里 龍晴, 原口康平, 渡邊嘉章, 伊藤暢宏, 船越康智, 岡田雅彦
長崎大学病院小児科
- P-290 急性脳症による死亡例の検討**
○富岡和美¹, 永瀬裕朗^{1,2}, 石田悠介², 田中 司², 西山将広^{1,2}, 藤田杏子², 豊嶋大作², 丸山あずさ², 竹田洋樹³, 上谷良行³, 松本真明¹, 運崎 愛¹, 栗野宏之¹, 高田 哲⁴, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院脳神経内科², 兵庫県立こども病院救急集中治療科³, 神戸大学大学院保健学研究科⁴
- P-291 ヒトバロウイルス B19 の関連が考えられた急性脳炎の一例**
○松倉 幹, 今城 透, 中村涼子, チョンビンフィー, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科
- P-292 感染初期に高サイトカイン血症と血管内皮細胞障害を伴ったロタウイルス急性脳症の 1 例**
○加藤大吾¹, 井上 聡¹, 藤井法子¹, 大前禎毅¹, 長村敏生¹, 河島尚志²
京都第二赤十字病院小児科¹, 東京医科大学小児科²
- P-293 ヘルペス脳炎の長期予後に関する因子の検討**
○平井聡里, 荒井 洋, 北井征宏, 大村馨代, 小倉加恵子
森ノ宮病院小児神経科
- P-294 ムンプス関連脳炎脳症の 4 症例**
○菅原祐之¹, 黒神経彦^{1,2}, 鈴木智典^{1,3}, 長谷川 毅¹
草加市立病院小児科¹, 国立成育医療研究センターこころの診療部², 東京都医学総合研究所脳発達神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト³

16:00~16:30 一般演題 (ポスター)..... (S395)
脳炎・脳症 3

- モデレーター 多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)
- P-295 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 2 例**
○野田あんず¹, 豊福悦史¹, 越野由紀¹, 阿部裕一², 高橋幸利³
さいたま市民医療センター小児科¹, 埼玉医科大学病院小児科², 国立静岡てんかん神経医療センター小児科³
- P-296 急性脳症に合併した nonthyroidal illness の視床下部-下垂体機能評価のために TRH・インスリン・LHRH 負荷試験を行った 3 例**
○森下むつみ¹, 松浦隆樹¹, 樋渡えりか¹, 池本 智¹, 平田佑子¹, 田中 学², 南谷幹之², 浜野晋一郎¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²
- P-297 辺縁系脳炎治療中に腸管囊腫様気腫症を合併した 1 例**
○反頭智子¹, 後藤裕介¹, 杉田完爾², 相原正男³
山梨県立中央病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院総合研究部³
- P-298 非ヘルペス性辺縁系脳炎の兄妹例**
○檜原 翔, 青木雄介, 鈴木基正, 糸見和也
あいち小児保健医療総合センター神経科
- P-299 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 3 症例の検討**
○鈴木洋実¹, 生田陽二², 伊藤麻美¹, 森 貴幸¹, 松井順子⁴, 清水直樹³, 三山佐保子¹
東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 公立昭和病院小児科², 東京都立小児総合医療センター集中治療科³, 慶応義塾大学病院小児科⁴
- P-300 急性脳症後遺症に対する慢性期入院リハビリテーションの検討**
○吉橋 学, 栗原まな, 有賀賢典, 栗嶋勇也, 小萩沢利孝
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

P-301 当院における 5 年間の急性脳炎・脳症例の疫学的, 臨床的検討

○岡田裕介¹, 松藤博紀¹, 梶本まどか², 鳴海宏子¹, 岡崎史子^{1,2}, 堀田紀子¹, 伊藤智子¹, 立石 浩¹, 藤田京子¹, 内田正志¹

独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院小児科¹, 山口大学大学院医学系研究科小児科²

P-302 視神経炎を伴わずに視力低下を来した急性散在性脳脊髄炎の一例

○永田博美¹, 渡邊健二¹, 四俣一幸¹, 丸山慎介²

鹿児島市立病院小児科¹, 鹿児島大学医学部小児科²

P-303 非ヘルペス性辺縁系脳炎の 2 症例における脳血流の経時的変化

○林 泰壽¹, 宮城佳史¹, 石垣英俊¹, 伊藤祐介¹, 松林朋子¹, 福田冬季子¹, 西尾友宏², 久保田晃², 内山弘基³

浜松医科大学附属病院小児科¹, 中東遠総合医療センター小児科², 富士宮市立病院小児科³

P-304 HHE 症候群合併が疑われた左心低形成症候群の 1 例

○丸金拓蔵¹, 森田志穂¹, 玉城 渉¹, 山本雅樹¹, 大石 拓¹, 細川卓利^{1,2}, 藤枝幹也¹

高知大学医学部小児科¹, 細木病院²

15:00~15:30 一般演題 (ポスター)..... (S398)

感染, 免疫 1

モデレーター 稲葉雄二 (信州大学小児科)

P-305 ガンマグロブリン大量療法が一定の効果を認めた急性弛緩性麻痺の一例

○葛西真梨子¹, 太田さやか¹, 水野葉子¹, 下田木の実¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅²

東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学医学部発達医科学²

P-306 同時期にエンテロウイルス属感染症による神経合併症を併発した 3 例

○河畑孝佳

石川県立中央病院小児科

P-307 2015 年 9 月に発生した急性弛緩性脊髄炎の 3 例

○今城 透, 中村涼子, 松倉 幹, チョンピンフィー, 吉良龍太郎

福岡市立こども病院小児神経科

P-308 急性弛緩性麻痺を呈した 1 歳男児例

○吉川聡介¹, 大場千鶴², 柏木 充², 田辺卓也³, 福井美保⁴, 島川修一⁴, 玉井 浩⁴

大阪労災病院小児科¹, 市立ひらかた病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³, 大阪医科大学小児科⁴

P-309 急性弛緩性麻痺の 2 例

○谷村知繁¹, 周山めぐみ¹, 後藤智紀¹, 牧 兼正¹, 坂 京子¹, 鎗田 文², 立川雅美子³,

家田大輔³, 堀 いくみ³, 根岸 豊³, 服部文子³, 安藤直樹³, 齋藤伸治³

市立四日市病院小児科¹, 市立四日市病院脳神経内科², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野³

P-310 急性弛緩性麻痺の 3 例

○原口康平, 里 龍晴, 森山 薫, 井上大嗣, 渡邊義章, 森内浩幸

長崎大学小児科

P-311 喘息発作後, 急性弛緩性麻痺を来した 1 症例

○角 春賢¹, 永元哲治¹, 尾野美奈子¹, 村島義憲¹, 佐藤隆介¹, 岩岡亜理¹, 山藤陽子¹, 毛利陽子¹,

毛利 健¹, 宮本朋幸¹, 藤原一男²

横須賀市立うわまち病院小児科¹, 東北大学医学部神経内科学²

P-312 エンテロウイルスの関与が推定された Hopkins 症候群の 1 例

○土岐 平¹, 岩崎俊之¹, 石田倫也², 白井宏幸², 石井正浩¹

北里大学医学部小児科¹, 相模台病院²

P-313 ポリオ様急性弛緩性麻痺を呈し, 便よりエコーウイルス 3 型が検出された一例

○山本亜矢子, 大山宜孝, 齊藤祐弥, 小林宗也, 石橋麻由, 波多野道弘, 岩本眞理

済生会横浜市東部病院

P-314 急性弛緩性脊髄炎の一例

○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 荻野元子¹, 田邊卓也³, 島川修一², 玉井 浩²

市立ひらかた病院小児科¹, 大阪医科大学附属病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³

15:30~16:00 一般演題 (ポスター)..... (S401)

感染, 免疫 2

モデレーター 鳥巢浩幸 (福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野)

P-315 小児脳梗塞例における抗リン脂質抗体の検討

○是松聖悟, 宮原弘明, 山田 博

大分大学医学部小児科

P-316 当院での 22 年間の生後 1 ヶ月以上の小児の細菌性髄膜炎の臨床的検討

○白神浩史

国立病院機構岡山医療センター小児科

P-317 抗 MOG 抗体関連視神経脊髄炎の男児例

○高島光平, 松井 潤, 西倉紀子, 底田辰之, 高野知行, 竹内義博

滋賀医科大学小児科

P-318 単純ヘルペス脳炎を契機に抗 NMDA 受容体脳炎を発症した 1 例

○大前登典¹, 大野光洋¹, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹, 高橋幸利²鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²

P-319 エンテロウイルス D68 感染が疑われる急性弛緩性麻痺の 10 歳女児例

○巨田元礼¹, 川谷正男¹, 米谷 博², 西森一久¹, 杉原啓一³, 山田健太¹, 大嶋勇成¹福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院², 市立敦賀病院³

P-320 急速に呼吸不全が進行し, 短期間で改善した乳児ボツリヌス症の 1 例

○池田健太, 大林浩明, 山下由理子, 塩田 恵, 三好義隆, 三平 元, 森 雅人, 津留智彦

松戸市立病院小児医療センター小児科

P-321 免疫グロブリン投与が著効した抗 MOG 抗体陽性視神経炎の 1 例

○能登ゆま, 早川文雄, 加藤 徹, 辻 健史, 鈴木良輔

岡崎市民病院小児科

P-322 2015 年にエンテロウイルス D68 型を検出した急性弛緩性脊髄炎の 1 例

○豊福悦史¹, 越野由紀¹, 野田あず¹, 阿部裕一²さいたま市民医療センター小児科¹, 埼玉医科大学病院²

P-323 弛緩性脊髄炎に抗 Gal-C 抗体陽性の Guillain-Barré 症候群を合併した 2 歳男児例

○奈倉道明¹, 高田栄子¹, 山内秀雄²埼玉医科大学総合医療センター小児科¹, 埼玉医科大学病院小児科²

P-324 手足口病に伴うけいれん重積で入院した 6 例の臨床的特徴

○座波清誉, 植松賢司, 中村康子, 松本 浩

防衛医科大学校小児科

16:00~16:30 一般演題 (ポスター)..... (S405)

感染, 免疫 3

モデレーター 村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)

P-325 血漿交換後に長期ステロイド投与を要した抗 MOG 抗体陽性視神経脊髄炎類縁疾患の 2 例

○渡辺好宏¹, 蒲 ひかり¹, 藤原 祐¹, 武下草生子¹, 中島一郎²横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 東北大学医学部神経内科²

P-326 睡眠覚醒調節障害を合併した重症筋無力症の 7 歳男児例

○坂口友理¹, 武内俊樹^{1,2}, 高橋孝雄¹慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター²

P-327 一過性の失語と片麻痺を合併した Parry-Romberg 症候群の一例

○横山淳一¹, 篠崎敏行², 中村和幸¹, 木村敏之², 加藤光広^{2,3}, 三井哲夫¹山形大学医学部小児科¹, 日本海総合病院小児科², 昭和大学医学部小児科学講座³

P-328 横紋筋肉腫完全寛解中に Neuromyelitis optica spectrum disorder を発症した 1 例

○森 貴幸¹, 早川 格¹, 小出彩香¹, 伊藤麻美¹, 鈴木洋実¹, 富田 直¹, 三山佐保子¹, 高橋利幸^{2,3}都立小児総合医療センター神経内科¹, 東北大学医学部神経内科学教室², 国立病院機構米沢病院神経内科³

P-329 ブドウ球菌性頭蓋骨髄炎から Pott's puffy tumor を呈した重症心身障害児の 1 例

○星野英紀, 三牧正和

帝京大学医学部小児科

P-330 抗 MOG 抗体陽性 ADEM の一症例

○若林 慶¹, 桑島真理¹, 宮内彰彦¹, 高橋利幸², 中島一郎², 小坂 仁¹, 山形崇倫¹自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科¹, 東北大学神経内科²

- P-331 急性散在性脳脊髄炎後に抗 MOG 抗体陽性の CIS を認めた 6 歳女児の一例**
○湧井敦子¹, 南谷幹史¹, 高橋利幸^{2,3}, 金子仁彦², 太田節雄¹
帝京大学ちば総合医療センター小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³
- P-332 中枢神経症状を合併した急性巣状細菌性腎炎の 4 例の検討**
○沖田 空, 金川温子, 中尻智史, 西山敦史, 親里嘉展
加古川西市民病院
- P-333 歩行障害と構音障害で発症した GM3 抗体陽性急性小脳失調症の一例**
○吉田 登¹, 山下進太郎¹, 中澤友幸², 新島新一¹, 清水俊明³
順天堂大学医学部附属練馬病院小児科¹, 豊島病院小児科², 順天堂大学医学部小児科³

15:00~15:30 一般演題 (ポスター) (S408)

- 遺伝 1**
モデレーター 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
- P-334 てんかん性脳症患者において反復して認められる CDKL5 変異の特徴**
○山本俊至¹, 下島圭子¹, 木村暢介², 最上由紀子², 臼井大介², 高山留美子², 池田浩子², 今井克美²
東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²
- P-335 日本人てんかん児における ABCB1 遺伝子多型による薬物効果への影響**
○本井宏尚^{1,2}, 柳町昌克², 蒲ひかり², 藤原 祐², 渡辺好宏², 武下草生子², 岡西 徹¹
聖隷浜松病院小児神経科¹, 横浜市立大学小児科²
- P-336 次世代シーケンス法を用いたジストロフィン遺伝子解析**
○大久保真理子¹, 南 成祐^{1,2,3}, 後藤加奈子^{1,2}, 野口 悟¹, 三橋里美^{1,2}, 西野一三^{1,2}
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部¹, 国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンターゲノム診療開発部², 国立精神・神経医療研究センター神経病院臨床検査部³
- P-337 難治性てんかん性無呼吸発作を呈した軟骨低形成症の 2 歳女児例**
○岡崎哲也^{1,2}, 上田理誉¹, 西村洋子¹, 大野光洋¹, 玉崎章子¹, 中川奈保子^{2,3}, 笠城典子², 足立香織⁴, 甲斐政親⁵, 佐々木征行⁶, 難波栄二^{2,3,4}, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹
鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科², 鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター³, 鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野⁴, 鳥取大学技術部医学系部門⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁶
- P-338 母斑, 白内障, 学習障害の原因遺伝子 PIK3C3**
○松本 歩¹, 稲熊 裕², 臼井大介⁴, 後藤昌英¹, 神保恵理子¹, 田畑秀典², 前田明彦⁴, 吉川清志³, 桃井真里子¹, 小坂 仁¹, 永田浩一², 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部², 高知医療センター小児科³, 幡多けんみん病院小児科⁴
- P-339 日本人結節性硬化症患者の TSC 遺伝子解析**
○新井田 要
金沢医科大学病院集学的医療部遺伝子医療センター
- P-340 Histone deacetylation 8 (HDAC8) 遺伝子変異により非典型的 Rett 症候群をきたした女児の 1 例**
○七種朋子^{1,2}, 下村 豪², 弓削康太郎², 原 宗嗣², 永光信一郎², 山下裕史朗², 松石豊次郎^{1,2}, 松本直道³
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院¹, 久留米大学医学部小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-341 TCF4 遺伝子変異を認めた Pitt-Hopkins 症候群の一例**
○柿本 優¹, 八鍬瑛子¹, 武井 剛¹, 熊谷淳之¹, 竹中 暁¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹, 小崎里華²
国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター遺伝診療科²
- P-342 SHANK3 遺伝子変異を認めた 1 女児例**
○高野亨子¹, 古庄知己^{1,2,3}, 涌井敬子^{1,2}, 福嶋義光^{1,2}
信州大学医学部遺伝医学・予防医学¹, 信州大学医学部附属病院遺伝子診療部², 信濃医療福祉センター小児科³
- P-343 TUBA1A 遺伝子変異を認めた孔脳症, 多小脳回, 小脳低形成の軽症例**
○里 龍晴¹, 加藤光広², 井上大嗣¹, 原口康平¹, 才津浩智³, 松本直道³, 森内浩幸¹
長崎大学病院小児科¹, 昭和大学医学部小児科学講座², 横浜市立大学遺伝学³

- 15:30~16:00 一般演題 (ポスター)..... (S411)
- 遺伝 2
- モデレーター 新井田 要 (金沢医科大学大学院遺伝子センター)
- P-344 小脳失調症状と発達障害を呈した STXBP1 遺伝子変異をもつ 5 歳女児例
○植田綾子¹, 小坂 仁¹, 宮武聡子², 才津浩智², 松本直通², 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 横浜市立大学遺伝学教室²
- P-345 ACTA2 遺伝子変異による脳血管異常の 2 例
○羽田野ちひろ¹, 横井貴之¹, 高木真理子², 後藤知英², 上田秀明³, 藤井裕太⁴, 相田典子⁴, 黒澤健司¹
神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 神奈川県立こども医療センター循環器内科³, 神奈川県立こども医療センター放射線科⁴
- P-346 ウエスト症候群を呈した 19p13.2 欠失患者の臨床経過
○福與なおみ^{1,2}, 菊池敦生², 廣瀬三恵子³, 横山浩之⁴, 萩野谷和裕⁵, 市野井那津子², 佐藤 亮², 新堀哲也^{1,6}, 青木洋子^{1,6}, 呉 繁夫²
東北大学病院遺伝子診療部¹, 東北大学医学部小児科², 函館中央病院小児科³, 山形大学医学部看護学科⁴, 拓桃医療療育センター小児神経科⁵, 東北大学大学院医学研究科遺伝医療学分野⁶
- P-347 PNKP 遺伝子変異を持つ小頭症の一症例
○桑島真理^{1,2}, 小坂 仁¹, 長嶋雅子¹, 才津浩智², 松本直通², 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 横浜市立大学遺伝学²
- P-348 新生児期に関節拘縮を伴う著明な筋緊張亢進を認めた Cockayne 症候群の 1 例
○小林 瑞¹, 宮内彰彦¹, 萩 朋男², 小坂 仁¹, 山形崇倫¹
自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科¹, 名古屋大学環境医学研究所発生遺伝分野²
- P-349 ARID1B 遺伝子欠失を認めたてんかんを合併する Coffin-Siris 症候群の女児例
○堀野朝子¹, 高橋幸利¹, 東本和紀¹, 吉富普作¹, 山口解冬¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹, 加藤光広², 中島光子³, 才津浩智³, 松本直通³, 松尾直樹⁴
NHO 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科¹, 昭和大学医学部小児科², 横浜市立大学医学部遺伝学³, 岐阜県総合医療センター⁴
- P-350 デノボ KCNH1 変異を認めた Temple-Baraitser 症候群の 3 歳男児
○赤峰 哲¹, 酒井康成¹, 一宮優子¹, 鳥尾倫子^{1,2}, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 鳥巢浩幸², 深井綾子³, 三宅紀子³, 才津浩智³, 松本直通³, 高田英俊¹
九州大学大学院医学研究院成長発達医学 (小児科)¹, 福岡歯科大学医科歯科総合病院², 横浜市立大学大学院遺伝学³
- P-351 非典型 Moebius syndrome の 1 例
○中村康子, 座波清誉, 植松賢司, 松本 浩
防衛医科大学病院小児科
- P-352 緑内障, 骨欠損を発症した神経線維腫症 1 型の女児例
○利川寛実, 島川修一, 森 篤志, 畑中マリ, 福井美保, 玉井 浩
大阪医科大学小児科
- P-353 CACNA1A 遺伝子異常が疑われた脳卒中様発作を反復する 1 女児例
○森 篤志¹, 柏木 充², 畑中マリ¹, 利川寛実¹, 野村昇平³, 福井美保¹, 島川修一¹, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 市立ひらかた病院², 清恵会病院³
- 16:00~16:30 一般演題 (ポスター)..... (S414)
- 新生児
- モデレーター 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- P-354 非嚢胞性脳室周囲白質軟化症児の新生児脳波における brush の時間周波数解析
○加藤 徹¹, 鈴木良輔¹, 能登ゆま¹, 辻 健史¹, 早川文雄¹, 久保田哲夫², 城所博之³, 夏目 淳⁴, 奥村彰久⁵
岡崎市民病院小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋大学大学院医学部小児科³, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄付講座⁴, 愛知医科大学小児科⁵
- P-355 早産期の自律神経機能は脳成長と関連する
○前田知己, 高橋瑞穂, 関口和人
大分大学医学部小児科
- P-356 KCNQ2 変異を認め, PB・ZNS が有効と考えられた新生児てんかんの一例
○西澤侑香, 松井 潤, 西倉紀子, 底田辰之, 高野知行, 竹内義博
滋賀医科大学医学部附属病院小児科

- P-357 新生児期に強い呼吸障害を呈したミトコンドリア呼吸鎖複合体 IV (Complex IV) 欠損症の 1 例**
 ○小林 修¹, 福島直喜¹, 岡成和夫², 前田知己², 村山 圭³, 大竹 明⁴
 大分市医師会立アルメイダ病院小児科¹, 大分大学医学部小児科², 千葉県こども病院代謝科³, 埼玉医科大学小児科⁴
- P-358 新生児痙攣の後に Infantile Spasm を発症し KCNQ2 遺伝子異常を認めた男児例**
 ○富永康仁^{1,2,3}, 渡辺陽和^{1,3}, 岸本加奈子^{1,3}, 谷河純平^{1,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 青天目信^{1,3},
 下野九理子^{1,2,3}, 中島光子⁵, 加藤光広⁴, 才津浩智⁵, 松本直通⁵, 大藺恵一^{1,3}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学附属病院
 てんかんセンター³, 昭和大学小児科⁴, 横浜市立大学医学研究科医科学専攻遺伝学⁵
- P-359 Total brain injury を呈した新生児低酸素性虚血性脳症の 4 例**
 ○短田浩一¹, 菅原由実菜¹, 越野幸子², 早川克己³, 西村 陽¹
 京都第一赤十字病院新生児科¹, 京都第一赤十字病院放射線科², 県立釜石病院放射線科³
- P-360 無呼吸で発症し, 画像上, 大脳深部髄質静脈の異常と考えられた新生児の 2 例**
 ○伊藤麻美¹, 北見欣一², 岡田尚子³, 生田陽二⁴, 鈴木洋実¹, 小出彩香¹, 富田 直¹, 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター総合診療科², 東京都立
 小児総合医療センター新生児科³, 公立昭和病院小児科⁴
- P-361 生後早期より発症した新生児けいれんの経時的な脳波変化**
 ○渡部功之, 久松聖人, 栗林良多, 今高城治, 有阪 治
 獨協医科大学医学部小児科
- P-362 片側大脳半球に局限した画像所見を呈した正期産児低酸素性虚血性脳症の 1 例**
 ○大山宜孝¹, 中村久理子², 山本重矢子¹, 杉山恵一郎¹, 岩本眞理¹
 済生会横浜市東部病院こどもセンター小児科¹, 済生会横浜市東部病院こどもセンター新生児科²

15:00~15:30 一般演題 (ポスター) (S417)

奇形, 染色体異常 1

- モデレーター 下島圭子 (東京女子医科大学統合医科学研究所)**
- P-363 知的障害, 脂肪肝, 体重増加を認めた 9q31.1q31.3 欠失の一男児例**
 ○太田さやか¹, 葛西真梨子¹, 下田木の実¹, 水野葉子¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅²
 東京大学医学部小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科国際保健学²
- P-364 重症蒼白型の憤怒痙攣に対してレベチラセタムが奏効した 1p36 欠失症候群の 1 女児例**
 ○小野朱美¹, 伊藤弘道¹, 阿部容子¹, 森 達夫¹, 東田好広¹, 早瀬康信¹, 成戸卓也², 井本逸勢²,
 香美祥二¹
 徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科¹, 徳島大学大学院医歯薬学研究部人類遺伝学分野²
- P-365 先天性多発性関節拘縮症に重度知的障害, 進行性脳萎縮を来した ZC4H2 遺伝子変異を有する女児例**
 ○大久保幸宗^{1,2}, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 竹澤祐介¹, 安西真衣¹, 佐藤 亮², 市野井那津子²,
 菊池敦生², 植松 貢², 呉 繁夫², 萩野谷和裕²
 宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学病院小児科²
- P-366 新規 TCF4 遺伝子変異が認められた Pitt-Hopkins 症候群の 2 例**
 ○小林良行^{1,2,3,4}, 谷 博雄¹, 藤井裕士¹, 石川暢恒¹, 小林正夫¹, 平木洋子², 中村明枝³,
 岡本伸彦⁴
 広島大学病院小児科¹, 広島市こども療育センター², 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌
 研究部³, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁴
- P-367 診断に苦慮しマイクロアレイ染色体法の再考・間期核 FISH 染色体法で診断に至った 9 番染色体トリソミーモザイクの 1 例**
 ○舞鶴賀奈子, 栗屋智就, 中田昌利, 吉田健司, 斎藤景子, 井手見名子, 横山淳史, 加藤竹雄
 京都大学附属病院小児科
- P-368 ダウン症候群に高度肥満・睡眠時無呼吸症候群を合併し, 医療的支援に苦慮した一例**
 ○奥村亜希子, 山下富士, 金井正朗, 三浦正義, 滝澤 昇, 嶋 大二郎
 国立病院機構富山病院小児科
- P-369 急性心不全を契機に左室心筋緻密化障害と診断された 13 トリソミーの一例**
 ○林 安里, 熊田知浩, 佐々木彩恵子, 井上賢治, 森 未央子, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 柴田 実,
 藤井達哉
 滋賀県小児保健医療センター小児科
- P-370 Poland-Mobius 症候群の 1 例**
 ○渡辺 淑, 小俣 卓, 飯田由紀子, 児玉一男
 千葉県こども病院神経科

P-371 ALDH18A1 関連皮膚弛緩症：本邦第 1 例目

○佐々木彩恵子¹、野崎章仁¹、岡本伸彦²、小崎健次郎⁵、宮 冬樹^{3,4}、角田達彦^{3,4}、熊田知浩¹、
柴田 実¹、日衛嶋郁子¹、林 安里¹、森 未央子¹、井上賢治¹、藤井達哉¹
滋賀県立小児保健医療センター¹、大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²、理化学研究所
統合生命医科学研究センター医科学数理研究グループ³、東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学
数理分野⁴、慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁵

P-372 当科における大頭症の検討

○藏田洋文、岡崎哲也、大野光洋、西村洋子、斎藤義朗、前垣義弘
鳥取大学医学部脳神経小児科

P-373 先天性魚鱗癬を伴い感染症を契機に退行を示した X 染色体の腕間逆位による MECP2 重複症候群の 1 例

○下村英毅¹、峰 淳史¹、玉置（橋本）知子^{2,3}、竹島泰弘^{1,2}
兵庫医科大学小児科¹、兵庫医科大学臨床遺伝部²、兵庫医科大学遺伝学³

15:30~16:00 一般演題（ポスター）…………… (S421)

奇形、染色体異常 2

モデレーター 山中 岳（東京医科大学小児科学分野）

P-374 18 トリソミーのてんかん発作の検討

○平澤絢香¹、露崎 悠^{1,2}、大石芳久¹、中尾 厚³、麻生誠二郎¹
日本赤十字社医療センター小児科¹、神奈川県立こども医療センター神経内科²、日本赤十字社医療
センター新生児科³

P-375 発達遅滞と大脳白質異常を呈し幼児期早期に WDR45 遺伝子変異が判明した女児の一例

○保科隆男¹、瀬戸俊之¹、山下加奈子¹、佐久間 悟¹、新宅治夫¹、下野太郎²、森本恭子³、
瀬戸真澄³、山本俊至⁴、才津浩智⁵、松本直通⁵
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹、大阪市立大学大学院医学研究科放射線医学²、大阪
府済生会千里病院³、東京女子医科大学統合医科学研究所⁴、横浜市立大学医学研究科医科学専攻遺
伝学⁵

P-376 カブキ症候群様の症状を認めた TBL1XR1 新生突然変異症例

○小崎里華
国立成育医療研究センター遺伝診療科

P-377 4 番染色体長腕中間部欠失の 2 例

○河野美奈、赤池洋人、加藤 敦、近藤英輔
川崎医科大学附属病院小児科

P-378 コケイン症候群 2 例の剖検所見

○家田大輔¹、堀いくみ¹、中嶋枝里子¹、根岸 豊¹、藤井香那²、服部文子¹、安藤直樹¹、稲垣 宏²、
齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹、名古屋市立大学大学院医学研究科臨床
病態病理学²

P-379 West 症候群を発症した Mowat-Wilson 症候群の一例

○平山良道
那覇市立病院小児科

P-380 嚥下機能改善に半夏厚朴湯が有効であった 22 番環状染色体の 1 例

○牧野道子、赤星恵子、椎木俊秀、舟橋満寿子
東京小児療育病院小児科

P-381 Angelman 症候群 6 例の臨床的検討

○森山剣光¹、馬場信平¹、木村一恵²、菅原祐之^{1,3}
東京医科歯科大学小児科¹、小児神経学クリニック²、草加市立病院小児科³

P-382 肝線維症を併発した INPP5E 変異による Joubert 症候群の一例

○澤浦法子、村松一洋、牧岡西紀、緒方朋実、荒川浩一
群馬大学大学院医学系研究科小児科

P-383 末梢血の表面抗原解析で異常を認めなかった高 ALP 血症—精神遅滞症候群（PGAP3 遺伝子異常症）の一例

○栗屋智就¹、村上良子²、舞鶴賀奈子¹、横山淳史¹、加藤竹雄¹、木下タロウ²
京都大学医学部附属病院小児科¹、大阪大学免疫学フロンティア研究センター糖鎖免疫学²

P-384 染色体異常症と症候性てんかんの 2 例

○松丸重人、竹下暁子、中務秀嗣、谷 諭美、伊藤 康、平澤恭子、小国弘量、永田 智
東京女子医科大学小児科

第 3 日目 教育講演会場

- 8:35~9:05 教育講演 1 (S113)
胎児期脳の正常発達とその損傷
座長 高嶋幸男 (柳川療育センター, 国際医療福祉大学大学院)
講演 城所博之 (名古屋大学医学部小児科)
- 9:10~9:40 教育講演 2 (S114)
小児けいれん性疾患: 熱性けいれんと“非難治性”てんかんの最近の話題
座長 衛藤義勝 (財団法人脳神経疾患研究所)
講演 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
- 9:45~10:15 教育講演 3 (S115)
神経発達障害の包括的理解のために: 生物学的指標 (発達的中間表現型) という視点
座長 熊谷公明 (横浜総合病院小児神経科)
講演 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
- 10:20~10:50 教育講演 4 (S116)
Brain injury in premature and term born neonates: Insights from MRI
座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
講演 A. James Barkovich (University of California, San Francisco UCSF-Benioff Children's Hospital, USA)
- 10:55~11:25 教育講演 5 (S118)
脳炎/脳症
座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
講演 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)
- 11:55~12:55 教育講演 6 / ランチョンセミナー 15: 共催 中外製薬株式会社・大正富山医薬品株式会社... (S119)
インフルエンザ感染の重症化とインフルエンザ脳症の発症機序に関する最新知見
座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)
講演 木戸 博 (徳島大学先端酵素学研究所)
- 13:10~13:40 教育講演 7 (S120)
頭痛患児の診療の実際 ~わかりやすく, やりがいのある臨床を共有するために~
座長 中澤友幸 (東京都保健医療公社豊島病院小児科)
講演 斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
- 13:45~14:15 教育講演 8 (S121)
遺伝学的検査
座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
講演 小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)
- 14:20~14:50 教育講演 9 (S122)
小児神経科医が知っておくべきミトコンドリア病の多様性
座長 杉江秀夫 (常葉大学保健医療学部)
講演 三牧正和 (帝京大学医学部小児科)
- 14:55~15:25 教育講演 10 (S123)
小児免疫性中枢神経疾患の臨床: 脱髄疾患の診断と治療
座長 黒川 徹 (誠愛リハビリテーション病院)
講演 鳥巢浩幸 (福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野, 九州大学小児科)
- 15:30~16:00 教育講演 11 (S124)
筋疾患の診断と骨格筋画像
座長 飯沼一宇 (NPO 法人子どもの村東北)
講演 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

第 3 日目 中継会場 1

7:30~8:20 モーニングセミナー 3: 共催 シャイアー・ジャパン株式会社……………(S219)

ゴーシェ病の早期診断・治療のために

座長 中村公俊 (熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野)

1) 進行性ミオクロームスでんかんを呈したゴーシェ病の姉妹例

講演 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

2) 急性乳児型ゴーシェ病 (神経 2 型) の臨床診断のポイント

講演 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)

16:30~18:30 市民公開講座: 共催 日本イーライリリー株式会社……………(S222)

発達障害の子どもを育む豊かな環境について

座長・講演 小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

林 隆 (医療法人テレサ会西川医院発達診療部)

大友義之 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

1) 発達障害の子にとって最もよい環境とは

小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

2) 発達障害といじめ

林 隆 (医療法人テレサ会西川医院発達診療部)

3) 小児の排尿障害～おねしょ・おもらし

大友義之 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

第 3 日目 中継会場 2

7:30~8:20 モーニングセミナー 4: 共催 ノーベルファーマ株式会社……………(S220)

よくわかる小児てんかん重積治療 ―機序と原因からのアプローチ―

座長 岡 明 (東京大学医学部附属病院小児科)

講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科, 北海道大学病院てんかんセンター)